

【海 運】

(ハ) 補助金額(二ヶ月毎ニ支給)

(三) 船舶改善助成貸付金

英國海運補助法は第一節に不定期船補助を規定し第二節に本制度を規定し我改善施設と大同小異で其大要を摘録せば左の如し

一、古船を解體し優秀貨物船を新造又は改造に對し融資す

二、融資金額(一千萬磅)

三、實施期間(一九三五年二月から二ヶ年)

四、融資條件

イ、利子年三步

ロ、貸付限度(造船價額の約七割)

ハ、償還期間(十二ヶ年)

ニ、擔保(新造船又は改造船)

ホ、新造對解體割合(新造一噸對解體二噸)

ヘ、新造又は改造の條件(省略)

五、貿易助成法に依る船主及造船會社の債務保證

本法は一九二七年三月三十一日を以て滿了せるも今尙政府の保證期間中

北・米・合・衆・國

米國は船會社に對し直接航路補助を爲さず一九二八年商船法及一九二八年大洋郵便條令に基き船會社に對し指定條

件を以て補助契約を爲す。

(一) 郵便航送報償金

補助金を受ける航路は一定の航路を年一定回数航行を條件に補助金を交付するもので、郵便物運送よりは寧ろ商船の維持獎勵を目的とし一種の航路補助である、而して命令船舶は其の速力及噸數に應じ左の七等級に分ち各等級に應じ噸當一弗五十仙乃至十二弗の報償を受く。

級別	最低速力	最小噸數	一哩當
第一	三四節	10,000總噸	三弗00
第二	三〇	一六,000	一〇,〇〇
第三	二八	一一,000	八,〇〇
第四	二六	一〇,000	六,〇〇
第五	二三	八,000	四,〇〇
第六	二〇	四,000	二,五〇
第七	一〇	二,500	一,五〇

備考 一九三五年豫算は三〇、八八一、三九七弗、受命航路四十四線

(二) 造船貸付金

本制度は一九二〇年商船法第十一條を以て創設され、一九二四年改正、更に一九二八年の商船法により基金増額(二億五千萬弗)其他大改正、一九三一年二月二日付利率改正を行ひ大體左の如き内容である。

一、貸付機關 商務省シツピングボード

二、基金財源 貸付機關に依り積立

三、基金總額 二五〇、〇〇〇、〇〇〇弗

【海 運】

【海 運】

- 四、貸付の目的 船舶の建造又は改造
- 五、貸付の限度 建造費又は改造費の七割五分
- 六、貸付期間 最長二十年
- 七、利率 沿岸貿易船及湖船五歩二厘五毛、外國貿易船（建造中を含む）三步五厘
- 八、貸付條件 米國內の建造又は改造非常時の徴發及優先抵當權設定

(三) 船員保護

商船海軍豫備制を確立し之に屬する船員に對し其海軍に於て階級に應じ年々三ヶ月分の給料を支拂

佛・蘭・西

一九三六年度佛國の商船省豫算總額は八億一千九百六十七法で其内譯は

- 定期航路補助金 二七四、七八六、七三法
- 一航海運補助金 八一、〇〇八、五〇〇
- 船舶抵當貸付法による融資 二五、〇〇〇、〇〇〇
- ノルマンディー號建造（借入元利肩代） 九、四五六、四〇六
- 海員老齡年金 一〇四、〇〇〇、〇〇〇
- 國有船改造費 一、二〇〇、〇〇〇

尙行使保護制度としては定期航空補助、一航海運補助、油槽船補助、船舶抵當貸付法による融資及フレンチラインの優勢保護等が數へられる

(一) 定期航路補助

一九二七年七月から左記三汽船會社に對し二十ヶ年契約（但五年毎に更改）となつてゐる

- 極東濠洲ニユカレドニア東阿地中海航路（メンサジュリマリテム社） 二〇二、五〇〇、〇〇〇法
- 紐育西印度諸島中米航路（ゼネラルトランザトランテイク社） 一三五、〇〇〇、〇〇〇法
- 伯刺西爾リゲアレイト航路（シユドアトランテイク社） 二四、五〇〇、七三一法
- コルシカ航路（フレンシネ社） 一二、七八〇、〇〇〇法

（以上一九三六年）

(二) 海運補助（タツソー法）

本法は一九三三年七月十二日公布されたが其要旨は

- 補助限度、年額一億四千萬法
- 實施期間 一九三四年八月十三日以降二ヶ年
- 補助基金率、補助金は船舶の總噸當一噸に付船型に應じ左の如く支給す（單位サンチ）
- 汽船及機船、最初五百噸迄（三〇）、千噸迄（二九）、三千噸迄（二〇）、五千噸迄（一七）、一萬噸迄（一四）、一萬噸以上（一〇）、帆船千噸迄（二〇）、二千噸迄（一〇）、二千噸以上（四）

(三) 油槽船補助

- 一九二五年一月十日より十ヶ年間實施（一九二五年七百七十萬法、一九三三年千四百萬法）
- 四、船舶抵當貸付法 不動産銀行をして取扱はしめ利息は銀行の發行する債權利率に一步を加へたもので、政府に利率の年額を補給す、但船主の負擔に客船三步、貨物船二歩を最低とし融通額は年額一億二千五百萬法、船價八割五歩以内
- 五、一九三三年一月一日から實施された船員給料並に運航補助制度の大要左の如し
- 給料補助 各船員共其給料の三分の一

【海 運】

獨逸

獨逸は由來、無保護主義を標榜せる爲め、郵便補助乃至定期航路補助制度なく唯だ貨幣相場の差額に伴ふ不利補償のため船舶運航並に船員給料補助を一九三三年五月から實施し居れり其條件は

一、支給の基礎 就航中の船舶に對し一日總噸當三ベニヒ及就航中支給せる船員給料の二割

一、支給最高限度 四百噸未滿は噸當一二馬克半、四百噸以上七百噸一〇馬克、七百噸以上一千噸八馬克半、一千噸以上七馬克半

伊太利

現行制度としては定期航路補助、貨物船航海獎勵金、解體獎勵金、造船獎勵金及海事金融の五種である

(一) 定期航路補助

不可缺航路(本國及殖民地間)、有益航路(國外航路)の二種で、前者は二十ヶ年、後者は十ヶ年(一九二五年實施)、補助金は前者二十二ヶ年三億六千四百六十五萬リラ、後者十ヶ年五億五千五百八十五萬リラと豫定せり(一九三五年總額二八七、五八五、〇〇〇リラ)

(二) 航海獎勵法(貨物船)

爲替關係から蒙る打撃補給の目的で、不定期船(例外的定期船あり)に對し、船齡一年未滿千五百噸迄噸當一湮〇、二五〇リラ、四千噸〇、〇〇〇二〇、船齡一年以上その割合漸減

(三) 解體獎勵金

五ヶ年九十萬噸を限度とし總噸當二五リラ

(四) 造船獎勵

一九三七年に於る十ヶ年を限り總噸當三二リラ(毎年五百萬リラ)、機關に對し一軸馬力一時間當一七五瓦以下三六リラ以下七〇〇瓦一六リラ

(五) 船舶抵當貸付法

内地新造船及船齡十年未滿の輸入船の價格六割利息は定めず、政府新造船に對し年二歩五厘、四千五百噸以上速力二十六節以上は五歩、輸入船は年一步を各補給し期間は十五ヶ年

諾威

諾威は由來英獨兩國と同様自由主義經營であつた關係上、補助金は外國航路に對し極く小額で殆んど全部が國內航路に支給し亦造船保護に就て資金融通制度を設け居るに過ぎぬ

◇定期航路補助 補助金の八割四歩までは國內航路で、外國航路船の補助はベルゲン、ニユーカツスル、クリステイアンサン、フレドリクスハーフン、諾威西班牙、葡萄牙及伊太利諸港間で、前者は郵便航路で一九三六年支

出五、九三七、八〇〇クロイネで外國航路は三六三、七〇〇クロイネである

一、船舶金融 一九二七年ベルゲンに船舶抵當貸付銀行設立され(資本金四、一八〇千クロイネ)總噸數三百噸以上鋼製内燃機船に限り償還期限十ヶ年とす(但し船齡八年以上四ヶ年とす)

尙貸付標準は船舶價格は船價の二割(民間銀行が船價五割迄の貸付に對し更に政府二番抵當として)とし五分五厘の利子を以て二番抵當の貸付を行ふ一九三四年四月迄に前記二番抵當貸付を受けたる船舶は三十九隻此の貸付額は五百五十四萬クロイネ

瑞 典

特定航路たるスベア會社の外三社のストックホルムリガ、ストックホルムダンチヒ及瑞典諸港間定期航海に於て年額四萬二千クローネの補助金を下附す

其の外自國建造船に對し資金の貸附を爲す制度を設け利子五分期間八ヶ年とし、最初の二ヶ年据置其後六ヶ月間に全額の六分の一宛年賦償還とし年賦償還不履行の場合には年六分の利子を支拂ふものとする

尙一九二八年の議會は貸附基金を三百萬クローネ増額依つて總額は二千三百萬クローネとなるの件並貸附利息年五歩一厘引上の件を可決す

和 蘭

現在では直接航路造船の補助制度なく半官半民の金融機關ベナス會社をして左の如き無利息其他の金融保護を與へ居れり

一、ローヤルダツチロイド及蘭米線兩社に對し(一九二四年以降)無擔保無利息の融資を爲したるも其後方針を更新し、一九三五年救済の目的で低利金融を爲し保護を加へた

一、特殊金融機關(ベナス會社) 一九三二年政府は民間會社の参加を求め資本金五百萬ギルダのベナス金融會社を設立し政府保證借入金を利用し加盟船會社に對し有擔保四歩五厘の貸付を營む、亦船員の賃金低下趨勢に鑑み貸銀貸付を開始

三、海運業救済融資 一九三五年政府は別に八百二十萬ギルダ中から運航中船舶に對し總噸數一千噸の船舶に對し貨物船毎月千ギルダ、旅客船二千ギルダを標準無擔保無利子貸付を爲した

西 班 牙

現在はトランスアトランテイカとトラスメデイテルラネー兩社を受命者と特定、船路補助と造船獎勵金を支給してゐる

一、特定航路補助 トランスアトラスチカ會社の對外三航路トラスメデイテルラネー會社の本國對各群島間六航路に對し補助

二、航海獎勵 毎年一千萬ベセタを支給し、其方法は各船舶又は航路別に船型、船齡、速力、航海埋數等に應じ所定金を支給

三、造船獎勵 一九二五年改正の造船獎勵法は大要左の如きものである

總噸數百萬噸以上動力を有する木造船建造噸當一八〇ベセタ、旅客汽船四〇七ベセタ、速力十六節を越ゆるときは一節に付一割増

白 耳 義

世界的海運界の不況に刺戟され一九三四年一月船舶運航融資を開始したその大要左の如し

一、船舶運航並に造船費融資 一九三六年度融資豫算左の如し

船舶運航貸付 (一日噸當五〇サンチム) 二五、〇〇〇、〇〇〇フラン

造船費貸付 五〇、〇〇〇、〇〇〇

貸付は低利又は無利子にて五年目から返済

二、貨物船代船建船融資 貨物船建造に對し百十二萬五千磅を限り融資することに決定(六ヶ年)

世界大船主 (一九三七年六月ロイド調査) (總噸數十萬噸以上所有者)

船主	國籍	隻數	總噸數
米商務省船舶部	米	二四八	一、四四五、七二〇
勞農政府	露	六八	一、二七七、三八七
ダラー汽船	米	一六	七二、五〇四
漢米線	獨	一〇一	七〇三、二一〇
ブリテイツシユ・インディア	英	一〇九	六六四、〇七七
日本郵船	日	八八	六三四、六三八
ロイド・トリエスチノ	伊	七七	六二二、五二四
ブリテイツシユ・タンカー	英	一〇〇	五九六、一〇五
北獨ロイド	獨	八七	五六八、五四四
大阪商船	日	一三四	五五八、八二三
ホルト・A	英	七〇	五五五、四二六
コンバグニ―ゼネラル	佛	五九	五二四、八五八
スタンダード・オイル・	米	六五	五一五、四六〇
ニュージヤシー	英	八六	四九一、二八四
エラーマン・ライン	英	三九	四七六、八六〇
ペニンシュラー・オリエンタル	英	三九	四六六、七〇六
イタリヤ	伊	三九	四六六、七〇六

ビツブブルグ汽船	米	七五	四五二、七五四
キューナード・ホワイト・スター	英	一九	四五二、四九五
フアーネス・ライン	英	六八	四一四、七七五
アシグロ・サクソン	英	六五	三九六、六七九
ペトロリウム	英	三三	三八五、四九四
ユニオン・キヤスル・メール	英	三三	三三七、〇四八
ソコニー・パキウム	米	五八	三三三、七二六
ウエア・アンドリュウ	英	五七	三三三、七二六
カナデアアン・パシフィック	加	一八	三二四、七三八
ハンブルグ・シダメリツク	獨	四四	三二三、三三四
ライクスプロス	米	五三	三二七、二九四
ワリ―ド・タンカチーフ	獨	三三	三二〇、〇三五
ソサエテイ・デス・サービス	佛	二九	三〇九、三三三
ローヤル・メール	英	三四	三〇三、四三八
カナダ汽船	加	一〇二	三〇二、九九〇
コニククリツケ・バケツトバート	和	一三	三〇〇、六七八
ウイルヘルムセン	諾	四九	二九六、〇三六
Charques Reunis	佛	四二	二八八、二九二
ハンザ・ドイチエ	獨	四二	二八七、六二三
ビツカンド・マザー	米	四二	二八一、一四七

クラン・ライン	英	四三	二七六、四〇一
ハリソンT・J	英	四六	二七五、一九三
ネーデルランド・ストームバート	和	三三	二七四、六五八
ルイスWMゾーネン	和	三三	二五一、七九七
シヨ―シヤビル・アルピオン	英	二五	二五〇、六七六
ユーナイテッド・フルーツ	米	五九	二四三、六七〇
ネーダーランドシエ・	和	三三	二四二、六二五
アメリカンシエ	英	二五	二三七、四三五
ブルー・スター・ライン	英	三二	二二九、三三〇
キ―グル・オイル	伯	五九	二二三、五七七
ロイド・ブラジレイロ	英	二六	二二八、三三二
ポ―ト・ライン	英	四七	二一六、八三三
エルダー・デムプスター	米	四六	二一四、二五一
ガルフ・オイル	白	三七	二〇三、九五二
コンバグニ―・マリタイム	英	七五	二〇二、二五九
ウオルフ・フレデリツク	和	二八	一九二、八七一
ラ・コロナ・N・V	丁	三三	一九二、四二七
モ―ラ・A・P	米	三三	一八四、七九三
アメリカン・ハワイヤン	英	五二	一八四、七九三
アドミラルテイ	英	五二	一八四、七九三

プロツタルバンク	英	二五	一八三、〇一一
オスタシアテツク・コンバグニ―	丁	二六	一八二、〇九一
ユーナイテッド・モラセス	英	二四	一八〇、三三二
テキサス・コンパニ―	米	六四	一八〇、二〇四
コニククリツケ・ネーデルランド	和	六四	一七八、六三七
インタ―ナシヨナル・	米	二二	一七七、五五四
マーチヤンマイル	米	二六	一七六、五二二
マトソン・ナビゲ―ション	日	五〇	一七六、〇六一
大連汽船	日	二九	一七四、九三三
ウエスト・ファールラーセン	諾	一〇五	一七三、七二六
ホレネ―ド・デムプスキアス	新	一六	一七二、四二四
ニュージランド汽船	西	四八	一六九、六八五
Sota Aznor, cia	獨	二七	一六九、四三三
ドイチエ・アフリカ・ライン	英	八	一六〇、八〇二
オリエント汽船	日	三七	一六〇、六三二
國際汽船	日	三三	一六〇、二八八
川崎汽船	日	三三	一五九、三三七
ヘイン汽船	英	三三	一五八、五二〇
タイレニヤ	伊	四	一五八、四三三
イスミアン汽船	米	二七	一五八、四三三

【海運】

ラウロ・アチレ	伊	三	一五七、八七四
近海郵船	日	五	一五五、〇四三
ユニオン汽船	英	四	一五一、八五九
マロリ・C・D	米	二	一五一、四六〇
ランポート・ホルト	英	二	一五〇、六一七
三井物産	日	三	一四八、九七七
ホーガス・H・ソン	英	三	一四五、〇二七
フエデラル汽船	英	一	一四二、〇三三
ウオターマン汽船	米	二	一三九、九七九
アドリアティカ・ソサエテイア	伊	四	一三九、二四一
ハルデイン・フライリツプス	英	二	一三八、七六三
ラツケンバンチ汽船	米	三	一三八、一三九
ハツチソン	米	三	一三七、八〇四
エルダ・フワイフェス	英	二	一三七、七二二
ソシエタ・アノニマ	伊	三	一三七、六五六
アンカー・ライン	英	一	一三四、四五三
ハリソンJ・C	英	二	一三四、三六九
クレベランド・クリフ・アイロン	米	二	一三三、八二二
ロツプナー・サー・R	英	二	一三一、六八六
チャイナ・ナビゲーション	英	五	一三一、〇一〇

タイド・ウオター	米	二	一三〇、三九一
スタンダード・オイル	米	三	一二八、九四七
カルフォルニア	英	一	一二八、二二三
パシフィック・ステーム	英	一	一二七、六〇九
ナビゲーション	西	四	一二四、二九九
コンパニア・トラス・メデタ	英	二	一二四、二九九
ストリツク・フランタ・C	米	三	一二〇、九九一
ブル・A・H	米	三	一一〇、九二四
グレース・ライン	加	三	一一八、〇八九
ラールベス・H・J	米	三	一一四、八二六
サルベセン	米	一	一一三、三六一
エキスポート・S・S	瑞	二	一一一、四三三
グランゲス・ベルグ	英	三	一一一、四〇九
スミス・サー・ウイリアム	英	二	一一〇、一七五
ユーゴスラベンスキー	米	二	一〇九、七六八
ウイリアム	米	二	一〇九、七三三
クラーベス・A・F	米	一	一〇九、一一八
ステーツ汽船	米	一	一〇七、六九三
アトランチック・レファイニング	米	二	一〇七、六九三
ポートランド・コルネリユース	米	二	一〇六、三七三
Ybana	西	二	一〇三、六五九
ムンソン汽船	米	一	一〇三、六五九

世界主要船主系 (一九三四年六月末ロイ)

船主名	船主数	国籍	隻数	總噸數
漢米線北獨ロイド・ユニオン系	一九社	獨	五八四	二、六九九、五二九
彼阿系	一五社	英	四六二	四、〇〇〇、〇八八
ロイアル・メール系	三四社	英	四二二	三、九九五、一五五
和蘭シツピング・ユニオン系	四社	和	二三五	一、〇五七、一九八
イタリア社系	五社	伊	二二七	九二一、九〇二
キユナード系	五社	英	八九	九二一、一三七
日本郵船系	三社	日	一五〇	八六五、四七九
エライマン系	六社	英	一七二	八一、八〇三
フアーネス・ウキジー系	一五社	英	一六	七二九、〇九四
フレンチ・ライン系	三社	佛	一〇一	六六六、三〇四
ホルト系	三社	英和	八七	六五四、七二九
大阪商船系	七社	日	二六	六二六、六〇一
ダラー系	七社	米	八一	五三〇、八八〇

英國主要船主系

ロイアル・メール系	三四社	四二二	三、九九五、一五五
ロイアル・メール	五社	五八四	二、六九九、五二九
エルダー・デンブスター・ライン	六社	六二	三、六〇九
オシヤニツク・S・N	一社	一九	三九〇、六六〇
ショウ・セビル・アンド・エルピオン	二社	二七	一八六、八二八
太平洋汽船	二社	二七	一八六、八二八
李府伯刺西爾・リバーブレ	一社	二六	一五六、〇八六
イト汽船	一社	二六	一五六、〇八六
ユニオン・キヤツスル・メール	一五社	三	三〇三、〇一三
彼阿系	一五社	四二二	四、〇〇〇、〇八八
彼阿汽船	一五社	四二二	四、〇〇〇、〇八八
英印汽船	一五社	四二二	四、〇〇〇、〇八八

【海運】

【海 運】

オリエント・ステーム・ナビゲイ シヨン	七	二天、七四四
新西蘭ユニオン汽船	七	一九九、七〇九
新西蘭シツピング	一五	一五七、五七二
フェデラル・S・N	三	一〇七、〇八〇
ヘイン汽船	四〇	一九五、七〇〇
キユナード系	五社	九二、一三七
キユナード汽船	二	三五八、〇五五
コスモンウエルス・アンド・ユニオン	三五	一〇三、九三二
アンカー・ライン	一四	一三三、九五三
T&Jプロツクルバンク	三九	三三〇、三六八
エライマン系	六社	八二、八〇三
シテイー・ライン	三	一七六、九九六
ホール・ライン	五	三三三、四六四
エライマンズ・ウイリソン・ライン	四	一一〇、六〇〇
フアーネス・ウキジー系	一五社	七二九、〇九四
フアーネス・ウキジー	二	一〇六、八八一
プリンス・ライン	二	一一五、三九八
ケーザー・アーヴアイン	三社	三三二、三三四
克蘭・ライン	四	三二一、〇五九

ホルト系	四社	八七	六五四、七二九
オーシヨン汽船	四九	三九〇、九三三	
チャイナ・ミューチユアル汽船	二七	三三五、四四四	
ユニオン・ゴールド・ストレージ系三社	三	二五八、四六五	
ブルー・スター・ライン	一九	一九二、二三	

世界最大船舶

船名	国籍	總噸數	速力	建造年
Normandie	佛	八三、四三三	二六半	一九三五
Queen Mary	英	八、二三五	二八半	一九三六
Berengaria	英	五三、一〇一	二三	一九二二
Bremen	獨	五二、七三二	二七	一九二九
Rex	伊	五一、〇六二	二八	一九三二
Europe	獨	四九、七四六	二七	一九二八
Leviathan	米	四八、九四三	二四	一九二四
Conte di Savoia	伊	四八、五〇二	二七	一九三二
Aquintania	英	四五、六四七	二四	一九二四
Ile de France	佛	四三、四三〇	二三	一九二六
Empress of Britain	英	四三、三三八	二四	一九三一
Paris	佛	四三、五六六	二半	一九二二

Nieuw Awsterdam	和	三六、〇〇〇	—	一九二二
Roma	伊	三三、五八三	二〇半	一九二六
Columbus	獨	三三、五五五	二二	一九三二
Augustus	伊	三〇、四一八	一八半	一九二二
Statendam	和	二八、三九一	一九	一九二九
Champlain	佛	二八、一三四	一九	一九二二
Georgic	英	二七、七五九	一八	一九二二
Cap Arcanv	獨	二七、五六一	二〇	一九二二
Britannic	英	二六、九四三	一八	一九三〇
Capetown Castle	英	二六、八五〇	—	一九二二
Empress of Japan	英	二六、〇三二	三三	一九三〇
Lafayette	佛	二五、一七八	二七	一九二九
Conte Grande	伊	二五、六六一	二〇半	一九二八
Athlone Castle	英	二五、五六四	一八	一九二六
Strling Castle	英	二五、五五〇	一八	一九二六
Saturania	伊	二四、七四〇	二半	一九二二
Valcania	伊	二四、四六九	二半	一九二八
Conte Biancomano	伊	二四、四一六	一九半	一九二五
Washington	米	二四、二八九	二〇	一九二二
Manhattan	米	二四、二八九	二〇	一九三二

Kotterdam	和	二四、一四九	一七	一九〇八
Wilhelm Gustloff	獨	二四、〇〇〇	—	一九二二
George Washington	米	二三、七八八	一八	一九〇八
Dulilo	伊	二三、六五五	一九半	一九三三
Strathmore	英	二三、四八	三	一九三五
Strathallan	英	二三、E〇〇	—	一九二二
Stratheden	英	二三、E〇〇	—	一九二二
Orcades	英	二三、E〇〇	—	一九二二
Orion	英	二三、三三一	一八	一九三五
Queen of Bermuda	英	二三、三二五	二〇	一九三三
Monarch of Bermuda	英	二三、三二四	二〇	一九三一
New York	獨	二三、三二二	一七	一九二二
Strathaird	英	二三、二八四	二二	一九三二
Strathnever	英	二三、二八三	二二	一九三一
Alcantara	英	二三、二〇九	一八	一九二六
Hamburg	獨	二三、一一九	一九	一九二六
Asturias	英	二三、〇四八	一八	一九二五
President Hoover	米	二三、九六六	二二	一九三〇
President Coolidge	米	二三、九六六	二二	一九三一
Gaullio Cesare	伊	二二、九〇〇	一九半	一九三二

【海 運】

植民地及官廳

(大連籍—昭和十一年一月末現在)

香大	連	石橋正壽郎	四、八六
南大	連	大連石原合資會社	四、七二
龍大	連	龍王汽船株式會社	六、二四三
金大	連	川崎合資會社	四、三九〇
白大	連	合資會社辰馬商會	六、五三七
明大	連	大正海運株式會社	八、二二〇
蒙大	連	大連汽船株式會社	七、一四四
錦大	連	西龍	五、五九一
羅大	連	東龍	五、四〇二
朝大	連	奉天	五、三六八
滿大	連	青島	五、二六六
新大	連	鞍山	四、八〇〇
甘大	連	永安	四、八〇〇
東大	連	老萬	四、七六六

煙北	順	興順	三、〇六二
河北	順	長平	三、二九〇
山東	順	新古	三、二六六
山西	順	博進	三、二七五
天龍	順	天一	二、七三五
崑崙	順	濟通	二、七三五
鳳城	順	龍平	二、三二二
長順	順	益平	二、三二二
合大	連	黑龍	四、六九七
黑大	連	山下	五、三六六
北大	連	松浦	一、〇九二
昌大	連	松浦	一、〇九二
松大	連	南滿洲	一、二二八
平大	連	龍山	四、三九九
南大	連	龍山	四、三九九
奉天	連	龍山	四、三九九
臺山	連	龍山	四、三九九

大連	株式會社福昌公司	五、八六
大連	大連佐藤國汽船株式會社	三、七三六
大連	沙河汽船株式會社	五、三〇七
大連	春和汽船株式會社	六、二六九
大連	共同汽船合資會社	一、四七七
大連	金川義英	四、七七一
大連	鏡安	三、〇〇〇
大連	長安	三、〇〇〇
大連	立仁	二、四八三
大連	立神	二、四八三
大連	立南	二、四八三

野田	一、二二八
洞海	一、二二八
鋼路	一、二二八
和泉	一、二二八
茅渚	一、二二八
神浦	一、二二八
大神	一、二二八
大開	一、二二八
阿賀	一、二二八
浮樺	一、二二八
合島	一、二二八
惠山	一、二二八
白農	一、二二八
快農	一、二二八
俊農	一、二二八
白農	一、二二八
合州	一、二二八
沖繩	一、二二八
合鐵	一、二二八

興安	七、一〇二
景福	七、一〇二
德壽	七、一〇二
昌慶	七、一〇二
南慶	七、一〇二
宗谷	七、一〇二
松前	七、一〇二
津輕	七、一〇二
飛騨	七、一〇二
亞羅	七、一〇二
新羅	七、一〇二
二羅	七、一〇二
一羅	七、一〇二
合大	七、一〇二
海龍	七、一〇二
神龍	七、一〇二
字品	七、一〇二
日朝	七、一〇二
江朝	七、一〇二
東朝	七、一〇二
光朝	七、一〇二

東市	三、一〇〇
京市	三、一〇〇
濱市	三、一〇〇
阪市	三、一〇〇
海濱	三、一〇〇
靜岡	三、一〇〇
富士	三、一〇〇
萬代	三、一〇〇
二德	三、一〇〇
吸江	三、一〇〇
奉天	三、一〇〇
日吉	三、一〇〇
南樺	三、一〇〇
上總	三、一〇〇
三友	三、一〇〇
隱岐	三、一〇〇

【海運—船舶】

二	四	四	六	八	八	一	一	一	二	總計
千噸以上	千噸以上	千噸以上	千噸以上	千噸以上	千噸以上	千噸以上	千噸以上	千噸以上	千噸以上	
七二五、〇八一	一、二二六、一六七	一、三三四、四六四	二、九五八、三八一	一、〇三二、二五一	一、〇三二、二五一	一、〇三二、二五一	一、〇三二、二五一	一、〇三二、二五一	一、〇三二、二五一	三、六三〇
二五八	五三一	四七八	三六九	三六九	三六九	三六九	三六九	三六九	三六九	三、六三〇
一、二七五、一三三	二、五五五、七七九	二、三八六、八五七	六、八〇六、九八七	六、八〇六、九八七	六、八〇六、九八七	六、八〇六、九八七	六、八〇六、九八七	六、八〇六、九八七	六、八〇六、九八七	三、五〇四
一、〇三九、七六三	二、一五六、六二八	一、六九〇、五六〇	一、六九〇、五六〇	一、六九〇、五六〇	一、六九〇、五六〇	一、六九〇、五六〇	一、六九〇、五六〇	一、六九〇、五六〇	一、六九〇、五六〇	一、八四〇
一、〇八九、七三七	一、六九七、二一一	九六六、八〇五	一、六四一、五七三	一、六四一、五七三	一、六四一、五七三	一、六四一、五七三	一、六四一、五七三	一、六四一、五七三	一、六四一、五七三	一、八四〇
六七	七八	五五	八四	八四	八四	八四	八四	八四	八四	七二四
七四八、四一九	九六六、五五五	六二四、〇五七	一、〇二〇、一七八	一、〇二〇、一七八	一、〇二〇、一七八	一、〇二〇、一七八	一、〇二〇、一七八	一、〇二〇、一七八	一、〇二〇、一七八	三、四二二
一六八、九七	四四三、三三五	四三一、九八二	一、〇二〇、一七八	一、〇二〇、一七八	一、〇二〇、一七八	一、〇二〇、一七八	一、〇二〇、一七八	一、〇二〇、一七八	一、〇二〇、一七八	三、四二二
一〇	二五	二六	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	三、四二二
五〇八、二二三	七二二、〇四四	四七九、八七一	一、三〇〇、五五七	一、三〇〇、五五七	一、三〇〇、五五七	一、三〇〇、五五七	一、三〇〇、五五七	一、三〇〇、五五七	一、三〇〇、五五七	三、四二二
二、八九九	三、九〇一	三、二〇二	六、六五二	六、六五二	六、六五二	六、六五二	六、六五二	六、六五二	六、六五二	三、四二二
六、四三三、一一一	一〇、九七九、三二六	九、二〇八、六九〇	一九、六四七、二七四	一九、六四七、二七四	一九、六四七、二七四	一九、六四七、二七四	一九、六四七、二七四	一九、六四七、二七四	一九、六四七、二七四	三、四二二

英·本·國

船型隻噸	五年以上	十年以上	十五年以上	廿五年以上	以廿五年以上	合計
百噸以上	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三、一七二
五百噸以上	一〇五、三三九	一〇五、三三九	一〇五、三三九	一〇五、三三九	一〇五、三三九	七、八六、六三五
千噸以上	二一六	二一六	二一六	二一六	二一六	六、七九
五千噸以上	七、七、七八	六、八、八〇	八、八、四九三	四、三、一九二	一、三、八三六	四、八、〇三九
一萬噸以上	六、六、六六	一〇〇、二、三五	一七六、九、一〇	二〇〇、七、九一	一九七、八、一六	五、九、八
總計	九、四、三、六五	一〇〇、二、三五	一七六、九、一〇	二〇〇、七、九一	一九七、八、一六	八、八、七、六五

船型隻噸	五年以上	十年以上	十五年以上	廿五年以上	以廿五年以上	合計
二千噸以上	一五七、三三七	三二一、二七二	四二六、一四三	二九五、六六六	一六三、三四八	一、四九〇、二四七
四千噸以上	六七八、三三	一、四七〇、七〇〇	一、一五二、三三	一、二〇九、〇九六	四〇〇、一九四	一、〇一七
六千噸以上	三三九、八三三	六二七、六九九	七八三、二七八	九八九、五八五	四五四、三三四	三、三五九、三六五
八千噸以上	四一、三〇〇	四〇九、七二五	二四九、四〇四	四九七、一七八	一六〇、三三〇	一、八四、五五七
一萬噸以上	三二七、八三三	二九八、二六九	三三五、九四九	三八三、二六	一七〇、三三〇	一、八四、五五七
一萬五千噸以上	三〇、〇〇〇	八七、四八一	二五一、三〇〇	二四九、〇一一	九五、五二九	一、六七三、一一〇
二萬噸以上	三二九、四一一	三五一、〇五三	一八六、七〇七	二二、五七七	六七、四八〇	九、九、二六八
總計	二、五二二、三〇〇	三、八二二、〇六六	三、六九六、四一六	四、〇四一、七三六	一、八〇七、二二二	一、七、四、三、六

米·國

船型隻噸	五年以上	十年以上	十五年以上	廿五年以上	以廿五年以上	合計
百噸以上	八、九、九五	一八、三、八〇	六、二、三三	四九、八、五六	一一、三、七〇	一、五二、九九六
五百噸以上	一、〇、一〇	九、〇、一六	七、五、五〇	八、一、四〇	一一、四、五九	一、〇、〇
一萬噸以上	一、二、六、〇七	二、二、三、三三	五、七、九、五六	六、二、五、七三	二、八、五、五七	六、八、三、三四
總計	一、二、六、〇七	二、二、三、三三	五、七、九、五六	六、二、五、七三	二、八、五、五七	六、八、三、三四

【海運—船舶】

總計	二萬噸以上	二萬噸未滿	一萬五千噸以上	一萬五千噸未滿	一萬噸以上	一萬噸未滿	八千噸以上	八千噸未滿	六千噸以上	六千噸未滿	四千噸以上	四千噸未滿	二千噸以上	二千噸未滿
----	-------	-------	---------	---------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

佛蘭西

總計	二萬噸以上	一萬五千噸以上	一萬五千噸未滿	一萬噸以上	一萬噸未滿	八千噸以上	八千噸未滿	六千噸以上	六千噸未滿	四千噸以上	四千噸未滿	二千噸以上	二千噸未滿
----	-------	---------	---------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

船型隻噸	五年以內	五年以上	十年以上	十五年以上	廿五年以上	以五年以上	合計
總計	四九、一〇〇	六九、二六八	八七、四二六	一、一四四、二五〇	二二、五八八	五〇、一三三	三、九二七、九一六
二萬噸以上	二九、五〇〇	一〇一、四七七	一一四、一九二	一、一四四、二五〇	二二、五八八	五〇、一三三	三、九二七、九一六
一萬五千噸以上	八七、一九六	三三、三五六	一五、二八六	五二、八九三	一七、八四二	一八七、七三一	一、八七、七三一
一萬五千噸未滿	四四、九八四	三九、三四二	七四、九六一	一一八、四〇五	一六、九三〇	二九四、〇五二	二、九四、〇五二
一萬噸以上	—	—	—	—	—	—	—
一萬噸未滿	—	—	—	—	—	—	—
八千噸以上	—	—	—	—	—	—	—
八千噸未滿	—	—	—	—	—	—	—
六千噸以上	—	—	—	—	—	—	—
六千噸未滿	—	—	—	—	—	—	—
四千噸以上	—	—	—	—	—	—	—
四千噸未滿	—	—	—	—	—	—	—
二千噸以上	—	—	—	—	—	—	—
二千噸未滿	—	—	—	—	—	—	—

總計	二萬噸以上	二萬噸未滿	一萬五千噸以上	一萬五千噸未滿	一萬噸以上	一萬噸未滿	八千噸以上	八千噸未滿	六千噸以上	六千噸未滿	四千噸以上	四千噸未滿	二千噸以上	二千噸未滿
----	-------	-------	---------	---------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

世界船舶國別年齡比較

(一九三七年六月現在口) (イ卜調査總噸百噸以上)

國別	五年未滿	十年未滿	十五年未滿	廿年未滿	廿五年未滿	廿五年以上	合計
英國	八〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇一四、〇〇〇	一、二二三、〇〇〇	一、〇二七、〇〇〇	一、七四九、〇〇〇	六、九〇三、〇〇〇
新瀛洲	二、五二一、三〇〇	三、八二二、〇六六	三、六九六、四一六	四、〇四一、七二六	一、八〇七、二二三	一、五五七、五六六	一七、四三六、二〇七
加西	一、一五〇、〇〇〇	七九、八三七	一一一、八四五	一三三、六八一	九二、六〇〇	一一九、七七七	六五三、八〇九
加西	一一、四八八	二九三、四一六	二五〇、九〇五	一四七、八五五	一一〇、八五五	四三三、九四四	一、二五七、四六三
總計	三三、〇〇〇	四九八、七三〇	四一四、九六五	一、〇〇三、〇八五	三二六、六一一	二、八六六、七九一	二一、八四三、六八八

西班牙	三九、五七六	二〇、六八八	二〇、〇六七	一六、三六〇	一、九三三	三六五、六九九	五〇、二六四
瑞典	二九、一八九	二〇、〇六七	一六、三六〇	一、九三三	三六五、六九九	五〇、二六四	四九、二五六
挪威	三五、七三三	二四、一七一	一六、三六〇	一、九三三	三六五、六九九	五〇、二六四	六六、二七四
丁抹	三、七九二	二、七九二	二、七九二	二、七九二	二、七九二	二、七九二	三二、七九二
其他	一六、五〇九	一六、五〇九	一六、五〇九	一六、五〇九	一六、五〇九	一六、五〇九	四五、〇九〇
合計	一、六二五、二五三	一、一五七、六五〇	九三三、四七一	四一七、六三六	三八三、六〇八	三四三、四一九	一、一五五、二三三

世界モーター船舶別調 (總噸百噸以上)

全英國	九三三	二、八五二、二一九	九七七	二、九三三、八三九	一、〇四六	三、一七七、八六一	一、一四〇	四、〇九四、〇六三
全米國	二五八	七二八、一一一	三五九	七二九、四八二	三九九	七四八、九三三	三三七	七三三、一五六
丁抹	二二六	四六一、二四九	二二一	四五五、一一五	二二一	四〇六、七七七	一四七	五〇六、一四八
佛逸	一三四	二二二、九八三	一四八	二四九、〇六六	一六四	二四四、三三八	一四六	二八二、九六三
獨逸	五二六	六七〇、一〇二	五六二	六七一、四七〇	六二六	六八四、七三三	三二九	七三一、七六九
和蘭	五二四	七二七、七四七	六〇一	七八一、〇七〇	六三一	八四三、九四四	五四四	九〇七、八〇五
伊太	二二三	六〇七、三三三	二二二	六二二、一五八	二五六	六四一、六九七	一五一	六二一、八四二
日本	四四九	六〇八、九四六	四七一	七〇七、五七五	七〇九	八三二、〇〇六	四八九	九〇〇、六七四

諾威	四一九	一、七五四、一七六	四二四	一、七九八、〇一五	四四八	一、九二八、五六六	四三二	二、〇九三、一三三
西班牙	二二五	二二二、四四五	一三三	二二二、五五五	一五九	二四二、五七八	一一三	二二五、四二五
瑞典	三二五	五五八、三六八	三三〇	五五五、五五五	三四三	五六六、五三六	一六六	五五五、八四四
露國	一〇七	二八六、〇一九	一〇七	二八六、〇一九	二六	三六六、〇九三	二六	三七七、八二〇
白耳義	三〇	六五、一〇三	三〇	六五、一〇三	三〇	六五、一〇三	三〇	六五、一〇三
伯刺西爾	一	四九、九七五	一	四九、九七五	一	四九、九七五	一	四九、九七五
希臘	一	五、五四二	一	五、五四二	一	五、五四二	一	五、五四二
其他	四七二	七八七、七三四	三二〇	四五〇、九八八	三二四	四三六、七三三	三三三	四八八、六三三
合計	四、六六三	一〇、二〇〇、三九二	四、九四一	一〇、六〇四、五五八	五、五一一	一、三〇四、六九一	四、二九三	一、一五三、七六四

世界油槽船國別調 (總噸數一千噸以上)

英國	三六〇	二、二六九、〇八八	三六九	二、二一七、七三〇	三七九	二、三三三、三四四	三七二	二、三二四、〇五三
同屬	五七	三三二、九八二	五四	三二八、一七九	五五	三三三、三三三	五五	三二四、二八三
米國	三八九	二、五〇一、七三八	三八五	二、四八〇、一五五	三八八	二、四九一、三六八	三八八	二、四八九、七二五
伊太	二二四	一、五〇八、〇三三	二二三	一、五〇六、八八七	二二二	一、五〇四、五五七	二二九	一、六五七、七八二
和蘭	六九	三三四、四八六	六五	三三四、四八九	六七	三三九、三一九	七一	三四八、五九六
佛逸	七五	三二〇、九〇〇	七二	三二〇、八八五	七九	三三六、〇六七	八八	三四三、九一三
獨逸	四〇	三二五、三三八	四一	三二〇、五〇三	三七	二二九、八二八	四一	二四〇、四二二
日本	二九	一四八、二六五	三一	一三三、六三二	二六	一五〇、五七二	二五	一三六、三七二
白耳義	九	四〇、八五三	九	六〇、三四八	九	六〇、三四八	八	五五、六七三

【海運—船舶】

年次	帆 船	モーター船	燃油船	石炭船	年次 (%)	帆 船	モーター船	燃油船	石炭船
一九二七	二・九五	六・五五	二八・三五	六三・一五	一九三三	一九〇	一五・〇二	二九・五三	五三・五六
一九二八	二・六八	八・一一	二八・四六	六〇・七五	一九三三	一八六	一六・一八	三〇・二六	五二・七〇
一九二九	二・七	一一・六〇	二八・四五	五七・六八	一九三四	一七八	一六・九四	三〇・六四	五〇・六一
一九三〇	一・九	一三・四七	二八・五三	五五・〇二	一九三五	一六三	一八・八七	三〇・三八	四九・一一
一九三一	一・九六	一四・三九	二八・八八	五四・七七	一九三六	一五三	二〇・七三	二九・八三	四七・九四
合計	一一〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一九三六	一五三	二〇・七三	二九・八三	四七・九四
其他	六六二・一七	六五二・五九	六五二・五九	六五二・五九	一九三六	一五三	二〇・七三	二九・八三	四七・九四
計	一、四七六	一、四三〇	一、四三〇	一、四三〇	一九三六	一五三	二〇・七三	二九・八三	四七・九四

世界船舶動力別比較趨勢

年次	帆 船	モーター船	燃油船	石炭船
一九二七	二・九五	六・五五	二八・三五	六三・一五
一九二八	二・六八	八・一一	二八・四六	六〇・七五
一九二九	二・七	一一・六〇	二八・四五	五七・六八
一九三〇	一・九	一三・四七	二八・五三	五五・〇二
一九三一	一・九六	一四・三九	二八・八八	五四・七七

本邦船舶現在數 (昭和十一年十二月末現在)

積 量	汽 船	帆 船	モーター船	燃油船	石炭船
三〇噸以上	船數 一、八四二	總噸數 八二、七三	船數 三三七	總噸數 一四、二四八	船數 一、二九
一〇〇噸以上	船數 四九七	總噸數 九〇、七七八	船數 三五	總噸數 五、六二四	船數 七
合計	船數 二、三三九	總噸數 一七三、四七八	船數 三七二	總噸數 一九、八七二	船數 一、三六

噸 數	帆 船	汽 船	モーター船	燃油船	石炭船
三〇噸以上	船數 一、八四二	總噸數 八二、七三	船數 三三七	總噸數 一四、二四八	船數 一、二九
一〇〇噸以上	船數 四九七	總噸數 九〇、七七八	船數 三五	總噸數 五、六二四	船數 七
合計	船數 二、三三九	總噸數 一七三、四七八	船數 三七二	總噸數 一九、八七二	船數 一、三六

【海運—船舶】

神戶	仁川	石狩	鎮海	奧尻
一、〇七	一、五〇	一、一五	七、五	一、二四
神內	禮文	釜石	長崎	舞鶴
一、四八	二、八〇	三、九〇	八、九三	五、六五
釜山	室蘭	横須	熱田	上海
七、四〇	六、三三	七、三二	八、六〇	一、三六〇
紋別	三基	口津	浦田	安東
二、六〇	三、七〇	一、三六	四、九〇	一、四一三
岩内	三基	淡路	芝罘	大連
六、〇〇	九、五〇	七、五	一、一八〇	三、三〇〇
函館	留萌	宇津	直津	安東
二、〇七	五、六	一、四八	四、三二	四、四
唐津	半田	大津	品津	安東
八、九	八、四一	一、〇八	八、九三	四、四
小笠原	龜田	厚岸	小湊	大連
二、四八	六、六	九、五	一、八四	一、〇一六
網走	斜路	野田	新湊	大連
七、九	三、〇八	二、二七	三、七六	一、〇一六
博多	清水	雄内	能呂	大連
八、六五	一、一八	一、六七	二、六四	一、〇一六
青島	鬼崎	雄内	能呂	大連
一、三三	一、〇五	一、六七	二、六四	一、〇一六
大連	鎮南	高崎	雄内	大連
二、三三	一、二六	一、〇五	一、六七	一、〇一六
青島	鎮南	高崎	雄内	大連
二、三三	一、二六	一、〇五	一、六七	一、〇一六
榮濱	鎮南	高崎	雄内	大連
三、三五	一、二六	一、〇五	一、六七	一、〇一六

補助命令航路

現在遠洋近海及沿岸を通し政府の補助命令航路と稱するは左記内容にして此補助航路に對しては左の附帶條件あり

- 一、政府ニ於テ必要ト認ムルトキハ各航路内ニ於テ寄港地ヲ増加シ又ハ之カ變更ヲ命スルコトアルヘキコト
- 一、旅客貨物ノ運賃ハ政府ノ認可ヲ得テ之ヲ定ムルコト
- 一、政府ニ於テ必要ト認ムルトキハ種類ヲ指定シテ旅客貨物ノ運賃ヲ低減セシムルコトアルヘキコト
- 一、各航路ニ使用スル船舶ニ依リ運送スル郵便物ハ無貨タルヘキコト
- 一、政府ハ契約者ノ費用ヲ以テ各船舶ニ航海修業生三名以内ヲ乗組マシメ政府ノ定ムル手當ヲ支給セシメ得ル事
- 一、政府ハ公益上必要ト認ムルトキハ相當ノ金額ヲ給與シテ各航路ニ使用スル船舶ヲ買収シ又ハ使用スルヲ得ルコト

- 一、政府ハ非常事變ノ際ニ於テ各航路ノ船舶並ニ船員ヲ使用スルヲ得ルコト但シ此ノ場合ニハ相當ノ使用料ヲ支給スルコト
- 一、補助金ハ命令書ノ定ムル所ニ依リ支給スルコト但シ航海年度ヲ減シタルトキ又ハ命令書ニ規定シタル各地ニ航行セス隨テ航海年度減縮シタルトキハ命令書ノ定ムル所ニ依リ補助金ヲ減スルコト
- 一、政府ノ認可ヲ受ケ若ハ已ムヲ得サル事故ノ爲前記ノ資格ニ適合セサル船舶ヲ使用スルトキハ命令書ノ定ムル所ニ依リ補助金ノ支給額ヲ減少スル場合アルコト
- 一、補助金年額ノ約一割ニ相當スル保證金ヲ徴收スルコト
- 一、正當ノ事由ナクシテ航海年度數ヲ缺キタルトキ、相當ノ船舶ヲ使用セサルトキ、船舶ノ修繕若ハ補充ヲ爲ササルトキ、航海時間ヲ遅延シタルトキ、起點終點ノ兩港ニ於ケル發着日時ヲ變更シタルトキ、郵便物揚卸ノ契約ニ違背シ若ハ寄港地ヲ省キタルトキ、其ノ他命令書ノ規定ニ違背シタルトキハ一日若ハ十二時間未滿又ハ一回毎ニ所爲ノ輕重ニ依リ相當ノ金額ヲ徴收スルコト
- 一、政府ノ認可ヲ得スシテ契約者義務ヲ他人ニ移轉シ又ハ一年期間ニ於テ命令書ニ規定スル缺航ヲ爲シタルトキハ契約ヲ解除シ補助金ノ支給ヲ廢止シ當該年期間既ニ執行シタル航海ニ對シ支給シタル補助金ヲ還納セシメ且保證金ヲ沒收スルコト
- 一、前數項ニ於テ一年期間ト稱スルハ其ノ年四月一日ニ起リ翌年三月三十一日ニ終ル一週年間ヲ謂フ但シ北米並南米航路ニ於テハ其ノ年一月一日ヨリ十二月末日迄トス

命令航路内容及受命者

航路	航海年度數	使用船隻	受命者
△北米航路	每三週一回以上	三三隻	日本郵船
一、桑港線	每四週一回以上	三三隻	日本郵船
二、シヤトル線	每三週一回以上	三三隻	日本郵船

【海運—航路—】

△南米航路

- 一、東岸線
- 二、西岸線

△郵便定期航路

- 一、横濱倫敦線(横濱倫敦間)
- 二、横濱メルボルン線(横濱メルボルン間)

△阿弗利加航路

- 一、東岸線(神戸ケープタウン間)
- 二、西岸線(横濱ダカー間)

△波斯線(横濱バスマラ間)

△南洋航路瓜哇線(神戸バタビヤ間)

△近東主要港寄港

「ジャフア」又ハ「ハイ
往航「フア」「ペイルト」「スタ
ンブル」「ピレウス」及「アレキサ
復航「ピレウス」「アレキサ
ンドリヤ」

△中南米寄港航路

「ラガイラ」「キングス
トン」又ハ「ウキレム
往航「スタット」「ボート」オ
ブ「アリン」又ハ「ト
ルヒーヨ」「ハバチ」

△支那沿岸線(天津又ハ塘沽廣東間)

每月三回以上年四十航海以上

四隻

日清汽船

每月一回以上年十二航海

三五隻

日本郵船

每二週一回以上年十二航海以上

三一〇隻以上

同

每月一回以上年十二航海以上

三五隻

大阪商船

每月一回以上年六航海以上

四三隻

山下汽船

往航每三ヶ月二回以上年十回以上

復航每三ヶ月一回以上年五回以上

日本郵船

往航每三ヶ月一回以上年六回以上

往航每三ヶ月一回以上年六回以上

日本郵船

△支那航路

- 一、上海漢口線(上海漢口間)
- 二、漢口宜昌線(漢口宜昌間)
- 三、漢口湘潭線(漢口湘潭間)
- 四、漢口常德線(漢口常德間)
- 五、宜昌重慶線(宜昌重慶間)

但し減水期は航行停止以上年六航海以上
但し減水期は航行停止以上年六航海以上
但し減水期は航行停止以上年六航海以上
但し減水期は航行停止以上年六航海以上
但し減水期は航行停止以上年六航海以上

△大連線(神戸大連間)

每月十二回以上年百六十八航海以上

六隻

大阪商船

△上海線(長崎上海間)

每月四回以上年九十航海以上

三二隻

日本郵船

△北支那線

- 一、神戸天津線(神戸天津又ハ塘沽間)
- 二、横濱營口線(横濱營口間)
- 三、横濱天津線(横濱天津又ハ塘沽間)

四月より十月迄及翌年三月航海以上
以上十一月二回以上年廿二航海以上
每月二回以上年三十航海以上

三三隻

近海郵船

△青島線(神戸青島間)

每月六回以上年七十二航海以上

三隻

大原田汽船

△日本海航路

【海運—航路—】

東航世界一周線	四週一回	二	橫濱、大連、天津、青島、上海、門司、神戸、大阪、名古屋、清水、 ム、漢堡
漢堡線	毎月一回	六	橫濱、(釧路)、(函館)、小樽、崎戸、大連、上海、セブ、マカッサ、 バタビア、新嘉坡、(ポルト・セツテナム)、古倫母、坡西土、ハーブ ル、倫敦、ロツテルダム、漢堡、安土府、(リスボン) 蘇士、新嘉坡、 マニラ、香港、上海、(門司)、神戸、大阪、橫濱
桑港線	二週一回	四	香港、上海、神戸、清水、橫濱、晚香坡、シヤトル
シヤトル線	約二週一回	三	神戸、名古屋、清水、橫濱、晚香坡、シヤトル
紐育線	年一八回	六	神戸、マニラ、香港、基隆、上海、大連、大沽、門司、大阪、神戸、 名古屋、清水、橫濱、羅府、巴奈馬、紐育、ボストン、費府、ボルチ モア
中南米ガルフ線	二ヶ月一回	四	神戸、崎戸、マニラ、イロイロ、セブ、神戸、名古屋、橫濱、羅府、 巴奈馬、ウキレムスタッド、ラガイラ、キングストン、トルヒーヨ、 ポルト・オ、プリンス、ハバナ、ニューオールリヤンス、バナマ經由本邦
南米西岸線	二ヶ月一回 以上年七回	五	香港、門司、大阪、神戸、四日市、橫濱、ホノルル、ヒロ、桑港、羅 府、マンザニヨ、バルボア、ベナベンツラ、カイヤオ、ビスコ、モ レンド、アリカ、イキケ、バルバライツ
漆洲線	毎月一回	三	橫濱、名古屋、大阪、神戸、三池、長崎、香港、マニラ、ダバオ、木 曜島、プリズベン、シドニー、メルボルン
日本南洋濠洲線	毎月一回	三	橫濱、三池、八幡、門司、神戸、大阪、名古屋、橫濱、バラオ、プリ ズベン、シドニー、メルボルン、アデレード
甲谷陀線	毎月三回	九	橫濱、名古屋、大阪、神戸、門司、崎戸、長崎、香港、新嘉坡、ポ ルト・セツテナム、彼南、蘭貢、甲谷陀
グイザガ線	月一回	三	橫濱、名古屋、大阪、神戸、門司、長崎、三池、香港、新嘉坡、彼南 マドラス、ボンヂセリ、コーチン、アレツビー、忠竹林、カリカル、 コカナダ、ウイザガ

孟買線	毎月二回	九	橫濱、名古屋、四日市、大阪、神戸、門司、崎戸、上海、香港、新嘉 坡、彼南、古倫母、孟買、唐地
南洋連絡線	月約一回	一	神戸、門司、橫濱、バラオ、アングウル、オレイアイ、トラツク、ボナ ベ、クサイ、ヤルット、大阪
東航線	月一回	二	神戸、門司、橫濱、サイパン、トラツク、ボナベ、クサイ、ヤルット
西航線	月一回	五	神戸、門司、橫濱、サイパン、テナアン、ロダ、ヤツア、バラオ、ア シガウル、メナド、ダバオ、タワオ、橫濱、大阪、神戸
サイパン線	六日一回	一	名古屋、門司、橫濱、八丈、二見、サイパン、テナアン、ロダ、橫濱、 名古屋、大阪、神戸
神戸、長崎、上海線	四日一回	二	神戸、長崎、上海
橫濱、上海線	六日一回	三	橫濱、名古屋、大阪、神戸、門司、上海 (目下支那事變ノ爲休航中)
阪神、上海線	毎週二回	三	大阪、神戸、門司、上海 (目下支那事變ノ爲休航中)
根室、上海線	月一回又ハ二回	二	根室、釧路、函館、上海 (目下支那事變ノ爲休航中)
大阪、青島、大連線	月二回以上	一	大阪、神戸、廣島、門司、青島 (目下支那事變ノ爲休航中) 室蘭、根室、釧路、函館、橫濱、名古屋、大阪、神戸、青島、大連 (目下支那事變ノ爲休航中)

▲大阪商船

日本歐洲線	休航中	往航	神戸、四日市、橫濱、神戸、香港、新嘉坡、古倫母、ダーバン、 ケニア、アウン、リオヂ、ジャナイロ、サントス、モンテビデオ、ア エノスアイレス
日本南歐洲線	休航中	復航	バルボア、ロスアンゼルス、橫濱、神戸 五隻ノ中大型二隻ハ復航「ベレム」ニ寄港ス
瓜哇歐洲線	休航中		
南米線	大體月一回		

甲 谷 陀 線	休航中	一八	往航 比島、香港、基隆、上海、太沽、大連、門司、神戸、大阪、伊勢
紐育急航線	月二回	一八	復航 ハンブロン、ローズ、クリストバル、バルボア、羅府、大阪、神戸
孟 買 線	月二回	六	往航 橫濱、名古屋、四日市、大阪、神戸、門司、崎戸、香港、新嘉坡
日本甲谷陀線	月二回	六	復航 彼南、古倫母、孟買、唐地、上海、門司、神戸、大阪、四日市、
日本瓜哇甲谷陀線	休航中	六	往航 橫濱、名古屋、大阪、神戸、門司、釜山、長崎、崎戸、香港、新
濠 洲 線	月一	二	復航 嘉坡、ペラワン、德里、彼南、蘭貢、甲谷陀、
新 西 蘭 線	月一	三	復航 橫濱、名古屋、大阪、神戸、門司、釜山、長崎、崎戸、香港、新
西 阿 弗 利 加 線	二月一回	三	往航 橫濱、名古屋、大阪、神戸、門司、釜山、長崎、崎戸、香港、新

阿弗利加東岸線	月一	五	往航 橫濱、名古屋、大阪、神戸、門司、香港、新嘉坡、古倫母、モン
西 貢 盤 谷 線	月二—三	四	復航 モンテビデオ、リオデジヤネイロ、ケイブタウン、モツセルベ
比 律 賓 線	月二	三	往航 橫濱、名古屋、大阪、神戸、門司、長崎、基隆、高雄、マニラ、
神 戶 基 隆 線	二週三	三	復航 セブ、レガスピ又はタバコ、マニラ、高雄、基隆、神戸、大阪、
東 京 高 雄 線	月六	八	門司
大 阪 高 雄 線	月二回	二	往航 橫濱、名古屋、大阪、神戸、門司、博多、長崎、鹿兒島、基隆、安平
京 濱 臺 灣 直 航 線	月二回	二	復航 鹿兒島、門司、廣島
臺 灣 東 沿 岸 線	月六	二	往航 橫濱、基隆、安平、高雄
高 雄 馬 公 線	每奇數日發	一	基隆、門司、大阪、勝浦、名古屋、清水、東京
高 雄 廣 東 線	二週一回	一	高 雄、廈門、汕頭、香港、廣東
基 隆 花 蓮 港 線	二週一回	一	往航 高 雄、基隆、鹿兒島、長崎、博多、釜山、清津
高 雄 清 津 線	月廿五回	〇	復航 清津、城津、興南、博多、長崎、鹿兒島、基隆、高雄
大 阪 大 連 線	月二	一	神 戶、門司、大連
那 霸 大 連 線	月二	一	那 霸、鹿兒島、三角、大連
大 阪 青 島 線	月二	一	大 阪、神 戶、廣 島、門 司、青 島
大 阪 天 津 線	二週三	三	大 阪、神 戶、門 司、天 津

【海運—航路—】

橫濱天津線	每月四	三	名古屋、門司、大連 (復航今治寄港)
基隆福州廈門線	每月三	一	基隆、福州、廈門 (復航淡水=寄港)
基隆香港線	每週一	二	基隆、廈門、汕頭、香港
(命令) 高雄天津線	每月二	二	高雄、基隆、大連、天津
(自由) 高雄上海線	每月三	三	高雄、基隆、福州、上海、青島、大連、天津 (但シ休航中)
臺灣臨時線	三日一	〇	芝浦、橫濱、名古屋、勝浦、大阪、神戸、廣島、門司、博多、長崎、三池、三角、鹿兒島、基隆、安高
香港海防線	二週一	一	往航香港、海口、北海、海防 (但シ昭和七年四月以降休航)
日本廣東線	每週一	一	復航海防、北海、海口、香港 (但シ昭和七年四月以降休航)
上海天津線	每週一	二	橫濱、名古屋、大阪、神戸、門司、廈門、汕頭、香港、廣東
南北支那線	一週二回	二	休航中
大阪北鮮急航線	月七又八	一	昭和二年六月ヨリ休航中
大阪仁川鎮南浦線	月六又七	四	神戶、門司、羅津、雄基、清津
大阪南鮮線	月約三	四	往航神戶、門司、仁川、復航鎮南浦、仁川、神戶
東京西鮮線	二週一	三	神戶、門司、麗水、木浦、蔚山
東京北鮮線	月約七	三	往航京濱、名古屋、大阪、神戸、門司、蔚山、仁川、鎮南浦、安東
大阪釜山馬山線	月約四	二	復航安東、鎮南浦、仁川、蔚山、名古屋
那霸基隆線	月約一	一	京濱、名古屋、門司、釜山、元山、興南、城津、清津、雄基
大阪那霸線	月約五	四	神戶、廣島、門司、釜山、浦項、元山、興南、城津 (雄基清津=延航スルコトアリ)
大阪沖繩線	月約七	二	神戶、門司、釜山、馬山
		二	宮古、八重山、西表
		四	神戶、名瀨
		二	神戶、油津、名瀨、古仁屋

鹿兒島那霸線	月約九	二	名瀨
大島各島線	月約五	二	鹿兒島、喜界島、名瀨、古仁屋、德之島、沖水良部島、與論島
大阪鹿兒島線	每奇數日十五日	三	神戶、高濱、白杵、佐伯、土々呂、細島、內海、油津、福島、波見
大阪別府線	每偶數日十五日	三	神戶、佐伯、土々呂、細島、油津、志布志、內ノ浦、古江
大阪多度津線	每日	五	神戶、高松、今治、高濱、長濱、大分
吳廣島別府線	每日	二	神戶、高松、坂出、新居濱 (七月—九月觀音寺寄港)
大阪勝浦線	每日	一	廣島、宮島、岩國、柳井、鶴川、大分
大阪灣遊覽線	每日	二	神戶、和歌浦、田邊、串本
瀬戸内海國立公園遊覽線	每週一	一	岩屋 (春夏秋季就航)
阪神宮島遊覽線	每週一	一	大阪、神戶、鬼ヶ島、高松、壺籠本島 (春、夏季就航)
		一	大阪、神戶、宮島 (春、秋季就航)

▲近海郵船

橫濱營口線	每月四—五	三	橫濱、名古屋、大阪、神戸、大連、營口
橫濱天津線	每月	三	橫濱、名古屋、神戸、大連、天津
神戶天津線	月六—七	三	大阪、神戸、門司、天津 (塘沽)
大連長崎鹿兒島線	月七—八	二	鹿兒島、長崎、大連
基隆神戶線	月六—七	六	神戶、門司、基隆
橫濱高雄線	月三	三	東京、橫濱、名古屋、大阪、神戸、廣島、門司、博多、長崎、鹿兒島
臺灣臨時線	月四	五	基隆、安平、高雄
高雄仁川線	月四—五	二	東京、橫濱、名古屋、阪神、門司、基隆、安平、高雄

【海運—航路—】

【海運—航路—】

小笠原島線	月一—二	一	東京、八丈島、青ヶ島、父島、母島北港、母島沖港(母島沖港二年六回)
神戸小樽線	月二—三	五	北硫黃島中硫黃島(年四回)、青ヶ島、烏島(年四回)、南硫黃島(年一回)
東京小樽線	週一	二	神戸、釜山、函館、小樽
小樽惠須取線	月二—四	三	東京、横濱、函館、小樽
大阪惠須取線	夏期中	一	小樽、本斗、真岡、野田、泊居、珍内、惠須取、十二月ヨリ三月迄毎月二回、小樽、泊居、間海馬島本斗真岡ニ寄港ス
函館千島線	夏期中	居、惠須取	大阪、神戸、横濱、東京、函館、小樽、大泊、本斗、真岡、野田、泊居、惠須取
大泊敷香線	月四—五	敷香、榮濱、大泊、元泊、知取、小樽(小樽、大泊、榮濱、元泊、知取、敷香)	函館、北千島(留別、別飛、乳吞路、内保、斜古丹、紗萬都、古釜布、單冠、占守、鯨灣、城ヶ崎、村上崎、紗那)
鋼材積取線	月四—五	八	八幡、横濱、東京
棒太積取線	月六	二	函館、青森、小樽、大泊、真岡
高雄横濱線	月一	一	横濱、名古屋、大阪、門司、基隆、安平
半原莊島線	月二—三	二	横濱、名古屋、大阪、神戸、門司、大連、牛莊
小笠原島線	月二	一	十一月ヨリ四月迄 東京、母島沖港、横濱、八丈島、父島
大泊敷香線	月二	八	八幡、大泊

▲北日本汽船

東京小樽棒太線	月六回	五	名古屋、四日市、東京、横濱、函館、小樽、大泊、本斗、真岡、野田
大阪小樽棒太線	月六回	五	泊居、惠須取
			大阪、神戸、坂出、尾道、門司、函館、小樽、留崩、大泊、真岡、野田、泊居、惠須取

青森室蘭連絡線	毎日一回	二	青森、室蘭往復(内、道、樺鐵道ト船車連帶連絡) 毎日兩地出帆
小樽惠須取線	週一—七 星回	一	小樽、真岡、野田、泊居、惠須取(内、道、樺鐵道ト船車連帶)
小樽知取敷香急行線	四回又ハ五回	一	小樽、榮濱、元泊、知取、泊岸、内路、敷香
伏木函館安別線	毎月四回	二	伏木、滑川、魚津、函館、小樽、海馬島、武意泊、内泊、本斗、真岡、取、西棚丹、名好、安別
函館能登線	毎月二回	一	函館、小樽、大泊、富内、野寒、白浦、真蓋、登帆、馬群潭、元泊、知取、新間、泊岸、内路、敷香、野頃、能登、海豹島、遠内、淺瀬
稚内本斗連絡線	毎日一回	一	稚内、本斗(内、道、樺鐵道ト船車連帶) 航路毎日出帆
敦賀北鮮浦湖線	月三回	一	敦賀、清津、羅津、浦湖(内、鮮、滿、歐洲各國鐵道ト船車連帶)
敦賀北鮮線	月三回	一	敦賀、清津、羅津、雄基(内、鮮、滿鐵道ト船車連帶)
伏木惠須取線	月三回又ハ四回	五	伏木、東岩瀬、滑川、魚津、七尾、佐渡、新潟、酒田、船川、小樽、大泊、本斗、真岡、野田、泊居、久春内、惠須取
雄基惠須取線	月三回	二又 八三	雄基、羅津、清津、城津、興南、元山、舞鶴、新舞鶴、宮津、敦賀、伏木、東岩瀬、滑川、魚津、久春内、新湯、酒田、船川、小樽、大泊、本斗、真岡、野田、泊居、久春内、惠須取
伏木棒太東海岸線	月三回	三	伏木、東岩瀬、滑川、魚津、佐渡、新湯、酒田、船川、函館、小樽、留崩、大泊、富内、榮濱、白浦、登帆、元泊、知取、新間、泊岸、内路、敷香

▲南洋海運

日本瓜哇線	月五回	一四	横濱、名古屋、大阪、神戸、マカッサ、スラバヤ、サマラン、チェリボン、バタビヤ、スラバヤ、マカッサ、神戸、大阪、横濱(往航門司寄港月二回、基隆、タワラ、マカッサ、神戸、大阪、横濱各一回、新嘉坡一回、復航タワラ、セブ、香港、高雄又ハ基隆各一回乃至二回)
-------	-----	----	--

【海運—航路—】

▲日清汽船

上海漢口線 月一八 六 鎮江、南京、蕪湖、九江
 漢口宜昌線 月五 二 沙市
 漢口常德線 月三 一 靜安船就航
 上海宜昌線 月三 一 休航中
 漢口湘潭線 月三 一 長沙
 支那沿岸線 月三 四 天津、大連、青島、上海、福州、廈門、汕頭、香港、廣東
 宜昌重慶線 月六 二 萬縣
 上海長沙線 月二 一 漢口
 (但支那事變ノ爲メ目下ハ殆ド休航ノ狀態ナリ)

▲朝鮮郵船

○北鮮新潟線 月二回以上 二 雄基、羅津、清津、新潟、元山、西湖津、城津、清津、雄基、(臨時寄港地) 漁大津、新浦、七尾
 ○雄基東京線 月二回 二 雄基、清津、城津、元山、釜山、下關、名古屋、橫濱、東京、(臨時寄港地) 羅津、漁大津、新浦、西湖津(興南ヲ含ム)、長崎、廣島、神戶、大阪、四日市、武豐、清水
 ○釜山浦禮斯德大阪線 月二回 二 三 雄基、清津、廣島、關門、釜山、元山、西湖津(興南)、城津、羅津、新浦、浦禮斯德、小豆島、武豐、(臨時寄港地) 四日市、名古屋、漁大津、新浦、廣島、尾道
 ○雄基大阪線 月三回 四 五 雄基、清津、廣島、關門、釜山、元山、西湖津(興南)、城津、羅津、新浦、浦禮斯德、小豆島、武豐、(臨時寄港地) 四日市、名古屋、漁大津、新浦、廣島、尾道、直島、小豆島

▲攝陽商船

○朝鮮北支線 月二回以上 一 仁川、鎮南浦、新義州、芝罘、大連、營口
 ○新義州大阪線 月二回 五 六 新義州、鎮南浦、海州(龍塘浦)、仁川、群山、末島、芝浦、木浦、釜山、博多、關門、吉浦、神戶、大阪、(臨時寄港地) 兼二浦、廣島、木ノ江、吉浦、直島、原下、神島
 ○朝鮮上海線 月二回以上 二 仁川、鎮南浦、群山、木浦、釜山、元山、城津、清津、上海、青島
 ○朝鮮長崎大連線 月三回 以 上 二 仁川、鎮南浦、大連、鎮南浦、仁川、群山、木浦、釜山、博多、長崎、三角、鹿兒島
 ○新義州東京線 月二回以上 三 新義州、鎮南浦、仁川、群山、木浦、關門、名古屋、清水、橫濱、東京
 ○大阪雄基線 月一回以上 一 大阪、神戶、廣島、關門、釜山、元山、西湖津(興南)、城津、清津、羅津、雄基
 ○北鮮敦賀線 月二回 二 雄基、羅津、清津、城津、元山、敦賀
 ○北鮮橫濱線 月一回 一 雄基、羅津、清津、釜山、橫濱、東京
 ○ハ命令航路、ハ印ハ陸軍御用船

淡路東浦各線 每日 川口、天保山、兵庫、岩屋、假屋、佐野、生穂、志筑、洲本、由良、沼島、福良
 洲本淡輪線 每日 南海と連絡 淡輪、由良、洲本
 淡路西浦各線 每日 兵庫、明石、野島、富岸、斗ノ内、育波、室津、尾崎、郡家、江井、明神、都志、鳥飼、湊
 大阪若松線 每日 五 大阪(天保山)、神戸(中突堤)、坂田、觀音寺、川之江、三島、新居濱、西條、壬生川、今治、高濱、郡中、宇島、下關、若松

大阪山陽線
 毎日五第一便
 毎日五第二便
 大阪(川口、天保山)、神戸(中突堤)、坂手、高松、多度津、額、尾道、糸崎、忠海、竹原、廣、阿賀、香戸、鍋、吳(吉浦)、廣島、宮島、岩國、久賀、柳井、室津、室積、宇部、門司、大阪(天保山)、神戸(中突堤)、坂手、高松、多度津、額、尾道、糸崎、下關、竹原、廣、阿賀、香戸、吳(吉浦)、廣島、宮島、三田尻、宇部、小倉、川口、天保山、兵庫、郡家、江井、都志、湊、沼島、福良、撫養、堂浦、引田、白鳥、三本松、津田、高松、天保山、兵庫、小松島、兵庫、和歌浦、小松島、大阪(築港)、兵庫、德島(中洲)、天保山、小松島

▲大連汽船

大連安東天津線 月四回 二 大阪商船大阪大連定期船接續
 大連龍口線 月六回 二 大連、龍口
 大連天津線 月一三回 一
 營口大連阪神線 月一〇回 二
 大連新潟伏木線 月三回 二
 大連名古屋川崎線 月三回 二
 大連青島上海線 月一回 三
 大連雄基高雄線 月三回 二
 大連壹盧島線 月五回 一

▲尼崎汽船

大阪仁川線 月一五回 八 神戸、門司、釜山、木浦、群山、仁川
 大阪濟州島線 月三回 一 大阪、濟州島
 大阪大川線 月一五回 六
 大阪若松線 月一五回 三
 大阪下關線 每日
 大阪多度津線 每日

▲國際汽船

濠洲線(山下及川崎ト共同) 毎月一回
 日本孟買線 年二回
 孟買日本線 年一二回
 紐育極東線 毎月二回
 歐洲極東線 年九回
 極東紐育線 毎月二回
 漢堡紐育線 毎月一回
 紐育漢堡線 毎月一回

〔橋濱、名古屋、神戸、長崎、アリスベン、シドニー、メルボルン、アデレード、往復(復航大阪及四日市寄港)〕
 〔蘇士經由、新嘉坡、香港、上海、長崎、神戸、横濱〕
 〔北米大西洋岸諸港、メキシコ灣諸港、巴奈馬經由、ロスアンゼルス、日本、支那〕
 〔ダンカーク、ブレイメン、アントワープ、漢堡、ロツテルダム、坡士西蘇士經由、新嘉坡、香港、上海、長崎、神戸、横濱〕
 〔比律賓、新嘉坡、香港、基隆、上海(太沽)、大阪、神戸、名古屋、清水横濱、羅府、巴奈馬經由、紐育〕
 漢堡、紐育、紐育、漢堡

【海運—航路—】

阿弗利加線(川崎及山) 每月一回
 東京 高雄線 每月二回
 大連浦 濠洲線 年十數隻
 瓜哇 歐洲線
 濠洲 歐洲線
 北米太平洋岸歐洲線
 瓜哇 印度線

▲川崎

汽船

横濱、名古屋、大阪、神戸、門司、三池、新嘉坡、モンバサ、ザンジバ、アルゴアベール、ケープタウン
 東京、横濱、名古屋、大阪、神戸、門司、基隆、安平、高雄
 漢堡
 神戸、門司、瓜哇諸港、ダーバン、ラスバルマス、英國又ハ歐大陸
 神戸、門司、濠洲諸港、ダーバン、ラスバルマス、英國又ハ歐大陸
 加奈陀諸港又ハ北米諸港、巴奈馬經由、英國又ハ歐大陸諸港
 神戸、門司、瓜哇諸港、印度東岸又ハ西岸各港

極東—紐育線
 世界一周南米東海岸線
 極東—中南米西海岸線
 極東—布哇桑港羅府線
 極東—沙市晚香坡線
 日本—濠洲線
 日本—孟買線
 日本—阿弗利加線
 内地—樺太東海岸線
 内地—樺太大泊線
 京濱—大連線
 京濱—青島線

内地—南鮮麗水線
 日本海—南鮮線
 内地—北鮮線

▲三井船部

紐育直航線 月二—三回
 孟買線 月一回
 マドラス線 月一回
 イラン灣線 月一回
 盤谷線 月二—三回
 比律賓線 月一—二回
 大連線 月三回
 門司京濱線 月四—五回

▲山下汽船

比島、彼南、新嘉坡、香港、神戸、名古屋、清水、横濱、桑港、羅府、
 巴奈馬、紐育、ボストン、費府、バルチモア、ジャクソンビル、ニュー
 オリリンズ、ガルベストン、ヒューストン
 横濱、清水、名古屋、大阪、神戸、門司、香港、新嘉坡、古倫母、忠竹
 林、孟買、唐地、マンガイ、ボート、カ、ベディ、バンダ、マ、マ
 横濱、名古屋、大阪、神戸、門司、津久見、香港、彼南、ビザガバタム
 コカナダ、マドラス、ボンヂ、エリ、カリカル、ネガバタム、ジャヤ
 ナ、カンケ、サンチ、ユライ、コーチン
 横濱、名古屋、大阪、神戸、門司、津久見、基隆、新嘉坡、マスカット
 バンダ、アバ、バ、レン、ア、シル、コーウエイ、イト、バンダ、シヤ
 横濱、名古屋、大阪、神戸、門司、盤谷
 横濱、名古屋、大阪、神戸、門司、三池、馬尼刺、レガスピ、タバコ、
 イロイロ、セブ、タバコ
 横濱、名古屋、大阪、神戸、門司、大連、營口
 門司、八幡、津久見、清水、川崎、芝浦

【海運—航路—】

一、定期線

北米北部線 月三回 內地諸港、北米太平洋岸各港往復
 北米南部線 月一回 上海、大連、內地諸港、北米太平洋岸各港往復
 北米太平洋岸線 月一回 北米太平洋岸、濠洲各港
 紐育線 月一回 上海、青島、大連、內地諸港、紐育往復
 濠洲日本線 月一回 內地諸港、濠洲各港往復
 西濠洲日本線 月一回 內地諸港、西濠洲往復
 濠洲北支線 月一回 濠洲各地、比島、香港、上海、大連
 波里斯線 月一回 內地諸港、新嘉坡、イラク諸港往復
 東アフリカ線 三月一回 內地諸港、新嘉坡、アフリカ東海岸諸港往復
 西アフリカ線 六月一回 內地諸港、新嘉坡、アフリカ西海岸諸港
 新西蘭線 月一回 內地諸港、ヌメア、新西蘭諸港往復
 比島日本線 月一回 比島、內地諸港
 大連內地線 月一回 大連、內地諸港往復
 青島內地線 月一回 青島、內地諸港往復

二、不定期航線 (主ナルモノ)

北米、日本往復 (定期船以外臨時配船)
 濠洲、日本往復 (定期船以外臨時配船)
 大連 (又、北鮮) 歐洲各地
 西貢、佛蘭西
 アフリカ各港、內地諸港
 印度諸港、南洋諸島、亞細亞諸港、內地諸港

▲大・同・海・運

比島日本線 月約五回 比島、內地諸港 (定期船以外臨時配船)
 青島內地線 月約一—二回 青島、內地諸港 (定期船以外臨時配船)
 大連內地線 月約四—五回 大連 (關東州)、內地諸港 (定期船以外臨時配船)
 朝鮮內地線 月約四—五回 朝鮮各港、內地諸港
 九州伊勢灣京濱線 月約一〇回 若松、博多、西戶崎、伊勢灣諸港、京濱
 北海道內地線 月約二〇回 北海道諸港、內地諸港
 北海道比島線 月約一回 小樽、室蘭、比島諸港
 樺太內地線 夏期月約二〇回 樺太東西岸及灣内、內地諸港、朝鮮、大連、青島

太平洋岸線 月二回 五隻 (神戸、名古屋、清水、横濱、羅府、桑港、沙市、晚香坡、横濱、名古屋)
 大西洋岸線 月一回 三隻 (神戸、比律賓島、神戶、名古屋、清水、横濱、羅府、紐育、費府、バルチモア、羅府、横濱、名古屋、大阪、神戸)

▲栗・林・商・船

遞信省命令線 夏季七回 函館、小樽、ベトロパブロフスク
 室蘭內地線 每月十五回 室蘭、京濱
 室蘭內地線 每月十回 室蘭、神戶
 室蘭、清水、熱田、吳、門司、三池
 釧路內地線 每月十回 釧路、京濱
 釧路、清水、熱田、阪神、關門
 北千島線 夏季卅回 函館、北千島

【海運—航路—】

其 他
 樺太內地線
 每月十回

數香、京濱、阪神
 惠須取、京濱、伊勢灣、阪神
 沿岸各港

▲鳴谷汽船

朝鮮北海道大連線 月三
 〔大連、鎮南浦、仁川、群山、木浦、釜山、浦項、蕨、境、宮津、舞鶴、新舞鶴、敦賀、伏木、函館、小樽〕
 同 樺太延長線 月一
 〔大連、鎮南浦、仁川、釜山、境、舞鶴、敦賀、伏木、新湯、船川、函館、小樽、大泊、真岡〕
 北海道北鮮線 月二
 〔小樽、雄基、羅津、清津、城津、興南、西湖津、元山、酒田、船川、函館、伏木、根室線 月四
 〔伏木、七尾、東岩瀬、滑川、魚津、生地、新湯、酒田、土崎、船川、函館、青森、釧路、厚岸、霧多布、根室〕
 同 小樽稚內線 月四
 〔小樽、鬼脇、仙法志杏形、鶯泊、香深、船泊、稚內〕

▲原田汽船

青島航路 月二回以上 一 大阪、神戸、門司、青島
 大連航路 月二回 一字野、尾道、今治、三津濱、廣島、門司、大連

▲石原産業海運

新嘉坡直航線 月二回 橫濱、名古屋、大阪、神戸、門司、新嘉坡

東洋諸港關係内外諸航路 (戰前比較)

經營者 職前 (大正三年七月) 現在 (昭和十年十二月)
 使用船數 總噸數 航海回数 使用船數 總噸數 航海回数

經營者	職前 (大正三年七月)	現在 (昭和十年十二月)				
使用船數	總噸數	航海回数	使用船數	總噸數	航海回数	
(一) 歐洲航路						
日本郵船	倫敦線 定期 漢李浦線 臨時	倫敦大線 第一航路 陸線 第二航路 李浦線 第三航路	倫敦大線 第一航路 陸線 第二航路 李浦線 第三航路	二 一 一	九、五〇一 一八、四三九 三〇、四五六	二週一回 不定期 二週一回
彼阿汽船	貨物船	貨物船	貨物船	二	六、〇〇〇	二週一回
青島	線	線	線	三	一五三、三四四	約每週一回
佛國郵船	貨物船	貨物船	貨物船	六	五〇、六三五 三七、〇四一	二週一回
佛國郵船	貨物船	貨物船	貨物船	八	三三、三三九 三八、五五四	約每週一回
佛國郵船	貨物船	貨物船	貨物船	六	五〇、九九二	二週一回
佛國郵船	貨物船	貨物船	貨物船	二	五〇、三四六	二週一回
佛國郵船	貨物船	貨物船	貨物船	九	八二、四三三	約三週一回
佛國郵船	貨物船	貨物船	貨物船	五	三二、〇〇〇	每月一回
佛國郵船	貨物船	貨物船	貨物船	一〇	四三、〇三三	約三週一回
佛國郵船	貨物船	貨物船	貨物船	二	三〇、三五六	約三週一回
佛國郵船	貨物船	貨物船	貨物船	七	四二、七七七	每月一回
佛國郵船	貨物船	貨物船	貨物船	六	四七、六〇九	每月一回
佛國郵船	貨物船	貨物船	貨物船	二	三六、六二二	每月一回
佛國郵船	貨物船	貨物船	貨物船	五	三〇、三五六	約每月一回

航路別國別配船 (本邦關係定期船隻數)

國名	大正三年七月		昭和十年十二月	
	船數	總噸數	船數	總噸數
日本	109,960	2,249,963	26	2,249,963
英國	373,745	1,151,330	60	1,151,330
佛國	14	101,038	1	101,038
伊國	11	66,977	7	66,977
瑞典	10	90,386	13	90,386
奧國	5	34,000	5	34,000
和蘭	118	703,780	9	55,115
諾威	118	703,780	9	55,115
合計	1,187	4,387,000	148	4,387,000
北米太平洋航路	118	703,780	9	55,115
日本	17	1,121,353	6	278,741
英國	130	1,499,161	8	96,196
佛國	5	51,737	4	81,268
伊國	4	19,670	3	23,188
合計	246	2,791,921	21	400,000
日本	3	18,099	3	18,099
英國	3	9,659	3	9,659
佛國	3	20,170	3	20,170
伊國	3	47,938	3	47,938
合計	12	95,866	12	95,866
日本	9	61,857	9	61,857
英國	6	35,472	6	35,472
佛國	1	1,700	1	1,700
伊國	1	9,787	1	9,787
合計	17	108,816	17	108,816
日本	3	1,344,822	3	1,344,822
英國	3	1,499,161	3	1,499,161
佛國	3	51,737	3	51,737
伊國	3	19,670	3	19,670
合計	12	3,415,390	12	3,415,390

自昭和十一年七月
至昭和十二年六月

社外船配船表

(重量二千噸以上)

航路	船數	噸數	船數	噸數	船數	噸數	船數	噸數
自營船	255	1,545,760	244	1,569,696	263	1,650,550	258	1,633,888
(備)船	281	1,817,817	282	1,827,582	287	1,851,117	286	1,847,086
歐洲航路	6	63,691	8	73,311	9	84,386	9	84,386
南阿方面	11	106,334	11	107,734	12	116,755	12	116,755
北米大西洋	33	338,443	31	298,639	37	358,701	34	333,110
北米太平洋	37	395,690	38	406,833	41	436,806	41	436,806
濠洲航路	12	116,795	13	117,411	11	106,631	11	106,631
印度方面	17	146,425	17	147,433	17	149,007	17	149,007
南洋及二區	48	354,152	55	414,684	66	499,800	66	499,800
合計	519	3,600,000	512	3,564,000	536	4,000,000	536	4,000,000
日本	9	43,073	15	98,724	11	52,000	11	52,000
英國	4	30,160	4	23,640	4	30,160	4	30,160
佛國	6	6,000	4	6,000	4	6,000	4	6,000
伊國	1	11,233	1	11,233	1	11,233	1	11,233
合計	20	90,466	24	149,604	20	98,160	20	98,160
日本	3	18,099	3	18,099	3	18,099	3	18,099
英國	1	9,659	1	9,659	1	9,659	1	9,659
佛國	1	20,170	1	20,170	1	20,170	1	20,170
伊國	1	47,938	1	47,938	1	47,938	1	47,938
合計	6	95,866	6	95,866	6	95,866	6	95,866
日本	1	15,159	1	15,159	1	15,159	1	15,159
英國	1	15,159	1	15,159	1	15,159	1	15,159
佛國	1	15,159	1	15,159	1	15,159	1	15,159
伊國	1	15,159	1	15,159	1	15,159	1	15,159
合計	4	60,636	4	60,636	4	60,636	4	60,636
日本	1	1,700	1	1,700	1	1,700	1	1,700
英國	1	1,700	1	1,700	1	1,700	1	1,700
佛國	1	1,700	1	1,700	1	1,700	1	1,700
伊國	1	1,700	1	1,700	1	1,700	1	1,700
合計	4	6,800	4	6,800	4	6,800	4	6,800

航路	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
自營船	255	244	263	258	260	253
(備)船	281	282	287	286	286	286
歐洲航路	6	8	9	9	9	9
南阿方面	11	11	12	12	12	12
北米大西洋	33	31	37	34	34	33
北米太平洋	37	38	41	41	41	41
濠洲航路	12	13	11	11	11	11
印度方面	17	17	17	17	17	17
南洋及二區	48	55	66	66	66	66
合計	519	512	536	536	536	536
日本	9	15	11	11	11	11
英國	4	4	4	4	4	4
佛國	6	4	4	4	4	4
伊國	1	1	1	1	1	1
合計	20	24	20	20	20	20
日本	3	3	3	3	3	3
英國	1	1	1	1	1	1
佛國	1	1	1	1	1	1
伊國	1	1	1	1	1	1
合計	6	6	6	6	6	6
日本	1	1	1	1	1	1
英國	1	1	1	1	1	1
佛國	1	1	1	1	1	1
伊國	1	1	1	1	1	1
合計	4	4	4	4	4	4

同 一九二六年七月	同 一九二七年七月	同 一九二八年七月	同 一九二九年七月	同 一九三〇年七月	同 一九三一年七月
五、七六〇	六、〇八六	四、〇九四	四、一四九	三、三六八	三、二八八
六二、六七三	六三、三六七	六五、一五九	六六、四〇七	六六、〇二四	六八、七三三
約九分七厘	約七分	約七分四厘	約五分一厘	約八分	約一割四分
同 一九三二年七月	同 一九三三年七月	同 一九三四年七月	同 一九三五年七月	同 一九三六年七月	同 一九三七年七月
一一、三九二	一一、二六六	一一、四七三	一一、四九一	一一、三〇〇	一一、〇七三
六九、七三四	六六、六二八	六四、三三七	六三、七二六	六四、〇〇四	六六、二六六
約二割二分	約一割七分	約一割一分	一割強	七分強	三分二厘強

世界繫船狀況調 (單位千總噸)

國名	一九三二年一月	一九三三年一月	一九三四年一月	一九三五年一月	一九三六年一月	一九三七年一月	同 七月	同 七月	同 七月	同 七月	同 七月
北米合衆國	二、五七四	三、〇三一	三、八三三	二、八一九	二、〇四五	二、三九五	七同	一九三六年	一九三七年	一九三八年	一九三九年
英太	一、九六六	二、一九九	三、〇九六	二、〇四五	一、三三七	六九七	七二八	一、八七二	一、五八六	一、五八六	一、五八六
伊太	六五三	八〇七	七二二	四四一	二九七	二〇七	三〇七	二〇九	一七〇	一七〇	一七〇
佛蘭	二九一	五五六	一、〇三八	八三一	四九一	四四五	三三四	三二五	三二五	三二五	三二五
希臘	二二三	一八〇	一〇七	一四〇	一八五	一三三	七	一〇一	一〇一	一〇一	一〇一
西班牙	一一〇	一三六	三三三	三〇八	三〇一	一三三	三	一〇一	一〇一	一〇一	一〇一
日本	三三三	三三三	二五三	一六八	七五	五三	三	三	三	三	三
日耳	三三三	一八七	一七七	一三六	一三六	一四一	六	六	六	六	六
白耳	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三
和蘭	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三

蘇士運河通過統計

年次	一九二九年	一九三〇年	一九三一年	一九三二年	一九三三年	一九三四年	一九三五年
總計	八、二七六	一一、三九三	一二、六三三	八、八九一	七、二一六	四、七〇三	三、七四五
英國	五九五	九一五	六五五	四四八	一三四	六六	一七
瑞典	一三一	一八一	二二一	一八二	七九	三五	一七
丹麥	七七	一八五	一六七	六二	三三	二〇	六
希臘	四八	七〇	一〇三	五三	二八	一五	三
其他	四七六	五五六	六五五	三五〇	五九八	三九二	二二
其他各種通航料	八、二七六	一一、三九三	一二、六三三	八、八九一	七、二一六	四、七〇三	三、七四五
合計	八、二七六	一一、三九三	一二、六三三	八、八九一	七、二一六	四、七〇三	三、七四五
其他各種通航料	八、二七六	一一、三九三	一二、六三三	八、八九一	七、二一六	四、七〇三	三、七四五
其他	八、二七六	一一、三九三	一二、六三三	八、八九一	七、二一六	四、七〇三	三、七四五
計	八、二七六	一一、三九三	一二、六三三	八、八九一	七、二一六	四、七〇三	三、七四五
各國船別表 (一九三五年)	一九三五年	前年二對スル	增減(△印減)	千登簿噸	千登簿噸	千登簿噸	千登簿噸
英國	一、五〇三、三三〇	一、五〇三、三三〇	△	一、五〇三、三三〇	一、五〇三、三三〇	△	一、五〇三、三三〇
瑞典	二、八三三、七九二	二、八三三、七九二	△	二、八三三、七九二	二、八三三、七九二	△	二、八三三、七九二
丹麥	二、三六四、三三〇	二、三六四、三三〇	△	二、三六四、三三〇	二、三六四、三三〇	△	二、三六四、三三〇
希臘	一、七七一、二九五	一、七七一、二九五	△	一、七七一、二九五	一、七七一、二九五	△	一、七七一、二九五
其他	六、〇七三、三三六	六、〇七三、三三六	△	六、〇七三、三三六	六、〇七三、三三六	△	六、〇七三、三三六
合計	一、三三九、三三二	一、三三九、三三二	△	一、三三九、三三二	一、三三九、三三二	△	一、三三九、三三二
其他	八三三、四二二	八三三、四二二	△	八三三、四二二	八三三、四二二	△	八三三、四二二
計	三三九、三三二	三三九、三三二	△	三三九、三三二	三三九、三三二	△	三三九、三三二
其他	三三九、三三二	三三九、三三二	△	三三九、三三二	三三九、三三二	△	三三九、三三二
計	三三九、三三二	三三九、三三二	△	三三九、三三二	三三九、三三二	△	三三九、三三二

年次	一九二九年	一九三〇年	一九三一年	一九三二年	一九三三年	一九三四年	一九三五年
總計	六、二七四	五、七六一	五、三六六	五、〇三三	五、四三三	五、六六二	五、九九二
英國	三三、四六六、〇〇〇	三三、四六六、〇〇〇	三三、四六六、〇〇〇	三三、四六六、〇〇〇	三三、四六六、〇〇〇	三三、四六六、〇〇〇	三三、四六六、〇〇〇
瑞典	三、一六六、〇〇〇	三、一六六、〇〇〇	三、一六六、〇〇〇	三、一六六、〇〇〇	三、一六六、〇〇〇	三、一六六、〇〇〇	三、一六六、〇〇〇
丹麥	三、〇〇二、〇〇〇	三、〇〇二、〇〇〇	三、〇〇二、〇〇〇	三、〇〇二、〇〇〇	三、〇〇二、〇〇〇	三、〇〇二、〇〇〇	三、〇〇二、〇〇〇
希臘	二、八〇〇、〇〇〇	二、八〇〇、〇〇〇	二、八〇〇、〇〇〇	二、八〇〇、〇〇〇	二、八〇〇、〇〇〇	二、八〇〇、〇〇〇	二、八〇〇、〇〇〇
其他	三、一〇〇、〇〇〇	三、一〇〇、〇〇〇	三、一〇〇、〇〇〇	三、一〇〇、〇〇〇	三、一〇〇、〇〇〇	三、一〇〇、〇〇〇	三、一〇〇、〇〇〇
合計	三、一〇〇、〇〇〇	三、一〇〇、〇〇〇	三、一〇〇、〇〇〇	三、一〇〇、〇〇〇	三、一〇〇、〇〇〇	三、一〇〇、〇〇〇	三、一〇〇、〇〇〇
其他各種通航料	三、一〇〇、〇〇〇	三、一〇〇、〇〇〇	三、一〇〇、〇〇〇	三、一〇〇、〇〇〇	三、一〇〇、〇〇〇	三、一〇〇、〇〇〇	三、一〇〇、〇〇〇
其他	三、一〇〇、〇〇〇	三、一〇〇、〇〇〇	三、一〇〇、〇〇〇	三、一〇〇、〇〇〇	三、一〇〇、〇〇〇	三、一〇〇、〇〇〇	三、一〇〇、〇〇〇
計	三、一〇〇、〇〇〇	三、一〇〇、〇〇〇	三、一〇〇、〇〇〇	三、一〇〇、〇〇〇	三、一〇〇、〇〇〇	三、一〇〇、〇〇〇	三、一〇〇、〇〇〇
各國船別表 (一九三五年)	一九三五年	前年二對スル	增減(△印減)	千登簿噸	千登簿噸	千登簿噸	千登簿噸
英國	一、五〇三、三三〇	一、五〇三、三三〇	△	一、五〇三、三三〇	一、五〇三、三三〇	△	一、五〇三、三三〇
瑞典	二、八三三、七九二	二、八三三、七九二	△	二、八三三、七九二	二、八三三、七九二	△	二、八三三、七九二
丹麥	二、三六四、三三〇	二、三六四、三三〇	△	二、三六四、三三〇	二、三六四、三三〇	△	二、三六四、三三〇
希臘	一、七七一、二九五	一、七七一、二九五	△	一、七七一、二九五	一、七七一、二九五	△	一、七七一、二九五
其他	六、〇七三、三三六	六、〇七三、三三六	△	六、〇七三、三三六	六、〇七三、三三六	△	六、〇七三、三三六
合計	一、三三九、三三二	一、三三九、三三二	△	一、三三九、三三二	一、三三九、三三二	△	一、三三九、三三二
其他	八三三、四二二	八三三、四二二	△	八三三、四二二	八三三、四二二	△	八三三、四二二
計	三三九、三三二	三三九、三三二	△	三三九、三三二	三三九、三三二	△	三三九、三三二
其他	三三九、三三二	三三九、三三二	△	三三九、三三二	三三九、三三二	△	三三九、三三二
計	三三九、三三二	三三九、三三二	△	三三九、三三二	三三九、三三二	△	三三九、三三二

運賃

世界主要航路別運賃指數 (ロイドリスト調)

年	歐洲方面	北米方面	南米方面	阿弗利加印度方面	太平洋方面	平均
一九二二年	100.00%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
一九二八年	80.4	91.1	89.7	93.7	93.3	89.7
一九二九年	91.2	88.2	92.5	91.1	84.4	91.3
一九三〇年	71.2	69.5	76.3	74.8	70.2	72.4
一九三一年	70.9	62.3	71.8	77.8	69.1	70.5
一九三二年	68.5	60.4	68.0	91.5	89.7	67.3
一九三三年	69.1	60.3	69.3	76.8	61.6	68.1
一九三四年	69.3	55.9	66.3	72.9	59.2	64.7
一九三五年	70.5	60.7	66.6	76.3	57.1	66.3
一九三六年	80.1	74.4	75.1	87.7	65.6	76.4
尙過去一ヶ年間の月別指數内容は左の如し						
一九三六年一月	73.0	70.7	69.2	83.2	62.7	71.2
二月	69.6	67.5	69.3	82.0	59.9	69.6
三月	68.2	67.4	68.4	80.5	60.9	69.1
四月	68.5	70.1	70.1	79.6	61.4	69.9
五月	70.1	69.8	69.1	76.8	60.8	69.2
六月	74.0	70.6	73.8	74.6	60.9	70.8

世界標準運賃 (平均)

年	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
七	75.9	71.8	71.8	71.8	71.8	71.8	71.8	71.8	71.8	71.8	71.8	71.8
八	79.3	75.8	75.8	75.8	75.8	75.8	75.8	75.8	75.8	75.8	75.8	75.8
九	89.7	75.6	75.6	75.6	75.6	75.6	75.6	75.6	75.6	75.6	75.6	75.6
十	90.0	79.7	79.7	79.7	79.7	79.7	79.7	79.7	79.7	79.7	79.7	79.7
十一	90.6	83.6	83.6	83.6	83.6	83.6	83.6	83.6	83.6	83.6	83.6	83.6
十二	107.6	89.5	89.5	89.5	89.5	89.5	89.5	89.5	89.5	89.5	89.5	89.5

近海方面

若松 香港 (石炭運賃、單位圓)

年	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
七	31.0	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
八	34.0	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
九	34.0	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
十	34.0	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
十一	34.0	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
十二	34.0	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8

若松 上海 (石炭運賃、單位圓)

年	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
七	1.6	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
八	1.6	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
九	1.6	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
十	1.6	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
十一	1.6	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
十二	1.6	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5

【海運—運賃—】

年次	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均
一九二七	二五、八	二五、五	二六、九	二六、九	二六、九	二五、〇	二五、〇	二五、四	二五、九	二九、九	二九、九	二九、四	二四、九
一九二八	三三、四	三二、四	二〇、九	二〇、九	二〇、九	二〇、九	二〇、九	三三、〇	三三、八	三三、九	三三、九	二七、二	二七、二
一九二九	三六、三	二五、四	二五、〇	二五、〇	二五、一	二四、一	二四、一	二六、九	二七、六	二四、二	三三、二	三〇、六	二七、七
一九三〇	一九、二	一九、四	一九、四	一九、九	一九、九	一九、一	一九、四	二八、四	二七、六	二七、九	三三、二	三〇、六	二七、七
一九三一	一四、九	一四、九	一二、七	一二、四	一二、一	一二、一	一二、四	一八、四	二七、六	二七、九	三三、二	三〇、六	二七、七
一九三二	一一、九	一一、九	一一、九	一六、四	一六、四	一五、一	一五、四	二一、七	二七、六	二七、九	三三、二	三〇、六	二七、七
一九三三	一三、九	一四、二	一一、九	一四、四	一四、九	一三、一	一三、四	二〇、一	二七、六	二七、九	三三、二	三〇、六	二七、七
一九三四	一三、一	一三、〇	一三、〇	一三、八	一三、四	一三、五	一三、五	一四、二	二七、六	二七、九	三三、二	三〇、六	二七、七
一九三五	一七、一	一七、二	一七、〇	一六、六	一六、六	一六、九	一六、九	一六、〇	二七、六	二七、九	三三、二	三〇、六	二七、七
一九三六	一七、九	一五、八	一四、六	一四、三	一四、四	一四、九	一四、九	一四、九	二七、六	二七、九	三三、二	三〇、六	二七、七
一九三七	三三、四	三二、二	三三、五	四二、六	四二、六	四一、八	四一、八	一五、七	二一、六	二六、九	三三、二	三〇、六	二七、七

世界定期備船料指數

(英國海運會議所調查、一九二〇年ヲ一〇〇トスル%)

噸型	最高標準		最低標準	
	最高	最低	最高	最低
二三千噸型	五、〇〇〇	三、五〇〇	四、四〇〇	三、七〇〇
四五千噸型	四、四〇〇	三、五〇〇	三、八〇〇	三、二〇〇
六千噸型	三、五〇〇	二、八〇〇	三、〇〇〇	二、五〇〇
八千噸以上	二、五〇〇	二、〇〇〇	二、一〇〇	一、七〇〇

噸型	最高標準		最低標準	
	最高	最低	最高	最低
二三千噸型	五、〇〇〇	三、五〇〇	四、四〇〇	三、七〇〇
四五千噸型	四、四〇〇	三、五〇〇	三、八〇〇	三、二〇〇
六千噸型	三、五〇〇	二、八〇〇	三、〇〇〇	二、五〇〇
八千噸以上	二、五〇〇	二、〇〇〇	二、一〇〇	一、七〇〇

昭和十一年、十二年備船料統計

小 船 (二、三千噸型)

昭和年	最高標準	最低標準
十二年	四、〇〇〇	三、〇〇〇
十一年	三、八〇〇	二、八〇〇
十年	四、〇〇〇	三、〇〇〇
九年	三、三〇〇	二、三〇〇
八年	一、五〇〇	一、〇〇〇
七年	一、六〇〇	一、一〇〇
六年	二、〇〇〇	一、五〇〇
五年	二、八〇〇	二、三〇〇
四年	三、〇〇〇	二、五〇〇
三年	三、〇〇〇	二、五〇〇

【海運—船價—】

播磨造船所	九、〇〇〇	タービン	三〇〇圓	乾汽船
鶴見製鐵	九、六〇〇	タービン	二九二圓	山下汽船
播磨造船	一三、五〇〇	油槽船	二六四圓	中外海運
三菱	一三、〇〇〇	貨客船	七〇〇圓	大阪商船
三菱神戶	九、〇〇〇	貨客船	三三〇圓	南洋海運
函館船渠	五、五〇〇	タービン	二九二圓	鳴谷汽船
松尾造船所	九、五〇〇	快速レシプロ	三〇〇圓	荒川
大阪鐵工所	六、八〇〇	タービン二隻	三三〇圓	原商事
播磨造船所	五、六〇〇	タービン	三〇〇圓	日本郵船
三井	八、五〇〇	タービン	三〇〇圓	明治海運
三井	五、一〇〇	レシプロ	三三〇圓	近海郵船
松尾造船所	九、五〇〇	ドイツセル	三六八圓	國際汽船

英國新造貨物船價 (重量七千噸型)

年次	三月	六月	九月	十二月
一九二五年	六〇、二〇〇	五五、〇〇〇	五三、五〇〇	五三、五〇〇
一九二六年	五三、五〇〇	五三、五〇〇	六三、〇〇〇	六三、〇〇〇
一九二七年	六六、〇〇〇	六三、〇〇〇	六三、〇〇〇	六三、〇〇〇
一九二八年	六〇、〇〇〇	五七、〇〇〇	五七、〇〇〇	六二、〇〇〇
一九二九年	六二、〇〇〇	六〇、〇〇〇	六〇、〇〇〇	六二、〇〇〇
一九三〇年	五六、〇〇〇	五三、〇〇〇	五三、〇〇〇	四八、〇〇〇
一九三一年	五八、〇〇〇	五三、〇〇〇	五三、〇〇〇	四七、〇〇〇

果年月別高低

本邦賣買船月別表

船名	製造年	重量噸數	噸當船價	買主
東名	一九一九	六、六九四	三七、〇〇〇	岡田勢
日通	一九一六	五、一〇〇	一〇〇、〇〇〇	濱崎(大阪)
廣高	一九〇一	七、四〇〇(總)	六八、〇〇〇	小谷(大阪)
大平	一九一七	七、五〇〇	六八、〇〇〇	大同海運
昭美	一九一八	九、三〇七	一四〇、〇〇〇	大同海運
昭平	一九二〇	三、八〇三	一〇〇、〇〇〇	五光商會
昭和	一九二〇	三、八〇三	一〇〇、〇〇〇	五光商會
昭九	一九二〇	三、八〇三	一〇〇、〇〇〇	五光商會
昭一	一九二一	七、七三六	五〇、〇〇〇	宮地商店

一九三二年 三三、〇〇〇
 一九三三年 三三、〇〇〇
 一九三四年 三三、〇〇〇
 註：新造出來合船にして單甲板ブリアリツチ、フ
 オックスル付長さ三八〇呎、幅四九呎、深さ二九
 呎、吃水二三呎八吋、重量七、五〇〇噸、積載徑
 二五吋、四一時、六九吋のシリンドラー、ストロー
 タ四八吋の三聯蒸汽機關公試速力一〇節貨物船

【海運—船價—】

ばなま	一九一〇	七、五八四	加藤(函館)
銀山	一九一八	二、六五〇	上地株式
春日洋	一九一八	二、〇〇〇	甘粕
二東洋	一九一七	四、七六〇	八馬汽船
滿陽	一九一九	一〇、六七五	奧商事
富山	一九一六	九、五三〇	春和海運
關東	一九一〇	一〇、七九二	小野商事
關西	一九一八	一〇、七九二	橋津商船
多喜	一九一七	一、九九〇	關谷(吳)
神戶	一九一八	二、〇〇〇	大信汽船
一西	一九二二	八〇〇	鶴丸
松榮	一九二二	七〇〇	大原
東光	一九一九	六、六九四	大原

大正	一九一八	七〇〇	大阪
萬達	一九一七(總)	三、六五一	甘粕
天祐	一九一五	六、六四〇	菅谷株式
大山	一九一八	三、五〇〇	中外海運
大嘉	一九一九	六、一七三	菅谷株式
三嘉	一九二〇	三、八〇七	小栗
二日	一九一四	六〇〇	大崎汽船
源成	一九一三	一、五五〇	有吉
一美	一九一八	一、五五〇	丸辰海運
生裕	一九二二	八、二二五	東京某
豐彦	一九一九	八、二二五	東京某
二豐	一九一六	七、五〇〇	日本曹達
葵彦	一九一六	四、七〇〇	昭和礦業
龍葵	一九一六	三、八〇〇	昭和田業
三福	一九一六	三、八〇〇	東京某
五大	一九一七	三、八〇〇	東京某

本邦對外賣買船 (殖民地ヲ含ム)

【海運—船價—】

年次	（購）入		（賣）却		昭和三十二年	同十一年	（備考）	解體船は除外	噸當船價	輸
	隻數	總噸數	隻數	總噸數						
昭和三年	三	九四、三五五	九	五一、六七	同	同	同	三六、二七	三	先
同四年	一〇	二二、〇四五	九	五一、九三二	同	同	同	一〇、四八	五	坂
同五年	五	一〇、七六六	二	八、六〇六	同	同	同	七、三五六	三	坂
同六年	六	三、五五七	一	一四、三三〇	同	同	同	—	三	先
十一年一月	船名	總噸數	船齡	原國籍	噸當船價	輸	入			
十一年一月	Otokia	七、三二九	一三	英國	三九、七〇圓	坂	先			
十一年一月	Kawatiri	三、二二	一八	英國	二、四三	坂	先			
十一年一月	Minderoo	二、九一〇	二八	英國	二、四三	坂	先			
十一年二月	Murex	五、八三〇	一五	英國	二九、四〇	坂	先			
十一年二月	Havildar	四、九一一	二六	英國	二七、九三	坂	先			
十一年三月	City of Vancouver	五、六六	二七	英國	二五、二	坂	先			
十一年四月	Paludina	五、八八一	二六	英國	三〇、三三	坂	先			
十一年四月	Jervauk Abbey	一、一八	三三	英國	一三、七一	坂	先			
十一年四月	公和號	四、二六一	三三	英國	四〇、二	坂	先			
十一年四月	新北京號	二、八六六	三三	英國	二、五〇	坂	先			
十一年五月	Chicop	五、三三一	三三	英國	六七、五三	坂	先			
十一年五月	Kalimba	四、九四	三七	英國	八〇、一一	坂	先			
十一年五月	Mumeric	五、〇三	三三	英國	六四、六九	坂	先			

十一年六月	Aymeric	五、一九六	一八	英國	七三、五六	大	阪			
十一年七月	Balguerie-Stuttenberg	一、〇六	二七	英國	七〇、五六	福	島			
十一年七月	Golden Gate	四、八五	二〇	英國	七三、七〇	大	阪			
十一年八月	Australia	七、五一一	二五	英國	三六、〇三	大	阪			
十一年八月	Laperouse	四、八八五	二六	英國	三三、〇九	大	阪			
十一年八月	號大號	二、一〇一	二六	英國	二二、八八	大	阪			
十一年八月	Apikia	三、六〇	二六	英國	五五、五五	大	阪			
十一年八月	Canadian Leader	五、四九二	二六	英國	四六、八二	大	阪			
十一年八月	Canadian Britisher	五、三三〇	二六	英國	四七、八九	大	阪			
十一年八月	Nuddea	七、九二八	二八	英國	三三、六八	大	阪			
十一年九月	Salacia	五、二五	二五	英國	四〇、三	大	阪			
十一年九月	Canadian Victor	五、四四	二五	英國	六一、二九	大	阪			
十一年九月	Cepolis	五、五三八	二六	英國	三三、三四	大	阪			
十一年十月	City of York	七、八四	二六	英國	三九、七〇	大	阪			
十一年十一月	Nora Maersk	六、二二	三	英國	五七、四一	大	阪			
十一年十一月	榮威號	九九六	三	英國	二四、一〇	大	阪			
十一年十二月	Kanna	一、九四八	三	英國	三〇、八〇	大	阪			
十一年十二月	Ionic	一、三三三	三	英國	五三、七四	大	阪			
十一年十二月	Marietta	四、六六〇	三	英國	三六、七九	大	阪			
合計	三隻	五七、六一六噸								

【海運—船價—】

【海運—海員】

海員審判件數

昭 和 年 次	受 理 數	裁 決 數			未 決 件 數
		件 數	人 員	件 數	
昭 和 六 年	一〇六	二〇八	三	二四八	一三三
昭 和 七 年	一三二	一四七	六	九	七
昭 和 八 年	一三九	一三六	二	一三五	二
昭 和 九 年	一三八	一三六	二	一三五	八
昭 和 十 年	一〇七	一〇七	零	零	三
昭 和 十 一 年	七四	五三	三	七	元

海技受驗者

昭 和 年 次	受 驗 者	合 格 者
昭 和 五 年	一四、六〇六	六、九二七
昭 和 六 年	一六、三一〇	九、〇九九
昭 和 七 年	八、五〇三	四、八五二
昭 和 八 年	七、六二五	四、六〇二
昭 和 九 年	八、二七二	五、一四二
昭 和 十 年	九、七四一	六、一四八
昭 和 十 一 年	九、五五三	六、〇六六

船舶職員登錄

昭 和 年 次	新 規 登 錄	抹 消 登 錄	受 理 數			裁 決 數			未 決 件 數
			件 數	人 員	件 數	人 員	件 數	人 員	
昭 和 五 年	五、六七二	六二八	八六二	一、〇一九	六八	七四八	一〇	一〇	
昭 和 六 年	一〇、〇二六	九八二	七九五	九六一	六二	七三六	一〇	一〇	
昭 和 七 年	四、八四九	一、三〇六	七九七	六八三	六三	八四四	一〇	一〇	
昭 和 八 年	四、六四〇	一、〇五七	六八五	六八三	六三	八四四	一〇	一〇	
昭 和 九 年	四、九七三	一、二六二	六九五	六八三	六三	八四四	一〇	一〇	
昭 和 十 年	五、六一四	七二〇	六八九	六八三	六三	八四四	一〇	一〇	
昭 和 十 一 年	五、五二六	八一六	六四八	六八三	六三	八四四	一〇	一〇	

海員審判所裁決事件種類 (十一年)

種 別	高 等 海 員 審 判 所			地 方 海 員 審 判 所		
	件 數	人 員	停 止	件 數	人 員	停 止
衝 突	九	三〇	一〇	三	一〇	一
揚 塵	九	三〇	一〇	三	一〇	一
沈 沒	四	九	一	三	九	一
災 害	四	九	一	三	九	一
火 災	四	九	一	三	九	一
汽 機 損 壞	四	九	一	三	九	一
汽 機 損 壞	四	九	一	三	九	一
汽 機 損 壞	四	九	一	三	九	一
義 務 怠 忽	四	九	一	三	九	一
職 務 怠 忽	四	九	一	三	九	一
其 他	四	九	一	三	九	一
合 計	五二	一七〇	二〇	四九	一七〇	二〇

海員職業紹介成績

昭 和 六 年	求 職 者 數	求 職 者 數	無 料			有 料			
			甲 板 部	機 關 部	其 他	甲 板 部	機 關 部	其 他	
六、九四三	一三、五四三	六、八七六	七、四七六	一三、四〇三	七、四七六	一八、六一四	三、〇五五	一〇、九一三	六、〇一
六、八七六	一三、五四三	六、八七六	七、四七六	一三、四〇三	七、四七六	一八、六一四	三、〇五五	一〇、九一三	六、〇一

【海運—海員】

同 七年	同 八年	同 九年	同 九年	同 十年	（備考）	
					昭	和
求職者數	求職者數	求職者數	求職者數	求職者數	求職者數	求職者數
7,168	7,079	7,715	7,633	7,045	9,842	9,842
就職者數	就職者數	就職者數	就職者數	就職者數	就職者數	就職者數
7,336	7,347	7,833	8,225	7,833	10,333	10,333
求職未濟者數	求職未濟者數	求職未濟者數	求職未濟者數	求職未濟者數	求職未濟者數	求職未濟者數
7,045	7,045	7,045	7,045	7,045	7,045	7,045
7,168	7,079	7,715	7,633	7,045	9,842	9,842
7,336	7,347	7,833	8,225	7,833	10,333	10,333
7,045	7,045	7,045	7,045	7,045	7,045	7,045
7,168	7,079	7,715	7,633	7,045	9,842	9,842
7,336	7,347	7,833	8,225	7,833	10,333	10,333
7,045	7,045	7,045	7,045	7,045	7,045	7,045

無料海員職業紹介成績（海事協同會取扱）

年 別	月 別	高 級 海 員			普 通 海 員		
		求職數	處理數	未濟	求職數	處理數	未濟
十一年	四月	1,334	1,651	1,360	2,653	2,608	2,101
	五月	1,360	1,811	1,360	2,753	2,586	2,265
十一年	六月	1,303	1,721	1,303	2,681	2,485	2,094
	合計	4,000	5,183	4,000	8,087	7,679	6,461

海員職業紹介成績（自十一年四月至十二年三月）海事協同會（昭和十一年度）

合 計	十 二 年	十 一 年	十 年	九 年	八 年	七 年	高 級 船 員 (免 狀 別)	
							求職數	處理數
三 月	1,077	397	388	286	286	286	2,714	2,404
	1,085	320	310	280	280	280	2,697	2,390
二 月	1,085	320	310	280	280	280	2,697	2,390
	1,085	320	310	280	280	280	2,697	2,390
一 月	1,133	397	388	286	286	286	2,714	2,404
	1,133	397	388	286	286	286	2,714	2,404
十 二 月	1,133	397	388	286	286	286	2,714	2,404
	1,133	397	388	286	286	286	2,714	2,404
十 一 月	1,133	397	388	286	286	286	2,714	2,404
	1,133	397	388	286	286	286	2,714	2,404
十 月	1,133	397	388	286	286	286	2,714	2,404
	1,133	397	388	286	286	286	2,714	2,404
九 月	1,133	397	388	286	286	286	2,714	2,404
	1,133	397	388	286	286	286	2,714	2,404
八 月	1,133	397	388	286	286	286	2,714	2,404
	1,133	397	388	286	286	286	2,714	2,404
七 月	1,133	397	388	286	286	286	2,714	2,404
	1,133	397	388	286	286	286	2,714	2,404
十 二 年	1,133	397	388	286	286	286	2,714	2,404
	1,133	397	388	286	286	286	2,714	2,404
十 一 年	1,133	397	388	286	286	286	2,714	2,404
	1,133	397	388	286	286	286	2,714	2,404
十 年	1,133	397	388	286	286	286	2,714	2,404
	1,133	397	388	286	286	286	2,714	2,404
九 年	1,133	397	388	286	286	286	2,714	2,404
	1,133	397	388	286	286	286	2,714	2,404
八 年	1,133	397	388	286	286	286	2,714	2,404
	1,133	397	388	286	286	286	2,714	2,404
七 年	1,133	397	388	286	286	286	2,714	2,404
	1,133	397	388	286	286	286	2,714	2,404
十 二 年	1,133	397	388	286	286	286	2,714	2,404
	1,133	397	388	286	286	286	2,714	2,404
十 一 年	1,133	397	388	286	286	286	2,714	2,404
	1,133	397	388	286	286	286	2,714	2,404
十 年	1,133	397	388	286	286	286	2,714	2,404
	1,133	397	388	286	286	286	2,714	2,404
九 年	1,133	397	388	286	286	286	2,714	2,404
	1,133	397	388	286	286	286	2,714	2,404
八 年	1,133	397	388	286	286	286	2,714	2,404
	1,133	397	388	286	286	286	2,714	2,404
七 年	1,133	397	388	286	286	286	2,714	2,404
	1,133	397	388	286	286	286	2,714	2,404

免 狀 別	十 年 度 未 濟	新 申 込	計	成 立	取 消	計	十 一 年 度 未 濟
甲 船 長	167	321	378	378	177	321	143
甲 一 等 船 長	186	188	333	333	186	188	143
甲 二 等 船 長	206	500	706	706	500	206	143
乙 船 長	110	159	269	269	110	110	143
乙 一 等 船 長	115	254	369	369	115	115	143
乙 二 等 船 長	33	103	146	146	33	33	143

名	横	東	小	室	新	伏	敦	下	門	戸	若	三	大	長	合
古	屋	濱	京	館	樽	蘭	湯	木	賀	關	司	烟	池	口	計
一〇	三四	八三	一元	四七	三六	一三	一四	二六	一四	一四	二一	四二	二四	一〇	一、三四
一一	二一	五一	一六	三六	二七	三〇	一八	一四	一〇	一五	一	一	一	一	一、三四
二	三	八	二	五	九	七	三	三	二	一	一	一	一	一	三、六〇九
三	五	一五	二	六	七	二	一	一	一	一	一	一	一	一	三〇
四	七	二五	九	一	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	四、九三三
五	九	三五	六	二	三	二	一	一	一	一	一	一	一	一	四〇
六	一一	四五	七	三	四	三	二	一	一	一	一	一	一	一	一、四〇
七	一三	五五	八	四	五	四	三	二	一	一	一	一	一	一	一、七五三
八	一五	六五	九	五	六	五	四	三	二	一	一	一	一	一	二、四六〇
九	一七	七五	一〇	六	七	六	五	四	三	二	一	一	一	一	二、四八七
一〇	一九	八五	一一	七	八	七	六	五	四	三	二	一	一	一	三、八〇八
一一	二一	九五	一二	八	九	八	七	六	五	四	三	二	一	一	三、二〇五
一二	二三	一〇五	一三	九	一〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一	四、〇六三
一三	二五	一一五	一四	一〇	一一	一〇	九	八	七	六	五	四	三	二	四、一七三
一四	二七	一二五	一五	一一	一二	一一	一〇	九	八	七	六	五	四	三	四、〇七三
一五	二九	一三五	一六	一二	一三	一二	一一	一〇	九	八	七	六	五	四	四、〇八八
一六	三一	一四五	一七	一三	一四	一三	一二	一一	一〇	九	八	七	六	五	四、一七二
一七	三三	一五五	一八	一四	一五	一四	一三	一二	一一	一〇	九	八	七	六	四、一七二
一八	三五	一六五	一九	一五	一六	一五	一四	一三	一二	一一	一〇	九	八	七	四、二〇〇
一九	三六	一七五	二〇	一六	一七	一六	一五	一四	一三	一二	一一	一〇	九	八	四、二七二
二〇	三八	一八五	二一	一七	一八	一七	一六	一五	一四	一三	一二	一一	一〇	九	四、二七二
二一	四〇	一九五	二二	一八	一九	一八	一七	一六	一五	一四	一三	一二	一一	一〇	四、二〇九
二二	四二	二〇五	二三	一九	二〇	一九	一八	一七	一六	一五	一四	一三	一二	一一	四、二〇九
二三	四四	二一五	二四	二〇	二一	二〇	一九	一八	一七	一六	一五	一四	一三	一二	四、〇七三
二四	四六	二二五	二五	二一	二二	二一	二〇	一九	一八	一七	一六	一五	一四	一三	四、〇七三
二五	四八	二三五	二六	二二	二三	二二	二一	二〇	一九	一八	一七	一六	一五	一四	四、〇七三
二六	五〇	二四五	二七	二三	二四	二三	二二	二一	二〇	一九	一八	一七	一六	一五	四、〇七三
二七	五二	二五五	二八	二四	二五	二四	二三	二二	二一	二〇	一九	一八	一七	一六	四、〇七三
二八	五四	二六五	二九	二五	二六	二五	二四	二三	二二	二一	二〇	一九	一八	一七	四、〇七三
二九	五六	二七五	三〇	二六	二七	二六	二五	二四	二三	二二	二一	二〇	一九	一八	四、〇七三
三〇	五八	二八五	三一	二七	二八	二七	二六	二五	二四	二三	二二	二一	二〇	一九	四、〇七三
三一	六〇	二九五	三二	二八	二九	二八	二七	二六	二五	二四	二三	二二	二一	二〇	四、〇七三
三二	六二	三〇五	三三	二九	三〇	二九	二八	二七	二六	二五	二四	二三	二二	二一	四、〇七三
三三	六四	三一五	三四	三〇	三一	三〇	二九	二八	二七	二六	二五	二四	二三	二二	四、〇七三
三四	六六	三二五	三五	三一	三二	三一	三〇	二九	二八	二七	二六	二五	二四	二三	四、〇七三
三五	六八	三三五	三六	三二	三三	三二	三一	三〇	二九	二八	二七	二六	二五	二四	四、〇七三
三六	七〇	三四五	三七	三三	三四	三三	三二	三一	三〇	二九	二八	二七	二六	二五	四、〇七三
三七	七二	三六五	三八	三四	三五	三四	三三	三二	三一	三〇	二九	二八	二七	二六	四、〇七三
三八	七四	三七五	三九	三五	三六	三五	三四	三三	三二	三一	三〇	二九	二八	二七	四、〇七三
三九	七六	三八五	四〇	三六	三七	三六	三五	三四	三三	三二	三一	三〇	二九	二八	四、〇七三
四〇	七八	三九五	四一	三七	三八	三七	三六	三五	三四	三三	三二	三一	三〇	二九	四、〇七三
四一	八〇	四〇五	四二	三八	三九	三八	三七	三六	三五	三四	三三	三二	三一	三〇	四、〇七三
四二	八二	四一五	四三	三九	四〇	三九	三八	三七	三六	三五	三四	三三	三二	三一	四、〇七三
四三	八四	四二五	四四	四〇	四一	四〇	三九	三八	三七	三六	三五	三四	三三	三二	四、〇七三
四四	八六	四三五	四五	四一	四二	四一	四〇	三九	三八	三七	三六	三五	三四	三三	四、〇七三
四五	八八	四四五	四六	四二	四三	四二	四一	四〇	三九	三八	三七	三六	三五	三四	四、〇七三
四六	九〇	四六五	四七	四三	四四	四三	四二	四一	四〇	三九	三八	三七	三六	三五	四、〇七三
四七	九二	四七五	四八	四四	四五	四四	四三	四二	四一	四〇	三九	三八	三七	三六	四、〇七三
四八	九四	四八五	四九	四五	四六	四五	四四	四三	四二	四一	四〇	三九	三八	三七	四、〇七三
四九	九六	四九五	五〇	四六	四七	四六	四五	四四	四三	四二	四一	四〇	三九	三八	四、〇七三
五〇	九八	四六五	五一	四七	四八	四七	四六	四五	四四	四三	四二	四一	四〇	三九	四、〇七三
五二	一〇〇	四七五	五二	四八	四九	四八	四七	四六	四五	四四	四三	四二	四一	四〇	四、〇七三
五三	一〇二	四八五	五三	四九	五〇	四九	四八	四七	四六	四五	四四	四三	四二	四一	四、〇七三
五四	一〇四	四九五	五四	五〇	五一	五〇	四九	四八	四七	四六	四五	四四	四三	四二	四、〇七三
五五	一〇六	四六五	五五	五一	五二	五一	五〇	四九	四八	四七	四六	四五	四四	四三	四、〇七三
五六	一〇八	四七五	五六	五二	五三	五二	五一	五〇	四九	四八	四七	四六	四五	四四	四、〇七三
五七	一一〇	四八五	五七	五三	五四	五三	五二	五一	五〇	四九	四八	四七	四六	四五	四、〇七三
五八	一一二	四九五	五八	五四	五五	五四	五三	五二	五一	五〇	四九	四八	四七	四六	四、〇七三
五九	一一四	四六五	五九	五五	五六	五五	五四	五三	五二	五一	五〇	四九	四八	四七	四、〇七三
六〇	一一六	四七五	六〇	五六	五七	五六	五五	五四	五三	五二	五一	五〇	四九	四八	四、〇七三
六一	一一八	四八五	六一	五六	五八	五七	五六	五五	五四	五三	五二	五一	五〇	四九	四、〇七三
六二	一二〇	四九五	六二	五七	五九	五八	五七	五六	五五	五四	五三	五二	五一	五〇	四、〇七三
六三	一二二	四六五	六三	五八	六〇	五九	五八	五七	五六	五五	五四	五三	五二	五一	四、〇七三
六四	一二四	四七五	六四	五九	六一	六〇	五九	五八	五七	五六	五五	五四	五三	五二	四、〇七三
六五	一二六	四八五	六五	六〇	六二	六一	六〇	五九	五八	五七	五六	五五	五四	五三	四、〇七三
六六	一二八	四九五	六六	六一	六三	六二	六一	六〇	五九	五八	五七	五六	五五	五四	四、〇七三
六七	一三〇	四六五	六七	六二	六四	六三	六二	六一	六〇	五九	五八	五七	五六	五五	四、〇七三
六八	一三二	四七五	六八	六三	六五	六四	六三	六二	六一	六〇	五九	五八	五七	五六	四、〇七三
六九	一三四	四八五	六九	六四	六六	六五	六四	六三	六二	六一	六〇	五九	五八	五七	四、〇七三
七〇	一三六	四九五	七〇	六五	六七	六六	六五	六四	六三	六二	六一	六〇	五九	五八	四、〇七三
七一	一三八	四六五	七一	六六	六八	六七	六六	六五	六四	六三	六二	六一	六〇	五九	四、〇七三
七二	一四〇	四七五	七二	六七	六九	六八	六七	六六	六五	六四	六三	六二	六一	六〇	四、〇七三
七三	一四二	四八五	七三	六八	七一	七〇	六九	六八	六七	六六	六五	六四	六三	六二	四、〇七三
七四	一四四	四九五	七四	六九	七二	七一	七〇	六九	六八	六七	六六	六五	六四	六三	四、〇七三
七五	一四六	四六五	七五	七〇	七三	七二	七一	七〇	六九	六八	六七	六六	六五	六四	四、〇七三
七六	一四八	四七五	七六	七一	七四	七三	七二	七一	七〇	六九	六八	六七	六六	六五	四、〇七三
七七	一五〇	四八五	七七	七二	七五	七四	七三	七二	七一	七〇	六九	六八	六七	六六	四、〇七三
七八	一五二	四九五	七八	七三	七六	七五	七四	七三	七二	七一	七〇	六九	六八	六七	四、〇七三
七九	一五四	四六五	七九	七四	七八	七七	七六	七五	七四	七三	七二	七一	七〇	六九	四、〇七三
八〇	一五六	四七五	八〇	七五	八〇	七九	七八	七七	七六	七五	七四	七三	七二	七一	四、〇七三
八一	一五八	四八五	八一	七六	八一	八〇	七九	七八	七七	七六	七五	七四	七三	七二	四、〇七三
八二	一六〇	四九五	八二	七七	八二	八一	八〇	七九	七八	七七	七六	七五	七四	七三	四、〇七三
八三	一六二	四六五	八三	七八	八三	八二	八一	八〇	七九	七八	七七	七六	七五	七四	四、〇七三
八四	一六四	四七五	八四	七九	八四	八三	八二	八一	八〇	七九	七八	七七	七六	七五	四、〇七三
八五	一六六	四八五	八五	八〇	八五	八四	八三	八二	八一	八〇	七九	七八	七七	七六	四、〇七三
八六	一六八	四九五	八六	八一	八六	八五	八四	八三	八二	八一	八〇	七九	七八	七七	四、〇七三
八七	一七〇	四六五	八七	八二	八七	八六	八五	八四	八三	八二	八一	八〇	七九	七八	四、〇七三
八八	一七二	四七五	八八	八三	八八	八七	八六	八五	八四	八三	八二	八一	八〇	七九	四、〇七三
八九	一七四	四八五	八九	八四	八九	八八	八七	八六	八五	八四	八三	八二	八一	八〇	四、〇七三
九〇	一七六	四九五	九〇	八五	九〇	八九	八八	八七	八六	八五	八四	八三	八二	八一	四、〇七三
九一	一七八	四六五	九一	八六	九一	九〇	八九	八八	八七	八六	八五	八四	八三	八二	四、〇七三
九二	一八〇	四七五	九二	八七	九二	九一	九〇	八九	八八	八七	八六	八五	八四	八三	四、〇七三
九三	一八二	四八五	九三	八八	九三	九二	九一	九〇	八九	八八	八七	八六	八五	八四	四、〇七三
九四	一八四	四九五	九四	八九	九四	九三	九二	九一	九〇	八九	八八	八七	八六	八五	四、〇七三
九五	一八六	四六五	九五	九〇	九五	九四	九三	九二	九一	九〇	八九	八八	八七	八六	四、〇七三
九六	一八八	四七五	九六	九一	九六	九五	九四	九三	九二	九一	九〇	八九	八八	八七	四、〇七三
九七	一九〇	四八五	九七	九二	九七	九六	九五	九四	九三	九二	九一	九〇	八九	八八	四、〇七三
九八	一九二	四九五	九八	九三	九八	九七	九六	九五	九四	九三	九二	九一	九〇	八九	四、〇七三
九九	一九四	四六五	九九	九四	九九	九八	九七	九六	九五	九四	九三	九二	九一	九〇	四、〇七三
一〇〇	一九六	四七五	一〇〇	九五	一〇〇										

高級船員昇給決議 (昭和十一年七月十日決議)

高級船員にして昭和十一年八月一日現在二ヶ年以上勤続し増給せざる者に對しては左の割合を以て増給すべきものとす。

- 尚今後同一職務に勤続したる者に對しては二ヶ年以内毎に其の成績に依り本決議の趣旨に準じ昇給するものとす。
- イ、甲機標準給料最低月額表中百九十圓以上に相當する者 月 額 金十五圓以上
- ロ、同 月 額 金十圓以上
- ハ、其他の者 月 額 金五圓以上
- ニ、無線通信士標準給料最低月額備考第四號に依る者 月 額 金十圓以上
- ホ、同表最高實歴に達したる者 月 額 金十圓以上

本決議は昭和十一年八月一日より之を實施す。右決議す。

海員標準給料及手當制 (海事協同會定)

(一) 高等海員標準給料

遠洋區域又は近海區域第三區

總噸數	船長	運轉士一等	運轉士二等	運轉士三等	馬力	機關長	機關士一等	機關士二等	機關士三等
5000以上	160圓	125圓	85圓	70圓	1100未満	160圓	125圓	75圓	70圓
2000以上	100圓	130圓	90圓	75圓	1100以上	100圓	130圓	80圓	75圓
1000以上	100圓	130圓	90圓	75圓	2000未満	210圓	135圓	95圓	75圓
500以上	110圓	135圓	95圓	75圓	2000以上	210圓	135圓	95圓	75圓

近海區域第一區又は近海區域第二區

總噸數	船長	運轉士一等	運轉士二等	運轉士三等	馬力	機關長	機關士一等	機關士二等	機關士三等
5000以上	160圓	125圓	85圓	70圓	1100未満	150圓	110圓	70圓	70圓
2000以上	100圓	130圓	90圓	75圓	1100以上	100圓	100圓	80圓	70圓
1000以上	100圓	130圓	90圓	75圓	2000未満	100圓	90圓	70圓	70圓
500以上	110圓	135圓	95圓	75圓	2000以上	100圓	90圓	70圓	70圓

5000以上	180圓	95圓	75圓	70圓	5000以上	110圓	85圓	70圓	70圓
1000以上	150圓	100圓	80圓	70圓	1000以上	150圓	100圓	80圓	70圓
1000未満	150圓	100圓	80圓	70圓	馬力	機關長	機關士一等	機關士二等	機關士三等
2000以上	110圓	110圓	90圓	75圓	3000以上	100圓	90圓	70圓	70圓
2000未満	110圓	110圓	90圓	75圓	5000以上	100圓	90圓	70圓	70圓
6000以上	110圓	85圓	70圓	70圓	7000以上	110圓	85圓	70圓	70圓
6000未満	110圓	85圓	70圓	70圓	7000未満	110圓	85圓	70圓	70圓
2000以上	110圓	95圓	75圓	70圓	2000以上	150圓	95圓	75圓	70圓
2000未満	110圓	95圓	75圓	70圓	2000以上	150圓	95圓	75圓	70圓
2000以上	110圓	130圓	80圓	75圓	2000以上	150圓	95圓	75圓	70圓
2000未満	110圓	130圓	80圓	75圓	2000以上	150圓	95圓	75圓	70圓
2000以上	110圓	130圓	80圓	75圓	2000以上	150圓	95圓	75圓	70圓
2000未満	110圓	130圓	80圓	75圓	2000以上	150圓	95圓	75圓	70圓

沿海區域

總噸數	船長	運轉士一等	運轉士二等	運轉士三等	馬力	機關長	機關士一等	機關士二等	機關士三等
5000以上	180圓	95圓	75圓	70圓	5000以上	110圓	85圓	70圓	70圓
1000以上	150圓	100圓	80圓	70圓	1000以上	150圓	100圓	80圓	70圓
1000未満	150圓	100圓	80圓	70圓	馬力	機關長	機關士一等	機關士二等	機關士三等
2000以上	110圓	110圓	90圓	75圓	3000以上	100圓	90圓	70圓	70圓
2000未満	110圓	110圓	90圓	75圓	5000以上	100圓	90圓	70圓	70圓
6000以上	110圓	85圓	70圓	70圓	7000以上	110圓	85圓	70圓	70圓
6000未満	110圓	85圓	70圓	70圓	7000未満	110圓	85圓	70圓	70圓
2000以上	110圓	95圓	75圓	70圓	2000以上	150圓	95圓	75圓	70圓
2000未満	110圓	95圓	75圓	70圓	2000以上	150圓	95圓	75圓	70圓
2000以上	110圓	130圓	80圓	75圓	2000以上	150圓	95圓	75圓	70圓
2000未満	110圓	130圓	80圓	75圓	2000以上	150圓	95圓	75圓	70圓

資格 海上實歴 總噸數、六〇〇噸未満 三、五〇〇噸未満 五、五〇〇噸以上

(二) 無線通信士標準給料最低月額表 (昭和九年八月六日) (海事協同會委員會議決)

左の三條件を併備するものに對しては本表を適用せず
イ、有給豫備員制度を含む社員制度
ロ、退職金制度
ハ、俸給と確實に計上し得べき給與との合計が本表規定額を越ゆるとき

【海運—海員—】

級一	自滿一年至二年	八〇圓	空圓	一一五圓
	自滿三年至四年	九〇圓	一一〇圓	一二〇圓
	自滿五年至七年	一〇〇圓	一二五圓	一二五圓
	自滿七年以上	一一〇圓	一三五圓	一三五圓
級二	自滿一年至二年	七五圓	八五圓	一〇〇圓
	自滿三年至五年	八五圓	九五圓	一一〇圓
	自滿五年至八年	九五圓	一〇五圓	一二〇圓
	自滿八年以上	一〇五圓	一二五圓	一二五圓
資格	海上實歴	總噸數一、六〇〇噸未満	一、六〇〇噸以上	

- 備考
- 一、本協定は昭和九年九月一日より實施す但同日既存の契約は低下せず
 - 二、海上實歴一年未滿は金拾圓を減す
 - 三、本表所定實歴を有する者を得る事能はさるときは順次次位實歴所有者を採用することを得、此の場合に於て所定實歴未滿期間一ヶ年に付月額金五圓宛を減す
 - 四、左のイ、ロ、ハ又はイ、ロ、ニの三條件を併備するものに對しては本表を適用せず
 - イ、有給豫備員制度を含む社員制度
 - ロ、退職金制度
 - ハ、俸給と確實に計上し得べき給與との合計が本表規定額を超える時
 - ニ、船型の大小に拘はらず經歷に應し順次昇給の實行

(三) 普通海員標準給料最低月額 (昭和十一年七月九日海事協同會決議八月一日實施)

- 一、普通船員標準給料最低月額は次表による
- | | | |
|----|-----------|-------------|
| 職別 | 總噸數五〇〇噸以上 | 總噸數一、五〇〇噸以上 |
| | 一、五〇〇噸未満 | |

- 水夫長、火夫長、船長
- | | | |
|-----------|-------------|----------------------------|
| 大工 | 七〇圓 (現行協定額) | 七五圓 (現行一五〇〇—三五〇〇噸協定額より五圓増) |
| 一等舵手、二等油差 | 六五圓 (同 五圓増) | 七〇圓 (同 五圓増) |
| 一等料理人 | 五八圓 (同 八圓増) | 六二圓 (同 七圓増) |
| 二等料理人 | 五四圓 (同 四圓増) | 五七圓 (同 二圓増) |
| 二等水夫、一等火夫 | 四四圓 (同 九圓増) | 四八圓 (同 一〇圓増) |
| 二等給仕、二等火夫 | 四〇圓 (同 五圓増) | 四四圓 (同 六圓増) |
| 三等水夫、三等火夫 | 三六圓 (同 一圓増) | 四〇圓 (同 二圓増) |
| 三等給仕、三等火夫 | | |
- 一、倉庫番若しくは副汽罐番の職に従事する水夫若しくは火夫は各月額金五圓の手當を支給す
 - 大工に對しては道具手當として月額金五圓以上を支給す
 - 各部見習の見習期間は乗船後一ヶ年とし右期間中は給料月額金十五圓を支給す見習期間を超ゆること六ヶ月未滿の者に對しては給料月額金三十圓、見習期間を超ゆること六ヶ月以上にして一ヶ年未滿の者に對してはその給料月額金三十五圓を支給す、但し給仕にありては前項規定見習期間經過後給料月額三十圓及三十五圓の期間を各一ヶ年とするものとす
 - 海上實歴二ヶ年未滿の水夫若しくは火夫を雇傭し得べき員數は見習を除きたる各部員數の各一割五歩を限度とす但し端數は五拾六入とす
 - 五、(一)記載の表による舵手油差及料理人の等級別は本規定實施の際職務別にその給料を平均し、總噸數一、五〇〇噸未滿の船舶にありては五拾六圓以上、同三、五〇〇噸未滿の船舶にありては五拾八圓五拾錢以上、同三、五〇〇噸以上の船舶にありては六拾圓以上とるべく按配するものとす
 - 六、(一)記載の表による水夫、火夫、厨央及給仕の等級別は本規定實施の際各職務別にその給料を平均し、總噸數

【海運—海員—】

- 一、五〇〇噸未満の船舶にありては四拾圓以上、同三、五〇〇噸未満の船舶にありては四拾貳圓六拾六錢以上、同三、五〇〇噸以上の船舶にありては四拾四圓以上たるべく按配するものとす
- 七、(一)記載表中一等水夫、同火夫、同給仕、同厨夫は二等舵手、三等油差、二等料理人の最低給料に達する迄、又一等舵手、二等油差、一等料理人及大工は水夫長、火夫長、船長の最低給料に達する迄及水夫長、火夫長、船長に對しては各自其の成績に依り勤続一ヶ年毎に金壹圓以上増給するものとす
- 八、本協定は昭和十一年八月一日より之を實施す

備考

- 一、有給豫備員制度を有し毎年貳圓以上成績により定期昇給せしむる會社屬員に對しては本規定の等級別支給を適用せざることを得るものとす
- 二、本協定の實施により現に乗船中の乗組定員を減じ又は既に定めたる其他の労働條件を低下せしむることを得ざるものとす

(疑義解釋)

- 一、厨夫一人の場合は現在の給料がその等級の平均給料以下の場合には平均給料まで繰上げ、且又一等水夫の等級に準ずるものとして二等料理人の最低給料に達するまで第七項に準じ増給するものとす
- 二、船長乗船せざる船舶に於ける首席料理人又は一等料理人に就いては船長の給料に達するまで第七項に準じ増給するものとす
- 三、表中一、二、三各等々級の決定は現在給料と新規決定せる平均給料とを照合し實情に即し決定す

(五百噸未満別個交渉)

五百噸未満船舶乗組員の最低賃銀に就いては日本船主協會としては加盟船主の實情より見て是を審議すべき資格がないため委員會では小型船主團體と本組合との直接交渉について斡旋することとなり、左の如き申合せを採擇した

(申合)

- 一、總噸數五〇〇噸未満の船舶乗組員の労働條件については本特別委員會は當該船主側と直接交渉するを妥當としこれを審議せざる事となすも右直接交渉については海事協同會兩幹事に於てその斡旋を爲すものとす

(四) 水夫長、火夫長及船長手當

(昭和九年十一月卅日第三次百回委員會決議)

總噸數千噸以上の船舶に乗船する水夫長及船長に左の如く手當を支給す

水夫長、火夫長、船長とし	月額	金五圓
ての海上實歴滿五年未滿	月額	金八圓
同	月額	金拾貳圓
同	月額	金拾五圓
同	月額	金拾五圓

但し本規定と同等若しくは以上の内容を有する他の給與を以て之に代ふることを得

本表は昭和九年十二月一日より之を實施す

(五) 機關部普通船員臨時手當

(昭和九年十一月廿四日第百回委員會決議)

目下機關部普通船員漸減の傾向あり其の需給調節を考慮し總噸數五百噸以上の船舶に乗組める機關部普通船員に對し左の如く臨時手當を支給す

- 一、火夫長及火夫見習を除く海上實歴二年六ヶ月未滿の機關部普通船員に對し月額金壹圓を同じく實歴二年六ヶ月以上のものに月額金貳圓を支給す
- 但し總噸數五百噸以上千噸未満の船舶に乗組める

(六) 遭難船員手當規定

(昭和三年四月二十三日第十六回委員會決議)

第一條 遭難船員とは海難に遭遇したる船舶の乗組員を云ふ

但し本規定に於て海難とは沈没、坐礁、膠沙、火災、衝突、荒天、機軸の破裂、海賊及陸上よりする暴徒を云ふ

第二條 遭難船員手當は船舶所有者又は船舶所有者の代理人として船員を雇備したるものの負擔とす

第三條 遭難船員手當を分ちて左の六種とす

- 一 葬祭料
- 一 死亡手當
- 三 傷病手當
- 四 障害手當

- 五 所持員手當
- 六 失業手當
- 第四條 遭難に因り死亡したるときは葬祭料及死亡手當を給す
- 第五條 葬祭料は葬祭を行ふ遺族に之を給す其の順位は第七條に準す
- 第六條 葬祭料は給料一ヶ月分とす（日給の場合は十分とす）以下之に倣ふ
- 但し最低金五拾圓を下らざるものとす
- 第七條 死亡手當を受くべき者は遭難船員の配偶者とす（内縁の妻は之を配偶者と認む得ることあるべし）配偶者なき場合には遭難當時之と同一の家に在籍したる遺族にして左の順位に依る
 - 一 直系尊屬
 - 二 直系卑屬
 - 三 戸主
 - 四 兄弟姉妹
- 第一、第二、第四號に該當する者数人あるときは家督相續の順位に依る
- 第八條 死亡手當は本人と遺族との扶養關係に依り左の種別に從ふ
 - 甲 妻子又は扶養を要する直系卑屬、兄弟姉妹を有するもの
給料二十ヶ月分
 - 但し最低金八百圓を下らす

- 乙 配偶者の外扶養を要せざるもの給料十七ヶ月分
- 但し最低金七百圓を下らす
- 丙 扶養を要する者を有せざるもの給料十五ヶ月分
- 但し最低金六百圓を下らす
- 第九條 遭難に因りて疾病に罹り又は傷疾を受けたる船員には左の傷病手當を給す
 - 一 六ヶ月以内に互る治療、看護及給料
 - 但し治療上必要ありと認めたるときは此の期間を延長するものとす
 - 二 郷里歸着までの旅費及給料
 - 三 前二項の外別に給料一ヶ月分
- 但し第十條又は第十四條規定の手當を受けたるもの及有給豫備員は此の限りにあらず
- 第十條 前條治療の結果身體に障害を残したる場合には左の種別に從ひ障害手當を給す
 - 一 終身自用を辨すること能はざるもの
死亡手當の五割増
 - 二 終身勞務に服すること能はざるもの
死亡手當に同じ
 - 三 從來の勞務に服すること能はざるもの、健康舊に復すること能はざるもの、女子の外貌に醜痕を残したるもの
死亡手當の二分の一
 - 四、身體を障害し舊に復すること能はずと雖も引續き從來の勞務に服することを得るもの

航路手當規準

（海事懇話會決定）

- 第十一條 遭難の爲所持品を亡失したるとき船員には左の所持品手當を給す
 - 一 所持品全部を亡失したるときは給料三ヶ月分
 - 二 一部を失したるときは給料三ヶ月分以内
 - 三 死亡船員には給料一ヶ月半分以内に於て前二項に準す
- 第十二條 遭難船員生死不明の場合は第七條の規定に準する家族に六ヶ月間毎月給料の半額を給し六ヶ月を超えて尙生死不明なるときは之を生存せざるものと見做し第四條の規定を適用す
- 右期間内に第四條の支給をなすときは其の後は前項の規定を適用せず
- 第十三條 前條の場合第四條を適用せざる以前に生存せること判明するときは給料の残半額を追給す
- 第十四條 遭難船員を解雇するときは雇入地歸着迄の旅費及給料の外給料二ヶ月以内の失業手當を給す其の支給方法は解雇の際一ヶ月分を給し次月分は實際失業の日割計算とす
- 第十五條 遭難船員手當は凡て支給すべき事由發生後遅滞なく支給するを要す
- 第十六條 本規定を適用するにあたり疑義を生したるときは海事協同會委員會に於て裁定するものとす
- 本規定は昭和三年六月一日より施行す

- 一、本規準に依る手當を支給すべき航路の區別は左の如し
 - 第一區 東經九十度より同百七十度及南緯十一度より北緯二十一度に至る區域但し通信省規程に據る近海航路第一區を除く
 - 第二區 東經六十度以東西經八十五度に至る區域但し第一區航路區域を除く
 - 第三區 東經六十度以西西經八十五度に至る區域但し墨西哥海灣を含む
 - 二、本規準に據る手當は船舶の各區域内に在る期間左表當該欄内の日額を支給す
- | 職名 | 第一區 | 第二區 | 第三區 |
|-------|-----|------|------|
| 船長 | 七〇 | 一、一五 | 二、〇五 |
| 一等關長 | 六三 | 一、一五 | 一、八五 |
| 一等關士 | 四〇 | 八〇 | 一、三〇 |
| 二等關士 | 三〇 | 七〇 | 一、二〇 |
| 三等關士 | 三〇 | 六〇 | 九五 |
| 二等機士 | 三三 | 五五 | 九〇 |
| 三等機士 | 二七 | 四八 | 七五 |
| 三等通信士 | 二五 | 六〇 | 一、〇〇 |

二級通信士	七〇	八〇	七五
生徒	六〇	七〇	七〇
水夫長、火夫長	七〇	八〇	七五
船長又首席料理人	三〇	四〇	三〇
大工	三〇	四〇	三〇
舵夫、油差	三〇	四〇	三〇
一等料理人	三〇	四〇	三〇
其他普通船員	二〇	三〇	二五
見習	一〇	二〇	一五

備考
一、本規準は海員協會及日本海員組合と合議の上申合せたるものなり
一、本規準は標準額を示すものなるを以て現在本表以上を支給しつゝあるものは單に本規準の申合せを理由として低下することを許さるものとす
實 施 昭和八年六月二十二日以後に於て日本各港より出帆する船舶に適用する

普通船員退職手當規定

(海事協同委員會決議並に新舊日本海員組合と日本船主協會との協定全文)

第一條 普通船員にして同一船主に雇傭せられ三ヶ年以上勤続し退職したる場合は本規定に依り別表の退職手當を支給す
第二條 勤続期間は同一船主に雇傭せられ乗船勤務し

員家庭上の都合により船主の同意を得て退職したるとき、(六)船主事業上の都合に依り船員を解雇したるとき、(七)船員勤続中死亡したるとき
第六條 船員死亡の場合に於ける退職手當は當該船員の配偶者に之を支給す内縁の妻は之を配偶者と認むることあるべし
前項の場合に於て配偶者なきときは當該船員の死亡當時之と同一の家に在籍したる遺族に對し左の順位に依り退職手當を支給す
(一)直系尊屬、(二)直系尊屬、(三)戸主、(四)兄弟姉妹
前項第一號第二號又は第四號に該當する者數人あるときは家督相續の順位に依る
第七條 船員が其の乗組船舶と共に行方不明となりたるときは最後の所在判明せる日より六ヶ月を経過したる時を以て死亡したるものと見做す
第八條 船員勤続十ヶ年以下にして自己の都合に依り退職したるときは退職手當の半額を支給す
第九條 船員不行跡其の他重大なる過失に基因する疾病傷疾に因り死亡又は退職したるときは退職手當を支給せず
第十條 船員左の各號の場合に該當し解雇せられたるときは退職手當を支給せず

たる期間並に有給下船中及待命下船中の期間を通算す、同一船主に於て船員の人事を掌管する場合は船主を異にするも同一船主に雇傭せられたるものと看做し勤続期間を通算す
第三條 左の各號の場合に於ては船員が再び同一船主に雇傭せらるゝも其の以前の履歴は勤続期間に之を通算せざるものとす
(一)船員自己の都合に依り他に雇傭せられたるとき
(二)船員下船後自己の都合に依り一ヶ年以内に再び乗船せざる時、但し陸海軍に徵集又は召集せられたる場合を除く
船主に於て事情止むを得ざるものと認めたるときは前項第二號の期間は之を延長することあるべし
第四條 本規定の適用に付ては船員に停年を設け之を左の三級に分つ
(一)水夫長、火夫長、船長五十歳、(二)大工、倉庫番、副汽機番、舵手、油差、一等料理人四十五歳、(三)其の他の船員四十歳
第五條 左の各號の場合に於ては退職手當の全額を支給す
(一)船員停年を超へ退職したるとき、(二)船員勤続十ヶ年を超へ退職したるとき、(三)船員疾病傷疾の爲職に堪へざるに因り退職したるとき、(四)船員陸海軍に徵集又は召集せられ退職したるとき、(五)船

(一)重大なる過失ありたる時、(二)不都合の行爲ありたる時、(三)禁錮以上の刑に處せられたるとき
第十一條 本規定に依り退職手當を受くるの権利は之を讓渡し又は擔保に供することを得ず
第十二條 本規定に依る退職手當は其の権利を有する者に非ざれば之を受取ることを得ず
附 則
第十三條 本規定は昭和十二年一月一日より之を施行す
第十四條 本規定施行前より施行後に引續き第一船主に雇傭せられ勤続したる船員に付ては其の施行前の勤続期間の三分の二を本規定に依る勤続期間に通算するものとす、但し在職中特に功勞ありと認めたる船員に付ては船主に於て三分の二以上を適宜考慮することあるべし
第十五條 本規定施行前に行はれたる賣船手當、繫船手當其他之に依る退職手當と重複するものは本規定施行の日より之を廢止するものとす但し遭難船員手當規定に依る手當は此の限にあらざ
第十六條 船主事業上の都合に依り船員を解雇したるときは別に法規に依る解雇手當を支給す但し當分の内左表に依る

勤続期間	失業したるとき	失業せざるとき
勤続一ヶ年以下	解雇當時の給料月額二ヶ月	解雇當時の給料月額一ヶ月
勤続一ヶ年を越へ二ヶ年迄	同上二ヶ月半	同上二ヶ月半
勤続二ヶ年を越へ三ヶ年迄	同上三ヶ月	同上二ヶ月半
勤続三ヶ年を越へ四ヶ年迄	同上三ヶ月半	同上二ヶ月半
勤続四ヶ年を越へ五ヶ年迄	同上四ヶ月	同上二ヶ月半
勤続五ヶ年を越へ六ヶ年迄	同上四ヶ月半	同上二ヶ月半
勤続六ヶ年を越へ七ヶ年迄	同上五ヶ月	同上二ヶ月半
勤続七ヶ年を越へ八ヶ年迄	同上五ヶ月半	同上二ヶ月半
勤続八ヶ年を越へ九ヶ年迄	同上六ヶ月	同上二ヶ月半
勤続九ヶ年を越へ十ヶ年迄	同上六ヶ月半	同上二ヶ月半
勤続十ヶ年を越へ十一ヶ年迄	同上七ヶ月	同上二ヶ月半
勤続十一ヶ年を越へ十二ヶ年迄	同上七ヶ月半	同上二ヶ月半
勤続十二ヶ年を越へ十三ヶ年迄	同上八ヶ月	同上二ヶ月半
勤続十三ヶ年を越へ十四ヶ年迄	同上八ヶ月半	同上二ヶ月半
勤続十四ヶ年を越へ十五ヶ年迄	同上九ヶ月	同上二ヶ月半
勤続十五ヶ年を越へ十六ヶ年迄	同上九ヶ月半	同上二ヶ月半
勤続十六ヶ年を越へ十七ヶ年迄	同上十ヶ月	同上二ヶ月半
勤続十七ヶ年を越へ十八ヶ年迄	同上十ヶ月半	同上二ヶ月半
勤続十八ヶ年を越へ十九ヶ年迄	同上十一ヶ月	同上二ヶ月半
勤続十九ヶ年を越へ二十ヶ年迄	同上十一ヶ月半	同上二ヶ月半
勤続二十ヶ年を越へ二十五年迄	同上十二ヶ月	同上二ヶ月半

第十七條 本規定施行の際現に普通船員退職手當制度を有する船主には本規定は之を適用せず

(別表) 普通船員退職手當表

勤続期間	退職手當額
勤続三ヶ年に達したるとき	給料月額一ヶ月二分の一
勤続三ヶ年を越へ五ヶ年迄	勤続一ヶ年毎に給料月額二分の一増
勤続五ヶ年を越へ十ヶ年迄	同上四分ノ三増
勤続十ヶ年を越へ十五ヶ年迄	同上二ヶ月増
勤続十五ヶ年を越へ二十ヶ年迄	同上二ヶ月四分ノ三増
勤続二十ヶ年を越へ二十五ヶ年迄	同上二ヶ月増

備考

(一) 給料月額とは勤続期間(見習期間を除く)支給せられたる給料總額の平均月額を謂ふ、但し昭和三年七月一日以前の給料にして同年六月八日協定せられたる普通船員標準給料最低月額に達せざるものは同最低月額に依り計算するものとす、(二) 勤続期間に一ヶ年未満の端数あるときは比例計算とす

臨時手當ニ關スル決議

(昭和十二年四月廿三日) 第百三十回委員會決議

- 一、高級船員臨時手當
- 高級船員ニ對シテハ左ノ比率ヲ以テ臨時手當ヲ支給ス
- (イ) 標準給料最低月額表中金百九拾圓以上ニ相當スル者 月額本給ノ一割五分
- (ロ) 標準給料最低月額表中金百拾圓以上ニ相當スル者 月額本給ノ一割八分
- (ハ) 其ノ他ノ者 月額本給ノ二割
- 但シ標準給料最低月額表中月額金百五拾圓以下ニ相當スル船長、機關長ハ前各項ノ九割トス
- 備考 社員制度ヲ有スル船主ニシテ本手當支拂ニ付他ノ方法ヲ探ラントスルトキハ海員協會ト協議決定スルコトヲ得

二、普通船員臨時手當

普通船員ニ對シテハ左ノ比率ヲ以テ臨時手當ヲ支給ス

- (イ) 總噸數二千噸以上ノ船舶ニ乗組ム普通船員 月額本給ノ二割
- (ロ) 總噸數二千噸以下ノ船舶ニ乗組ム普通船員 月額本給ノ一割七分

昭和十年四月廿三日第百三十回委員會ニ於テ高級船員並普通船員臨時手當ヲ決議シ同日ヨリ之ヲ實施ス其ノ支給期間ハ一ヶ年トス

世界各國船員失業救済施設

不況の結果海港に充満する夥しき失業船員群の救済に關しては各國何れも其の對策樹立に腐心しつゝある所なるも今之に付外國船員の排除、自國船員數の制限國家の補助及船員團體の執りたる方法を四に分ち左に其の概要を述べべし

第一 外國船員の排除

失業救済方法中の或るもの又は計畫中の救済方法は外國船員の全部若の一部の排除に依り又は就職の機會の均等化に依り自國船員の保護を講じ居れり

(伯刺西爾) 一九三一年八月十九日附及十一月十七日附命令は外國船員の排除を目的とす而して伯刺西爾軍

艦及商船に現に使用せらるる歸化人のみの爲に一時的例外を設くるに過ぎず

(希臘) 一九三一年八月四日附法律第五二三一號は希臘船員を得難き場合に船長をして六ヶ月以下の期間を取り外國船員を雇入るゝことを得しめたるのみ又公共機關たる希臘船員「ホーム」は外國港に於ても船長に希臘船員を供給する爲斡旋を爲す

(土耳其) 港内及内水航行に従事する船舶に於ける外國人(土耳其に居住する者と雖)の使用を禁止する法案の提出を見たり

(ラトヴィヤ及羅馬尼亞) 船員は外國船員使用の制限を要求せり殊に「ラトヴィヤ」船員は最近英國船舶に於て設けられたる就職上の差別待遇を其の理由としたリ

(智利) 同國船員は衡平なる方法として沿岸航路に従事する外國船舶には一定率の智利船員を乗組ましむべきことを要求す

右の他外國船舶が屢々其の乗組員の全部又は大部分を雇止め又は雇入るゝ港に於ては外國船員の求職登錄を禁止又は少くとも其の登錄數を制限する方法採用せらる例へば「リヴアプール」に於ては移民官廳は船長が外國船員の雇止めを爲し得るは其の者の送還を爲さんとするときに限る旨を訓令したり、又「アントワープ」に於ては外國船員は就職決定に關する白耳義領事の査證を受けたる後初めて上陸することを許され「マルセ

「ニュー」其の他佛蘭西港に於ては「ラスカー」は英國港に行きて就航する意嚮を有する旨の證明書を所持する場合に限り上陸を許さる。最後に歐羅巴の船員團體は労働需要の減少しつつある此の際にも拘らず殆ど減退の模様なき有色人船員の補充（「ラスカー」殊に然り）を制限する方法を要求する顯著なる傾向を示し居れり。

第二 自國船員数の制限

各國何れも船員の登録停止若は之に代るべき船員の流入調節に關する行政手段に依り又は年金請求權を得たる一定年齢以上の船員の雇入の禁止に依り自國船員数の迅速なる減少の目的を幾分達し得べし。
（獨逸）—公設船員職業紹介所代表の提案に基き獨逸に於ては初めて船員たらんとする者及船員にして最近十八ヶ月間に七ヶ月間以上乗船せざる者の登録は禁止せらる。
（伊太利）—船員補充制度の正規活動の認めらるゝ場合の外船員の登録を停止す。
（葡萄牙）—船員團體は本方法の實施を提議したり。
（印度）—王立労働委員會は船員は凡て其の最後雇止の日附より三年間（二回目以後十八ヶ月間）登録簿より自働的に抹消せらるべきものなる旨を勸告せり。
士官の過剰を防止する爲右と同性質の提議ありたり。

英本國、獨逸及「スカンヂナヴィヤ」之等諸國の士官團體は海技免狀の交付を一時停止すべき旨を提議せり而て其の理由とする所は現在の士官数は假令海運界の景氣が通常の状態に在りとするも既に過剰なりと言ふに在り。
（諸威）—商務大臣は實際の必要に應じ商船學校の生徒数を制限する案を作成する爲委員を任命したり。
（伊太利）—年金を受くる權利を獲得せる六十歳（機關部員に在りては五十歳）以上の船員は凡て強制的に勇退せしめらるべき旨の提案ありたり而て該方法は昨年同國に於て行はれたる年金率の改正、佛蘭西、白耳義も同様なりの結果其の實施容易なりとせられたり。
（和蘭）—同國士官團體も右と同様の理由に基き五十五歳にて年金を受くることを得べき旨を提議したり。

第三 國家の補助

二三國の船員は或航路又は或種船舶の經營維持の爲船主を援助すべきことを要求し佛蘭西、日本及葡萄牙に於ては國家の補助を求めたり。
（伊太利）—船員聯合は貨物船に對する政府の補助金を獲得する爲船主と協力せり船齡及噸數に比例する運航課程補助金として一年間（三千五百萬「リラ」）迄補助金を支給せらるゝ豫定なり右補助に依り船主は磅貨の下落に因る損失の半額を補助せられ得べき見込なり。

失業防止に關する國家の補助は船主に對する財政的援助以外の方法を探ることを得べし。

（合衆國）—主要士官團體の失業士官は海軍に臨時勤務せしめられ得べき旨を提案せり。
（西班牙）—港灣及河川内の職務が士官の爲相當に提供せられたり。
（獨逸及葡萄牙）—之等の國の士官も右諸國と同性質の提議を爲せり。
右の外前貸、失業救済事業職業輔導等の方法も行はる希臘公立船員「ホーム」は失業士官に對し二千「ドラクマ」以下の限度に於て前貸の道を開けり。
（日本）—政府は年額四十五萬圓の豫算を以て二千人の失業船員に仕事を與へて之を救済せり。
（獨逸）—失業船員に對し無線及信號に關する知識を與へて職業輔導を行へり。
（伊太利）—職業輔導として汽罐の焚き方を教授せり。
（瑞典）—職業輔導に當り教授のみならず下宿をも提供する設備あり。

第四 船員團體の執りたる方法

二三の士官團體は正規就職中の會員に訴へ失業せる同僚に一時職を與ふる爲一二ヶ月無給の休暇を取らしめんとしたり。
（白耳義及英本國）—該提議は白耳義及英本國の無線電

信技士團體に依り實施せられ其の結果各會員に對し一年に付六ヶ月乃至九ヶ月の就職を保證する乗船交代制度の採用となれり。
（伊太利）—同國船員聯合は海運聯合に屬する船舶に士官を交代に乗船せしむる制度を計畫せり該制度は一年に付九ヶ月の就職を保證す而て次年度に於ては船主團體との協約に依り全商船に該制度を擴張する豫定なり（濠洲及「ニュージランド」）—船員團體は交代乗船制度に賛成する旨を述べたり。

港 灣

(港費及諸料金)

【海運—海員—】

在現本月六年二十 況狀業失員海邦本

(員海等高)

免狀別	甲船長	甲船二長	乙船長	乙船二長	丙船長	丙船二長	其板部	甲板部	一機長	二機長	三機長	發機	其機	一機	二機	三機	總計	其他	二機	一機	其機	給機	料機	給機	給機	其機	總機	免狀別
未前月未	21	15	12	10	8	7	5	4	3	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	未前月未
新申込	15	10	8	6	5	4	3	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	新申込	
成立	10	7	5	4	3	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	成立	
取消	5	4	3	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	取消	
未済	10	7	5	4	3	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	未済	

(員海通普)

職務別	水夫長	大工	甲倉番	舵夫	水夫	水夫	其板部	甲板部	油庫番	油庫番	油庫番	油庫番	油庫番	油庫番	油庫番	油庫番	油庫番	油庫番	油庫番	油庫番	油庫番	油庫番	油庫番	油庫番	油庫番	油庫番	職務別
未前月未	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	未前月未
新申込	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	新申込
成立	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	成立
取消	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	取消
未済	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	未済

露光量違いの為重複撮影

港 灣

本邦港灣内容

府縣別	軍港要港					開港					商港					漁港					避難港					計
	要港	要港	要港	要港	要港	開港	開港	開港	開港	開港	商港	商港	商港	商港	商港	漁港	漁港	漁港	漁港	漁港	避難港	避難港	避難港	避難港	避難港	
北海道	1																									
青森縣																										
岩手縣																										
宮城縣																										
秋田縣																										
山形縣																										
福島縣																										
茨城縣																										
千葉縣																										
東京府																										
神奈川縣																										
新潟縣																										
富山縣																										
石川縣																										
福井縣																										
靜岡縣																										
愛知縣																										
三重縣																										
京都府																										
大阪府																										
兵庫縣																										
和歌山縣																										
鳥取縣																										
島根縣																										
岡山縣																										
広島縣																										
山口縣																										
徳島縣																										
香川縣																										
愛媛縣																										
高知縣																										
福岡縣																										
佐賀縣																										
長崎縣																										
三重縣																										
京都府																										
大阪府																										
兵庫縣																										
和歌山縣																										
鳥取縣																										
島根縣																										
岡山縣																										
広島縣																										
山口縣																										
徳島縣																										
香川縣																										
愛媛縣																										
高知縣																										
福岡縣																										
佐賀縣																										
長崎縣																										
計																										

引 索

一本邦港灣内容	二七
一開港場	二六八
一日本燈臺表	二六八
一本邦累年燈標數	三〇〇
一燈等級並に光力	三〇一
一立標種別	三〇三
一浮標種別	三〇三
一主要港々費及諸料金	三〇三
一世界貨物運賃建	三二

露光量違いの為重複撮影

港 灣

本 邦 港 灣 内 容

府縣別	軍港要港	開港	商港	漁港	避難港	計
北海道	—	—	二五	二四	—	二五
青森縣	—	—	二五	—	—	二五
岩手縣	—	—	二五	—	—	二五
宮城縣	—	—	二五	—	—	二五
秋田縣	—	—	二五	—	—	二五
山形縣	—	—	二五	—	—	二五
福島縣	—	—	二五	—	—	二五
茨城縣	—	—	二五	—	—	二五
千葉縣	—	—	二五	—	—	二五
東京府	—	—	二五	—	—	二五
神奈川縣	—	—	二五	—	—	二五
新潟縣	—	—	二五	—	—	二五
富山縣	—	—	二五	—	—	二五
石川縣	—	—	二五	—	—	二五
福井縣	—	—	二五	—	—	二五
靜岡縣	—	—	二五	—	—	二五
愛知縣	—	—	二五	—	—	二五
三重縣	—	—	二五	—	—	二五
京都府	—	—	二五	—	—	二五
大阪府	—	—	二五	—	—	二五
兵庫縣	—	—	二五	—	—	二五
和歌山縣	—	—	二五	—	—	二五
鳥取縣	—	—	二五	—	—	二五
島根縣	—	—	二五	—	—	二五
岡山縣	—	—	二五	—	—	二五
廣島縣	—	—	二五	—	—	二五
山口縣	—	—	二五	—	—	二五
德島縣	—	—	二五	—	—	二五
香川縣	—	—	二五	—	—	二五
愛媛縣	—	—	二五	—	—	二五
高知縣	—	—	二五	—	—	二五
福岡縣	—	—	二五	—	—	二五
佐賀縣	—	—	二五	—	—	二五
長崎縣	—	—	二五	—	—	二五
計	—	—	二五	二四	—	二五

引 索

一本邦港灣内容	二七
一開港場	二六
一日本燈臺表	二六
一本邦累年燈臺數	二六
一燈等級並に光力	二六
一立標種別	二六
一浮標種別	二六
一主要港々費及諸料金	二六
一世界貨物運賃建	二六

【港 灣】

御前崎	掛塚	伊良湖崎	前芝	三谷ノ鼻	三谷ノ鼻	蒲郡港	三矢川口	一色	榮生	西高	眞野	千野	羅現洲	堀川	蛭川	半田港	角石	中洲	豊濱港	山海川口	内海川口	野間崎	下ノ方瀬	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
掛塚	伊良湖崎	前芝	三谷ノ鼻	三谷ノ鼻	蒲郡港	三矢川口	一色	榮生	西高	眞野	千野	羅現洲	堀川	蛭川	半田港	角石	中洲	豊濱港	山海川口	内海川口	野間崎	下ノ方瀬		
掛塚	伊良湖崎	前芝	三谷ノ鼻	三谷ノ鼻	蒲郡港	三矢川口	一色	榮生	西高	眞野	千野	羅現洲	堀川	蛭川	半田港	角石	中洲	豊濱港	山海川口	内海川口	野間崎	下ノ方瀬		

【港 灣】

御前崎	掛塚	伊良湖崎	前芝	三谷ノ鼻	三谷ノ鼻	蒲郡港	三矢川口	一色	榮生	西高	眞野	千野	羅現洲	堀川	蛭川	半田港	角石	中洲	豊濱港	山海川口	内海川口	野間崎	下ノ方瀬
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
掛塚	伊良湖崎	前芝	三谷ノ鼻	三谷ノ鼻	蒲郡港	三矢川口	一色	榮生	西高	眞野	千野	羅現洲	堀川	蛭川	半田港	角石	中洲	豊濱港	山海川口	内海川口	野間崎	下ノ方瀬	
掛塚	伊良湖崎	前芝	三谷ノ鼻	三谷ノ鼻	蒲郡港	三矢川口	一色	榮生	西高	眞野	千野	羅現洲	堀川	蛭川	半田港	角石	中洲	豊濱港	山海川口	内海川口	野間崎	下ノ方瀬	

【港灣】

出雲日御崎	同	島根縣	立石崎	同	同	七尾港	掛燈浮標	七尾港
惠曇港	同	同	敦賀港	同	同	森田グリ	同	同
美保關	同	同	三國港	同	同	淺瀬	同	同
西郷岬	同	同	橋立港	同	同	大瀬	同	同
中海森山	導燈(二ヶ所)	同	金石	燈臺	同	和歌出	同	同
中海手角	燈竿	同	大野	燈臺	同	伏木港	導燈(二ヶ所)	同
中海新庄	同	同	白尾	燈臺	同	東岩瀬港	同	同
境港	掛燈浮標	鳥取縣	千里濱	燈臺	同	魚津	同	同
同	同	同	瀧港	同	同	能生港	同	同
同	導燈(二ヶ所)	同	高濱港	燈臺	同	能生港小泊	同	同
同	掛燈浮標	同	福浦	同	同	直江津港	導燈(四ヶ所)	同
賀露	導燈(二ヶ所)	同	富來港	同	同	柏崎港	同	同
賀露	燈竿	同	風無船溜	同	同	澤崎	同	同
香住港	燈臺	兵庫縣	猿山岬	同	同	小本港	同	同
柴山港	同	同	輪島港	同	同	赤泊港	同	同
津居山港	燈竿(二ヶ所)	同	輪島港	同	同	新湯港	同	同
經ヶ岬	燈臺	京都府	輪島港	同	同	彈崎	同	同
間人港	燈竿	同	輪島港	同	同	新湯港	同	同
松ヶ崎	掛燈浮標	同	輪島港	同	同	松ヶ崎濱港	掛燈浮標	新湯港口
三本松鼻	燈竿	同	輪島港	同	同	鼠ヶ關	燈臺	山形縣
博奕岬	同	舞鶴港口	輪島港	同	同	酒田港假設	導燈(二ヶ所)	同
高野川口	同	舞鶴港口	輪島港	同	同	酒田	同	同
高濱城山	同	福井縣	輪島港	同	同	土崎港	同	秋田縣
小濱港	燈臺	同	輪島港	同	同	七尾灣口	同	同

【港灣】

船川	同	船川港	西宮港	燈竿	兵庫縣	姐石	同	同
入道崎	同	船川港	神戶港	燈臺(七ヶ所)	同	牛ノ子礁	同	同
能代港	燈竿	秋田縣	和岬	燈臺	同	宇野港	同	同
深浦港	燈臺	同	和岬	同	同	同	同	同
十三湯	燈竿	青森縣	和岬	同	同	同	同	同
下前	同	同	和岬	同	同	同	同	同
小泊港	燈臺	同	和岬	同	同	同	同	同
龍飛崎	燈竿	同	和岬	同	同	同	同	同
△内、	燈臺(霧信號)	同	和岬	同	同	同	同	同
友ヶ島	海(瀬戸内)	和歌山縣	和岬	同	同	同	同	同
洲本港	燈臺	兵庫縣	和岬	同	同	同	同	同
鹽田港	同	淡路島	和岬	同	同	同	同	同
堺	燈竿	大阪灣	和岬	同	同	同	同	同
木津川尻	同	大阪港	和岬	同	同	同	同	同
大阪	同	同	和岬	同	同	同	同	同
同	同(霧信號)	同	和岬	同	同	同	同	同
同	同	同	和岬	同	同	同	同	同
大阪港	燈竿(二ヶ所)	大阪市	和岬	同	同	同	同	同
同	掛燈浮標(三ヶ所)	大阪市	和岬	同	同	同	同	同
同	燈臺	同	和岬	同	同	同	同	同
同	燈竿(二ヶ所)	同	和岬	同	同	同	同	同
尼ヶ崎港	燈臺	同	和岬	同	同	同	同	同

本渡港	燈竿	同	佐世保
鬼池港	燈臺	同	大村灣口
戶馳島	燈標	同	五島列島
寺島	燈標	同	同
三ノ角	燈標	同	同
峰ノ洲	掛燈浮標	同	同
三池港	燈臺	同	同
同	掛燈浮標(二ヶ所)	同	同
島原	燈臺	同	同
湯島	同	同	同
口ノ津	同	同	同
五通礁	燈標	同	同
野母崎	燈臺	同	同
ハンドー瀬	掛燈浮標	同	同
蔭ノ尾島	燈臺	同	同
伊王島	同	同	同
松島高低燈	同	同	同
松島高燈	同	同	同
大立島	燈臺	同	同
崎戸港	掛燈浮標(四ヶ所)	同	同
綱ノ浦	燈標(三ヶ所)	同	同
フツノ浦	同	同	同
伏瀬	燈標	同	同
御神島	燈臺	同	同

大泊	燈竿	同	老鐵山
千歲岡	同	同	小龍山島
大泊	同	同	圓家樓會
楠溪町	同	同	普蘭店港
二丈岩	燈標(霧信號)	同	西中島
西能登呂岬	同	同	西水羅港
宗仁岬	同	同	那基港
氣主岬	同	同	同
海馬島	同	同	同
本斗港	同	同	同
鳥舞高臺	燈竿	同	同
榮通	同	同	同
榮通理立地	同	同	同
北本斗	同	同	同
關泊	同	同	同
廣地	同	同	同
眞岡港	同	同	同
眞岡港本町	燈竿	同	同
眞岡北濱町	同	同	同
歌友	同	同	同
野田港	同	同	同
泊居	同	同	同
久春内	同	同	同

【港灣】

城津貯木場	同	城鏡北道	同	釜山	燈臺(霧信號)
城津	同	城津北道	同	加德島	同
城津漁港	同	成鏡北道	同	同	同
遮湖港	燈竿	成鏡南道	同	同	同
馬養島	燈臺	同	同	同	同
西湖南津	同	同	同	同	同
興南港	同	同	同	同	同
石根	同	永興	同	同	同
長德島	同	元山港	同	同	同
元山	同	同	同	同	同
葛麻角	同	同	同	同	同
麗島	同	同	同	同	同
庫底港	同	同	同	同	同
長源	同	同	同	同	同
水源端	同	同	同	同	同
東草港	同	同	同	同	同
注文津	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同
墨湖港	同	同	同	同	同
汀瀨港	同	同	同	同	同
草谷里	同	同	同	同	同
竹邊灣	同	同	同	同	同
厚浦港	同	同	同	同	同

【港灣】

馬羅島	燈臺	全羅南道	同	仁川	導燈(二ヶ所)
山地港	同	濟州島	同	同	同
山地	同	全羅南道	同	同	同
小茅島	同	同	同	同	同
者只島	同	同	同	同	同
嶽子島	同	同	同	同	同
△朝鮮、西、岸、	同	同	同	同	同
魚龍島	同	同	同	同	同
於蘭鎮港	同	同	同	同	同
竹島	同	同	同	同	同
黑山島	同	同	同	同	同
下島島	同	同	同	同	同
加沙島	同	同	同	同	同
鳴洋渡	同	同	同	同	同
珍島	同	同	同	同	同
龜島	同	同	同	同	同
時下島	同	同	同	同	同
木浦口	同	同	同	同	同
木浦	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同
京雄島	同	同	同	同	同
紅島	同	同	同	同	同
七發島	同	同	同	同	同

彭佳嶼	同 (霧信號) 臺灣北岸	三仙臺	燈臺	同	白沙岬	同
基隆港	掛燈浮標 基隆港	新港	燈臺	同	淡水	導燈(二ヶ所) 淡水港
基隆港	燈臺(霧信號) 基隆港口	臺東	燈臺	同	△澎湖、湖、列、島、	
仙洞	掛燈浮標 基隆外港	△臺灣、南岸、及、西岸、				
同	燈臺 基隆港					
球子山	假燈竿 基隆市	鸞鑾鼻	燈臺(霧信號) 臺灣南端	北島	燈臺	目斗嶼上
桶盤嶼	掛燈浮標 基隆港	大板埭	燈竿	查母嶼	同	查母嶼上
同	燈標(二ヶ所) 基隆港口	海口	燈臺	東吉嶼	同	東吉嶼上
八尺門	燈臺 基隆港	琉球嶼	同	浮温	燈標	媽宮港口
鼻頭角	同	高雄港	同	漁翁島	燈臺(霧信號)	漁翁島
三紹角	同	高雄港	假燈竿	△南、洋、群、島、		
蘇澳	同	同	掛燈浮標(二ヶ所) 高雄港外	サイパン港	掛燈浮標	マリアナ
同	掛燈浮標 臺灣東岸	安平	燈臺	テニアン	燈臺	同
同	燈臺	四草湖	假燈標	バラオ	同	バラオ諸島
同	燈竿	壇港堆	燈臺	同		

本邦累年燈標數

昭 和	大 正	燈臺	燈標	燈竿	其他	晝燈	信號
元 年	十 一 年	三三	一一	一一	一一	一一	一一
十 三 年	十 二 年	三九	一一	一一	一一	一一	一一
十 四 年	十 三 年	三八	一一	一一	一一	一一	一一
	十 二 年	三三	一一	一一	一一	一一	一一
	十 一 年	三三	一一	一一	一一	一一	一一
	十 年	三三	一一	一一	一一	一一	一一
	九 年	三三	一一	一一	一一	一一	一一
	八 年	三三	一一	一一	一一	一一	一一
	七 年	三三	一一	一一	一一	一一	一一
	六 年	三三	一一	一一	一一	一一	一一
	五 年	三三	一一	一一	一一	一一	一一
	四 年	三三	一一	一一	一一	一一	一一
	三 年	三三	一一	一一	一一	一一	一一
	二 年	三三	一一	一一	一一	一一	一一
	一 年	三三	一一	一一	一一	一一	一一

燈等級並に光力

名 稱	等級	一 等	二 等	三 等	三 等 小	四 等	五 等	六 等	無 等
折射器ノ内徑 米		一、八四〇	一、四〇〇	一、〇〇〇	一、七五〇	一、五〇〇	一、三七五	一、三〇〇	一、三〇〇
折射器ノ高サ 米		二、五九〇	二、一七〇	一、七六〇	一、二五〇	一、〇〇〇	一、五一一	一、四三三	一、二七〇
光源ノ燭光及ワット數		一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
石油蒸發熱白燈		一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
ビンチ瓦斯燈		一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	七五〇	七五〇	七五〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
アセチレン瓦斯燈		一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	七五〇	七五〇	七五〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
電 燈		一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	七五〇	七五〇	七五〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
如シ		一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	七五〇	七五〇	七五〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
燭光トハ一時間ニ鯨蠟製蠟燭ノ重量百二十「グレイン」ヲ消費スル光力ニシテ之ト他ノ單位トヲ比較スレバ左ノ		一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	七五〇	七五〇	七五〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
燭 光 數	ボキ一小數	一〇、一	〇、四	〇、三	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇一〇	一、〇一〇	一、〇一〇
	ピオール單位	一〇、一	〇、四	〇、三	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇一〇	一、〇一〇	一、〇一〇
	燭 光 數	一〇、一	〇、四	〇、三	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇一〇	一、〇一〇	一、〇一〇
	ボキ一小數	一〇、一	〇、四	〇、三	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇一〇	一、〇一〇	一、〇一〇
	ピオール單位	一〇、一	〇、四	〇、三	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇一〇	一、〇一〇	一、〇一〇
	燭 光 數	一〇、一	〇、四	〇、三	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇一〇	一、〇一〇	一、〇一〇
	ボキ一小數	一〇、一	〇、四	〇、三	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇一〇	一、〇一〇	一、〇一〇
	ピオール單位	一〇、一	〇、四	〇、三	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇一〇	一、〇一〇	一、〇一〇
	燭 光 數	一〇、一	〇、四	〇、三	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇一〇	一、〇一〇	一、〇一〇
	ボキ一小數	一〇、一	〇、四	〇、三	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇一〇	一、〇一〇	一、〇一〇
	ピオール單位	一〇、一	〇、四	〇、三	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇一〇	一、〇一〇	一、〇一〇

【港 灣】

立標	種別
左舷障害立標	黑色ニ塗ル
右舷障害立標	紅色ニ塗ル
水路中央立標	紅黒横線ニ塗ル
水路中央浮標	紅黒横線
沈船浮標	黒白縦線

浮標	種別
左舷浮標	圓錐形 目標 塗色 黒
右舷浮標	圓錐形 目標 塗色 紅
弧立障害浮標	圓錐形 球形 紅黒横線
水路中央浮標	圓錐形 圓筒形 黒白縦線
沈船浮標	圓錐形 圓筒形 黒白縦線

主要港港費及諸料金

(昭和十二年調査)

神戸港

〔棧橋及埠頭料〕
 繫船岸壁使用料(登簿噸一噸ニ付)
 二十四時間以内 二錢 二十四時間以上 三錢
 九十六時間以上 超過時間二十四時間毎ニ一錢ヲ加フ

〔税關土地建物使用料〕
 搬入ノ日ヨリ五日迄無料

一般地域 六日以上 重量五百斤又ハ
 十五日迄 容積十立方尺迄 每一日一錢
 十六日以上 同 每一日二錢

專用 一坪毎ニ 一ヶ月
 倉庫上屋其ノ他貿易設備ヲ
 爲スタメ土地ヲ専用ノ場合 一圓

貨物藏置ノ爲土地又ハ上屋ヲ専用ノ場合 二圓
 關稅ヲ課セラルベ 重量五百斤迄又
 キ貨物收客敷料 八十立方尺迄 每一日三錢
 重量以外ノ貨物 十立方尺毎ニ 一日ニ付三圓

【港 灣】

〔官設保税工場使用料〕
 一、重量ニ依リ輸入税ヲ賦課セラルベキ貨物
 五十斤迄毎ニ 一月 二錢
 二、前號以外ノ貨物 一立方尺毎ニ 一月 二錢
 三、土地又ハ建物ヲ専用スルトキ 一坪迄毎ニ 一月 二圓

〔私設上屋敷料〕
 貴重品 五百圓ニ付一四錢 陸揚當日ハ免除
 普通品 陸揚後六日ヨリ五日間 一噸ニ付 二錢
 十一日ヨリ二十日間 同 一二錢
 三十一日ヨリ六十日間 同 二〇錢

棉花同業會員ニ限リ
 仕譯通知發送ノ翌日ヨリ十日間無料
 期間經過後 米棉及埃及棉 一日一依 一錢
 其他ノ棉花 同 五錢

〔浮標使用料〕 二十四時間毎ニ
 總噸數五千噸未滿一〇圓 總噸數一萬噸未滿一五圓
 同一萬五千噸未滿二三圓 同一萬五千噸以上三〇圓

〔曳船及舢舨〕
 税關所屬曳船 一隻一回(二時間) 二〇圓
 超過一時間毎ニ 二圓
 夜間一隻一回 三〇圓

舢舨船料 一時間四圓乃至五圓ヲ標準トス
 舢舨料(神戸舢舨組合現行貨率)

前積運賃率 一噸 五〇錢
 港内碇泊料翌夜ヨリ 一噸ニ付 一〇錢
 大阪行 一噸 一二〇錢

〔起重機使用料〕
 税關起重機(一臺一時間)
 電氣 揚力一噸半 一、〇〇 五噸 一、五〇
 手動五噸迄 五〇 五噸増毎ニ〇、二五
 其他上租、川崎造船所等民有ノモノアルモ略ス

〔給水料〕
 給水所ヨリ直接給水 一噸 二八錢
 自家用船舶 一ヶ所一ヶ月五十噸迄 一〇、〇〇錢
 五十噸以上一噸ニ付 二三錢
 港内船舶 一噸 四二錢

港外一課毎一噸ニ付十錢及夜間風雨ノ時ハ二割増
 港外一課毎一噸ニ付十錢及夜間風雨ノ時ハ二割増
 〔タリマン及人足賃〕(會社ニ依リ一定セズ)
 タリマン 一日三、五〇 ヘッドタリマン四、〇〇
 夜荷役ハ一時間一圓増、半夜十割増、終夜二十割増
 船内人夫、一日三、〇〇 揚場人夫三、五〇

〔代理店料〕(神戸海運業組合定率)
 内航路 一五圓 外航路 三〇圓
 附加率 荷役ヲナシタル場合 一噸 二錢
 荷役ヲナサ、ル場合 一噸 一錢

〔水先案内料〕
 港内二五圓 至大阪三〇圓 至門司一三〇圓

【港 灣】

總噸數千噸未滿、吃水一呎未滿每百分ノ六増
 【積卸料】(金曜會規程外國貨物適用)
 A級 重量才噸 二、三〇 B級重量才噸 三、二〇
 豆粕 一噸 二、〇〇 米棉捆四擔 八、九〇
 印棉 捆三擔入 五、五五 西貢米擔 一、〇〇
 鐵材 一噸 二、五〇 材木四八〇B M 二、三〇

橫濱港

【水先案内料】
 東京灣口橫濱錨地間 四五圓
 同 品川錨地間 六〇圓
 橫濱 錨地間 二五圓
 橫濱港界錨地間 三〇圓
 【稅關浮標使用料】(二十四時間每二)
 五千噸未滿 一〇圓 一萬噸未滿 一五圓
 一萬五千噸未滿 二〇圓 一萬五千噸以上 三〇圓
 【稅關曳船料】(使用時間二時間登簿噸)
 六千噸以上 二五圓 三千噸以上 二〇圓
 三千噸未滿 一七圓 超過一時間每二 二圓
 民間(一隻ニ付)
 港内曳 一圓四五錢 東神奈川 一、八〇
 港外荷役 一圓八〇錢 新子安 二圓
 一日貸切 三八圓

京濱間積荷一噸當概算八錢乃至八錢五厘見當
 【上屋使用料】(一日五百斤又八十立方尺)
 五日迄 官設 無料 私設 五厘
 十五日迄 同 一錢 同 一錢
 十六日以上(官設) 卅一日以後 二錢 私設 二錢
 坪 貨(官設) 每坪一ヶ月 同 五錢
 坪 貨(官設) 每坪一ヶ月 二圓

【官設倉庫使用料】
 坪 貨 每坪 一ヶ月 一圓一〇錢ヨリ二圓迄
 戶前貨 一戶前 一ヶ月 七五圓ヨリ一二〇圓迄
 收用貨物敷料 十立方尺每 一日 三錢
 【起重機使用料】(官設、一臺一時間)
 電氣 揚力一噸半 一圓三圓 一、五〇
 蒸氣 浮動十五噸 二圓 五十噸 一五圓
 手動 八噸 一圓 五噸增每ニ五〇錢
 自動車起重機一噸半 七五錢 一噸半 五十錢

【貨物陸揚費率】
 大豆粕 一噸 二、〇〇 セメント 樽、三二
 米 棉 二擔、五〇 鐵 板一噸三、〇〇
 生糸 一捆、七〇 米 一擔、一〇

【東京回漕運賃率】(本船沖取、陸揚ヲ含マズ)

品名 單名 港内舁 東京回送
 大豆 粕 百斤 〇七 一
 米 〇八 一
 小麥 粉 一袋 〇四 一
 石 炭 一噸 六五 一
 米材 小角 一噸 八〇 二、八〇

【棧回漕賃】

沖取 東京回漕
 橫濱回漕 〇八 一、二七
 米 國産 〇六 一、三三
 板子 材 〇六 一、三三
 丸太 材 〇六 一、三三
 割材 〇六 一、三三
 杭丸 太 一、三〇 一、六六
 細丸 太 一、三〇 一、六六

【船舶給水使用料金表】

一、直接給水スルモノ 一立方米ニ付 金二十錢
 二、運搬給水スルモノ 一立方米ニ付 金四十錢
 イ、外防波堤内及第四區防波堤内
 ロ、外防波堤外及第四區防波堤外 一立方米ニ付

【港 灣】

外防波堤赤燈臺ヲ基點トシ一海里迄ヲ金五十
 五錢トシ以上一海里迄每ニ金十五錢ヲ増スモ
 ノトス
 一、夜間又ハ荒天ノ場合ハ前各號料金ノ外其ノ二割
 ヲ増スモノトス

大 阪 港

【保稅地域使用料】

一般地域 五百斤迄每及十才迄每 二錢以内
 專用 一坪一ヶ月二圓以内上屋 六日 十日迄一錢
 【浮標使用料】(二十四時間每、市營)
 千五百噸未滿船舶 六圓 五千噸未滿船舶 八圓
 一萬噸未滿 一二圓 一萬噸以上 一八圓
 【曳船及舁賃】
 棧橋繫離用(二十四時間每、市營)
 一、天保山棧橋 純噸數一噸ニ付 一時間 金一厘
 二、前號以外ノモノ 同 二十四時間 金一錢
 市營曳船
 一時間 二十圓 時間外三割増 荒天三割増
 住友曳船 一時間 二〇圓 夜間三割増
 舁賃、船側ヨリ川奥差込迄 一圓二、三十錢内外
 【起重機使用料】(市營)

【港 灣】

陸上可搬式(一時間) 二噸半 三圓
水上浮艇式(一時間)十噸迄 一五圓 廿噸迄二五圓
浮艇式ハ別ニ曳船料一時間迄毎ニ十圓

〔給水料〕
直接給水 一噸 二六錢(五〇噸以内)
運搬給水 一噸 四〇錢(五〇噸以内)
五〇噸以上ハ二錢割引
〔タリマン及人足賃〕
タリマン 三圓五錢 ヘッドタリ 四圓一圓五錢
船内人夫 三圓五錢 揚積人夫 四圓

〔水先案内料〕
港内轉船二〇圓 棧橋繫離二五圓 阪神間三〇圓
〔積卸料〕(水曜會)
A級 重量才噸 二、〇〇 B級 重量才噸一、七五
鐵材 一噸 二、四〇 硝子板 同 二、五〇
米材四八〇B M 二、五〇 鮮魚 同 二、三〇
重量長尺物三噸迄 二、六〇 重量長尺物五噸迄 五、〇〇

〔棧橋使用料〕
登簿一噸 二十四時間迄毎ニ 二錢
繫船浮標使用料 (二十四時間迄毎ニ)
總噸數二千噸以上 一〇圓
二千噸以下 八圓

東京 港(芝浦)

〔上屋使用料〕
イ、専用使用 (一期(五年)使用契約當初ニ納入ス
専用使用料 五年 一坪宛 六〇圓
ベキモノ) 定期使用料 (爾後毎月納入スベキモノ)
一月 一坪宛 二圓一四四〇錢
ロ、一般使用 一日 一坪宛 (但最初三日間無料使用許可)
野積場使用料 一日 一坪宛 (但最初三日間無料使用許可)
起重機使用料 一日 一坪宛 (但最初三日間無料使用許可)
揚力一噸一時間毎ニ 五〇錢
〔給水料〕
直接一立方米迄毎一五錢 運搬三五錢乃至四五錢
〔通船料〕
一名 三〇錢乃至四〇錢 貸切(小船) 凡五圓
〔船内人夫賃〕
本船一吾妻橋 一噸ニ付 七〇錢
本船一横濱 一噸 一圓一〇錢
本船一川崎方面 一噸 三〇錢乃至四〇錢
〔水切賃〕
一噸 三〇錢乃至四〇錢
〔タリマン賃〕
一日 三圓五〇錢乃至四圓
〔水先案内料〕
總噸數千噸吃水十呎以下 二五圓
總噸數一噸又ハ吃水十呎ヲ超ユル船舶、總噸數千噸

清水 港

〔水先案内料〕 一隻 二五圓 轉船料 一〇圓
〔給水料〕
岸壁繫留船 十立方米迄 一立方米 三十錢
十立方米以上 一立方米 十五錢
沖碇泊船 一立方米 四十錢

〔船内人夫賃〕
雜貨一噸 出貨 二、〇〇 入貨 一、八〇
穀物百石 同 三三、〇〇 同 三〇、〇〇
普通品一噸 出貨 四〇 入貨 三五
穀物百石 同 六、六〇 同 五、八〇
木材一噸 平均 三〇
〔木材沖取並回漕賃〕
中丸太 百石 本船ヨリ貯木場迄 二一圓
雜木 同 同 二四圓

名古屋 港

〔岸壁浮標使用料〕
一萬噸以上 一五圓 五千噸以上 一二圓
三千噸以上 八圓 千噸以上 六圓

【港 灣】

〔上屋使用料〕

千噸未満 三圓
〔船内人夫賃〕
大型曳船 六百馬力以上 一隻一時間迄 一五圓
中型曳船 百五十馬力以上 五圓
小型曳船 百五十馬力以下 三圓
但シ一時間ヲ超エタル場合ハ超過時一時間迄毎ニ各料金ノ二割
〔曳船使用料〕
岸壁浮標繫離ノ爲 晝間
大型曳船 六百馬力以上 一隻一時間迄 一五圓
中型曳船 百五十馬力以上 五圓
小型曳船 百五十馬力以下 三圓
但シ一時間ヲ超エタル場合ハ超過時一時間迄毎ニ各料金ノ二割
〔給水料〕
直接一立方米迄毎一五錢 運搬三五錢乃至四五錢
〔通船料〕
一名 三〇錢乃至四〇錢 貸切(小船) 凡五圓
〔船内人夫賃〕
本船一吾妻橋 一噸ニ付 七〇錢
本船一横濱 一噸 一圓一〇錢
本船一川崎方面 一噸 三〇錢乃至四〇錢
〔水切賃〕
一噸 三〇錢乃至四〇錢
〔タリマン賃〕
一日 三圓五〇錢乃至四圓
〔水先案内料〕
總噸數千噸吃水十呎以下 二五圓
總噸數一噸又ハ吃水十呎ヲ超ユル船舶、總噸數千噸

【港 灣】

○圓ニテ貸切
 備上貨一日ニ付三〇圓、二〇圓、半日二五圓、一五圓
 【起重機使用料】
 浮動 一臺一時間毎ニ揚力一五噸迄 五圓
 手動 一臺一時間毎ニ揚力一五噸迄 五圓迄 五〇錢
 但シ揚力五噸迄ヲ増ス毎ニ五圓(浮艇式)手動式ハ
 五〇錢ヲ増ス

【船 賃】
 北海雜穀一噸 一五擔、七六 豆一噸、六八〇斤、七四
 豆 精一噸 美枚、六セメント
 鐵 物一噸、五〇〇斤、八〇 雜 貨 一、〇〇
 石 炭 六〇

【給 水 料】
 運搬給水一噸 四〇錢 直接給水料一噸 二四錢
 【タリマン人足賃】
 タリマン 三、〇〇 船内人夫揚人夫三圓乃至四圓

【代理店料】
 千噸未滿 內國船 二五圓 外國船 三〇圓
 五千噸未滿 同 三〇圓 同 五〇圓
 五千噸以上 同 五〇圓 同 八〇圓

【水先案内料】(片道)
 基準料金
 總噸數千噸又ハ千噸未滿ニシテ吃水十呎又ハ十呎
 未滿ノ船舶 二〇圓

門 司 港

但シ昭和十年十月一日ヨリ當分ノ内外國汽船ハ
 三〇圓

水先案内料金
 水先法施行細則第十四條ニ依リ定メラレタル基準
 料金ニ總噸數千噸若クハ千噸未滿吃水又ハ十呎未
 滿ヲ増ス毎ニ右料金額ニ百分ノ六ヲ加フル額トス

【繫船岸壁使用料】
 一二時間以内 登簿噸一噸ニ付 五厘
 二四時間以内 一錢
 二四時間ヲ超ユルトキタ 一錢五厘
 二四時間ヲ超ユルトキタ 超過三時間迄毎ニ五厘ヲ加フ
 突時間ヲ超ユルトキタ 超過三時間迄毎ニ五厘ヲ加フ
 【棧橋使用料】 大小約三十の棧橋は總て小蒸汽船及舢
 船の繫留用で市營棧橋は一箇にて左の如し
 小蒸汽船 一隻 一ヶ月 七圓五〇錢
 【上屋使用料】(五百斤又ハ十立方尺毎ニ)
 六―十五日 一日一錢 十六日以後 一日二錢
 專用 一坪毎ニ一ヶ月 二圓

【浮標使用料】(二十四時間毎)
 總噸數 五千噸未滿 一〇圓 一萬噸未滿 一五圓
 一萬五千噸未滿 二三圓 一萬五千噸以上三〇圓

【曳船及舢船賃】
 曳 船 (稅關) 登簿噸數六千噸以上 二五圓

【港 灣】

【起重機使用料】(稅關) 一臺一時間毎
 電氣一噸半一圓 三噸 一、五〇 十五噸 四、五〇
 手捲五噸五〇錢

【給 水 料】
 直接給水 一噸 一三錢 運搬給水 港内五〇錢
 繫船岸壁 一立方米 一七錢 港外六〇錢
 夜間及舊港外給水ハ三割増

【通 船 料】(民營)
 普通 船 一日四圓 港内片道 一人五〇錢
 【タリマン及人足賃】
 タリマン 自午前六時三、五〇 半夜倍額 全夜三倍
 至午後六時 三五錢
 船内人夫 雜貨一噸 六〇錢 揚一噸 七〇錢
 揚積人夫 雜貨積一噸 六〇錢 揚一噸 七〇錢

【代理店料】(定率)
 內航 一五圓 外 航 三〇圓 外國船 一〇〇圓
 外ニ總噸數一噸ニ付一錢ヲ加算ス

【水先案内料】(總噸數千噸、吃水十呎)
 港内轉滿 二五圓 門司神戶間 一三〇圓
 門司六連部時間 三五圓
 千噸若ハ吃水一呎増毎ニ百分ノ六ヲ加フ
 【水 切 賃】

若 松 港

【出入港錢率】
 第一表 石炭積和洋形帆走船
 十萬斤未滿 六錢 二十萬斤未滿 九錢
 三十萬斤未滿 十二錢 四十萬斤未滿 十五錢
 五十萬斤未滿 十八錢 六十萬斤未滿 二十四錢
 七十萬斤未滿 三十錢 八十萬斤未滿 三十六錢
 九十萬斤未滿 四十二錢 百斤未滿 四十八錢
 百萬斤以上 六十錢

第二表 雜貨積船
 日本形五十石積以上十石ニ付 三錢
 同 百石積以上同 四錢
 同 百五十石積以上同 六錢
 二間船一艘ニ付 二錢

米 (一噸) 一、三三 棉 花(一才) 一、二四
 石(一噸) 二、三三 大豆 豆(一噸) 一、二〇
 機 械(一噸) 三、〇〇 大豆 粕(一才) 一、三六
 【積 込 賃】
 米 穀(一噸) 一、一四 セメント(一噸) 一、〇〇
 精 糖(一噸) 一、三〇 布(一噸) 一、三〇
 雜 貨(一噸) 一、一四 麥 粉(一噸) 一、三〇
 生 果(一噸) 一、三五 石 油(一噸) 三、六六

【港 灣】

三間船同 三錢
 西洋形帆走船登簿噸數一噸ニ付 六錢
 第三表 石炭、米穀類雜貨積汽船及曳船 五錢
 百噸未滿 三錢 二百噸未滿 九錢
 三百噸未滿 七錢 四百噸未滿 十五錢
 五百噸未滿 十二錢 七百噸未滿 二十錢
 七百噸未滿 二十錢
 曳船小蒸汽船 登簿噸數一噸ニ付 三錢
 一、貨物ヲ積載シテ入港又ハ出港スル船舶ニ對シテ
 ハ第一表、第二表、第三表ノ定率ニ依リ港錢ヲ徵收ス
 二、貨物積載ノ入港船ニシテ揚荷ヲ爲サス出港スルトキハ第一表、第二表、第三表ニ依リ港錢額ヲ定メ其ノ參分ノ一ヲ出港ノトキ徵收ス
 三、第一項第二項ノ船舶ニシテ其貨物少量ノ爲メ港錢額第四項ノ算定額ヨリモ少ナキトキハ同算定額ヨリ減セサルモノトス
 四、出入港共貨物ヲ積載セサル船舶ニ對シテハ登簿噸數又ハ石數ヲ以テ積載高ト見做シ第二表第三表ニ依リ港錢額ヲ定メ其ノ五分ノ一ヲ出港ノトキ徵收ス
 【繫船浮標使用料】
 繫船浮標一個使用時間二十四時間ニ付下ノ區別ニ依リ使用料ヲ收入ス

但二十四時間未滿ノ噸數ハ二十四時間トシテ計算ス
 總噸數 千噸未滿 二圓 總噸數 三千噸未滿 三圓
 總噸數 三千噸以上 四圓
 【一時港錢低減額】
 一、汽船港錢 現行率ニ對シ 一割減
 二、帆船港錢 同 二割減
 三、舢板料 同 一割減
 四、通過貨物港錢 同 五割減
 五、燃料積込ノミノ空船港錢 同 五割減
 六、港内曳廻小蒸汽船ノ港錢 同 撤廢
 【岸壁使用料】(十二時間毎)
 登簿一噸ニ付一錢五厘 以上十二時間毎ニ三錢
 【給水料】
 一石ニ付 一錢四厘
 【炭積機使用料】
 汽船積一噸ニ付 二錢
 【水先案内料】
 吃水十呎千噸 三五圓 以上増毎ニ百分ノ六ヲ加フ
 【曳船料】
 一港内ヨリ曳船 一萬噸未滿 一五圓 一萬五千噸以上 三〇圓
 一港内 二、〇〇 藤木八幡三、〇〇
 前田 四、〇〇 石川島 三、〇〇 黑崎 六、〇〇
 二港内ヨリ曳船 藤木 二、〇〇 石川島 三、〇〇 二島 四、〇〇

長 崎 港

八幡 三、五〇 前田 五、〇〇 黑崎 六、〇〇
 沖出曳込(築港マデ)荷役共
 一港内ヨリニ、五〇 二港内ヨリ三、〇〇 前田ヨリ四、五〇
 一港内沖出三、〇〇 二港内沖出三、〇〇 八幡沖出四、五〇
 川崎小廻船
 一區 一、五〇 二區 二、〇〇 一區毎ニ二〇錢
 八幡枝光行石炭船
 沖ヨリ八幡 二、五〇 二隻 六、〇〇 三隻 八、五〇
 沖ヨリ枝光 三、〇〇 五、五〇 七、五〇
 【舢板料】
 自若松至門司弟子侍 石炭一噸 五六錢
 自若松至下關 焚料炭一噸 五七錢
 自若松至延命寺小倉 石炭一噸 五四錢
 港内取廻 二六錢
 自若松至藤木枝光 二九錢
 自若松至黑崎 三七錢
 【棧橋使用料】(十二時間以内)
 登簿一噸ニ付 一錢五厘 以上六時間毎ニ半額
 【岸壁使用料】(二十四時間毎)
 登簿一噸ニ付 二錢 以上二四時間毎ニ一錢
 【浮標使用料】(二十四時間毎)
 五千噸未滿 一〇圓 一萬五千噸未滿 二三圓

【港 灣】

三 池 港

一萬噸未滿 一五圓 一萬五千噸以上 三〇圓
 【起重機使用料】
 手動 五噸迄 五〇錢 五噸増毎ニ 二五錢
 【舢板料】
 小舟 二、二〇 團平船 七圓迄
 【タリマン及人足賃】
 タリマン 一日 五圓
 船内人夫 每噸 三〇錢
 普通人夫 三〇錢
 【水先案内料】(千噸十呎以内)
 長崎港出入 三〇圓
 轉船 二五圓 波止場離着 二五圓
 【給水料】
 一噸ニ付 直接給水 二五錢 水船渡 五五錢
 【上屋使用料】(五百斤十立方尺)
 六日ヨリ十五日 一日一錢 十六日以後 二錢
 【出入港錢率】(三井鐵山)
 載貨一噸 二〇錢 空船其他 登簿一噸 六錢
 滯船料(荷役制限日數經過ノモノ)
 二十四時間毎ニ登簿一噸 二錢
 【曳船料及起重機料】(三井鐵山) 實費徵收

【港 灣】

〔給水料〕(一週ニ付) 岸壁渡 三〇錢 水船渡 四五錢
 〔水先案内料〕(千噸吃水十呎) 三池口ノ津間片道 五五圓
 港外ヨリ港内迄片道 二〇圓
 其他通船料、荷揚費、船積賃、倉庫使用料、人足賃等ハ何レモ實費徴收(三井鐵山)
 〔船舶代理〕(三井物産)

伏木港

〔棧橋使用料〕(三時間又ハ其端數毎ニ) 登簿百噸未滿 五〇錢 千噸未滿 八〇錢
 千噸以上 一圓
 〔曳船料〕 港内 空船 一圓 荷積船 一、五〇錢
 伏木ヨリ岩瀬 三圓
 伏木ヨリ魚津 四圓
 伏木ヨリ七尾 九圓
 〔船積賃〕(噸當) 米 三六錢 木材 四五錢 雜穀 三二錢
 鐵材 五〇 〔給水料〕 遠近ニ不拘噸當 六〇錢
 〔上屋使用料〕(一日一坪) 一週間以内 三錢 一週間以上 四錢

二週間以上 六錢 三週間以上 一〇錢
 四週間以上 一五錢
 〔人足賃〕 沖仲仕 二、六〇 解人夫 二、五〇
 水揚人夫 二、六〇

〔水先案内料〕(境界、錨地間)

千噸未滿 一、二呎未滿 六圓以上 八圓
 二噸未滿 一、四呎未滿 一〇圓以上 一二圓
 三噸未滿 一、六呎未滿 一四圓以上 一六圓
 四噸未滿 一、八呎未滿 二〇圓以上 二二圓
 五噸未滿 二〇呎未滿 二四圓以上 二六圓
 六噸未滿 二〇呎未滿 二六圓以上 二八圓
 六千噸以上 二、二呎未滿 三〇圓以上 三三圓
 七千噸以上 二、二呎未滿 三三圓以上 三六圓
 七千噸以上 二、二呎未滿 三三圓以上 三六圓
 〔代理店料〕 五百噸未滿 一〇—一五圓 千噸未滿 二五圓
 千噸以上 三〇—三五圓
 〔積卸料〕 品名 積卸賃 人夫賃
 米 一俵 二錢 一錢六厘
 セメント 一噸 三〇 三二
 雜貨 一噸 五〇 二五

新潟港

大豆粕 三〇 二八、八
 バルブ 三五 三〇
 雜穀 一俵 二、〇 一、七
 石炭(船取) 切込 粉一圓二錢 塊一圓七錢
 石炭ハ船内ヨリ貯炭所マデ 一區 七五錢 二區 九〇錢 三區 一〇五錢
 〔岸壁使用料〕 繫留時間二十四時間以内 登簿噸數一噸ニ付金二錢
 繫留時間二十四時間以上ハ 十二時間毎ニ登簿噸數一噸ニ付金一錢
 〔解標使用料〕 登簿噸數二千噸未滿ノ船舶 繫留時間二十四時間毎ニ金十圓
 登簿噸數二千噸以上ノ船舶 繫留時間二十四時間毎ニ金十五圓
 〔鐵取手数料〕 登簿噸數一千噸未滿ノ船舶 發着一回ニ付金三圓
 登簿噸數一千噸以上ノ船舶 發着一回ニ付金五圓
 〔臨港〕(埠頭) 登簿噸數五百噸未滿ノ船舶 發着一回ニ付金三圓
 登簿噸數一千噸未滿ノ船舶 同 發着一回ニ付金四圓

【港 灣】

登簿噸數一千噸以上ノ船舶 同 金五圓
 〔入港料〕 船積登簿噸數一噸ニ付 金一錢四厘
 貨物 一噸ニ付 金三錢四厘

〔曳船使用料〕

登簿噸數一千噸未滿ノ船舶曳航一回ニ付 金十圓
 同 二噸未滿ノ船舶曳航一回ニ付 金十五圓
 二噸以上ノ船舶曳航一回ニ付 金二十五圓
 〔專用鐵道使用料〕 一噸ニ付 四錢
 〔上屋使用料〕 使用期間一週間以内 使用面積一坪ニ對シ一日ニ付 三錢
 使用期間一週間ヲ超ユル期間 同 五錢
 使用期間二週間ヲ超ユル期間 同 八錢
 使用期間三週間ヲ超ユル期間 同 十錢
 使用期間四週間ヲ超ユル期間 同 十五錢
 〔埋立地使用料〕 倉庫敷地使用料 一ヶ年一坪ニ付 一圓八十錢
 貨物野積場一時使用料 三ヶ月以内一日一坪ニ付 六厘
 三ヶ月以上同 八厘
 六ヶ月以上同 一錢二厘
 九ヶ月以上同 一錢八厘

【港 灣】

〔船舶給水料〕(新潟市役所經營)
 岸壁給水一噸(一立方米ニ付) 三十五錢
 港内運搬給水 同 五十五錢
 港外運搬給水 同 一圓
 但シ夜間及荒天ノ場合ハ三割増トス
 軍用又ハ官公署ノ艦船ハ三割引トス

〔臨 港〕
 岩壁給水 一噸(一立方米)ニ付 三十五錢

函 館 港

〔上屋使用料〕市營(一坪一日)
 上屋内 十日迄四錢 廿日迄八錢 卅一日迄一二錢
 上屋外 二錢 四錢 六錢

〔起重機使用料〕(私有)
 六噸 未滿 一基 二圓五〇
 六一一〇噸 一基 四、五〇
 一〇一五噸 一基 五、〇〇
 一五一二〇噸 一基 五、五〇
 以上五噸ヲ増ス毎ニ一圓増

〔給 水 料〕(一石ニ付)
 港 内 五五錢 其 他 七七錢
 夜間及荒天ハ三割増

〔代理店料〕

【港 灣】

〔荷揚場使用料〕
 二日以上ニ亘リ荷揚場ヲ使用スルトキハ使用面積一
 平方米一日ニ付 一錢五厘

〔繫船浮標使用料〕
 A 總噸數三千噸級以上ノ船舶 繫留時間二十四時間迄毎ニ 六圓
 B 總噸數四千噸級以上ノ船舶 繫留時間二十四時間迄毎ニ 十五圓

〔上屋使用料〕
 A 臨時使用料 建物使用面積一平方米ニ對シ
 使用二日以内ノ期間 一日ニ付 五厘
 使用二日ヲ超ユル期間 一錢
 使用五日ヲ超ユル期間 一錢五厘
 使用十日ヲ超ユル期間 三錢
 使用十五日ヲ超ユル期間 四錢
 使用二十日ヲ超ユル期間 五錢
 使用二十五日ヲ超ユル期間 七錢

B 專用使用料
 建物使用面積一平方米ニ對シ一ヶ月ニ付金八十五錢

〔曳船使用料〕
 A 繫船岸壁又ハ繫船浮標ノ繫離ニ使用スル場合
 一隻一時間迄 五圓
 一時間ヲ超ヘタルトキハ一時間迄毎ニ増額 三圓
 B 右以外一隻一時間迄毎ニ 七圓

千噸以下	內航	二五圓	外航	四〇圓
二千噸以下	〃	三〇圓	〃	五〇圓
三千噸以下	〃	五〇圓	〃	七〇圓
五千噸以下	〃	八〇圓	〃	一〇〇圓
五千噸以上	〃	一〇〇圓	〃	一三〇圓

〔仲繼諸掛〕
 米 散粒 豆粕
 仲 仕 貨 米 散粒 豆粕
 仲 仕 貨 米 散粒 豆粕
 仲 仕 貨 米 散粒 豆粕

小 樽 港

〔繫留岸壁使用料〕
 A 繫留時間二四時間以内ニ於テハ六時間ヲ以テ一繫
 留時トシ一繫留時迄毎ニ登簿噸數一噸ニ付 五厘
 B 繫留時間二十四時間ヲ超ヘ四十八時間以内ニ於テ
 八十二時間ヲ以テ一繫留時トシ一繫留時迄毎ニ登
 簿噸數一噸ニ付 一錢
 C 繫留時間四十八時間ヲ超ユルトキハ八十二時間ヲ以
 テ一繫留時トシ一繫留時迄毎ニ登簿噸數一噸ニ付
 一錢五厘

C 規定時間外又ハ荒天時ノ場合
 1 時間外増加使用料 晝間普通使用料ノ二割
 夜間同 晝間普通使用料ノ三割
 夜間同 晝間普通使用料ノ三割

2 荒天時増加使用料 晝間普通使用料ノ三割
 夜間同 晝間普通使用料ノ三割

〔船舶給水料〕
 A 直接給水 一立方米ニ付 二十錢
 B 運搬給水 1 防波堤内 四十五錢
 2 防波堤外 六十錢

規定時間外又ハ荒天時ハ各料金ノ三割増トス

〔積 卸 料〕
 品 名 數量 秤賃金 船内仲仕賃
 米 (百斤) 一俵 六厘 三厘
 雜 穀 〃 〃 〃 〃
 紋粕雜粕(廿五貫建) 一個 一五厘 三厘
 丸太材 百石 三圓八錢 一圓〇錢
 普通製材 〃 〃 一圓〇錢 二圓〇錢

〔網取使用料〕
 繫船岸壁ニ船舶繫離ノ場合
 イ、總噸數三千噸未滿ノ船舶 一回ニ付 一圓
 ロ、總噸數五千噸未滿ノ船舶 〃 二圓
 繫船浮標ニ船舶繫離ノ場合
 イ、總噸數三千噸未滿ノ船舶 一回ニ付 三圓
 ロ、總噸數五千噸未滿ノ船舶 〃 五圓
 ハ、總噸數五千噸以上ノ船舶 〃 七圓

【港 灣】

備考 一繋離ヲ通ジテ一回トス

室 蘭 港

〔給水料〕 一噸ニ付 八〇錢

〔船及人夫賃〕

人夫賃 二、五 臨時(沖人夫) 三、〇

〔積卸料〕

品名

鐵板(五分以下)

石 炭

肥料(十貫入)

米 穀

石 油

雜貨 二才以下

雜貨 百斤

一噸 一、七〇錢

一噸 一、五〇積、八〇〇(仲仕込)

一噸 五〇

一噸 四〇

一噸 三〇

一個 五五

一個 三三

船賃 六〇錢

人夫賃

一、五〇

一、七〇

一、五〇

一、七〇

一、五〇

高 雄 港

〔繫船料〕

岸壁 總噸

浮標 一隻

普通一晝夜ニ付

一晝夜

一錢

五圓

荷揚場 一坪 四日以上一日毎

〔給水料〕 (一噸ニ付)

直接給水一噸ニ付 三〇錢 運搬一噸ニ付 (港外八〇 港内六〇)

〔タリマン及人足賃〕 (基隆港ト同一)

ウインチマン 二、五 塔リマン 三、〇

船内人夫 一噸ニ付 二六―四〇錢

〔水先案内料〕

總噸數千噸未満 吃水十呎未満 二五圓

總噸數千噸未満、吃水十呎未満ヲ増ス毎ニ百分ノ六

ヲ加フ

〔水揚料〕

雜貨 一噸ニ付

重量物 一噸ニ付

一圓四〇錢

一圓七〇錢

基 隆 港

〔荷揚場使用料〕

岸壁 總噸 普通船一日一錢

荷揚場 一坪 四日以上一日毎五圓

浮標 一隻 一日五圓

〔上屋及クレーン使用料〕 (鐵道部)

上屋八日以上經過 一坪一日毎 二圓

クレーン 貨物 一噸 五錢 最高 二〇錢

重量三噸以上ハ五割増

〔曳船料〕 (港務部)

曳船 汽船一隻ニ付

〔給水料〕

岸壁給水 一噸ニ付 三五錢

水船給水 内 港 六〇錢 外 港 八〇錢

〔人足賃〕

内地人 二、三、三錢 本島人 八〇―一、八〇錢

〔水先案内料〕 (吃水ト噸數ガ増スニ連レ料金ハ累加サ

レル)

水先區域ヨリ港内鋪地迄 三五圓

檢査鋪地ヨリ港内鋪地迄 二三圓

港内ニ於ケル轉鋪 二五圓

〔水揚料〕 (一噸ニ付)

雜貨、豆粕 一、三錢

木材、鐵特、石材、捕魚 一、六三錢

危險物 二、三錢

石炭、セメント 一、一〇―一、二五錢

釜 山 港

〔棧橋使用料〕 (使用十二時間迄毎ニ)

每登簿一噸ニ付 一錢

〔給水料〕 一噸ニ付

直接 二四錢

草梁伸 五五錢

〔代理店料〕

千噸以下 二五圓

二千噸以上 三五圓

〔起重機使用料〕 (稅關起重機使用料)

イ 電氣起重機一臺一時間迄毎ニ 七圓

ロ 蒸汽起重機揚力三十噸ノモノ一臺一時間迄毎ニ 五圓

ハ 手動起重機

A 揚力五噸ヲ超ユルモノ一臺一時間迄毎ニ六十錢

B 揚力五噸ヲ超エザルモノ同 四十錢

(鐵道局起重機使用料) (揚力十五噸ノモノ) 十 錢

一箇ノ重量三噸ヲ超エサルモノ一噸ニ付 十五錢

同 三噸ヲ超ユルモノ 同 二十錢

同 五噸ヲ超ユルモノ 同 二十五錢

同 十噸ヲ超ユルモノ 同 二五錢

〔積卸料〕

雜貨 一噸

外米 一噸

穀類 一噸

木材 一噸

石炭 一噸

船内費

三〇錢

二五

一〇〇

二五

一〇

〇、七

船賃

八四錢

八〇

九、〇〇

八四

〇、七

【港 灣】

元 山 港

〔埠頭料〕(每十二時間)	登簿噸一噸=付	一錢
〔代理店料〕	總噸數千噸以内	一五圓—二〇圓
	三千噸	三〇圓
	三千噸以上	四〇圓
〔給水料〕(一噸=付)	防波堤内	七五錢
直接給水	四五錢	
沖運搬	八五錢	
〔船内人夫賃〕	普通貨物 一噸	二五錢
	重量品	六〇錢
〔積卸料〕	普通貨物	一噸 荷繰費 二五錢
	才	一噸 岸壁荷役 六〇圓
	斤	百斤 一五、六
	石	一個 三
	個	一個 三
〔船車接續費〕	穀類	一圓—八錢
	雜貨	一圓—二〇錢
	一石、一噸當リ	岩壁沖抜同率

〔荷繰費〕

岩壁内	一噸=付	五〇錢
船内		五五錢
本船内		二五錢

仁 川 港

〔船渠使用料〕(登簿一噸=付)	十二時間毎	一錢
〔稅關構内使用料〕(揚場使用料)	イ 貨物搬入ノ日ヨリ五日迄	無料
	ロ 貨物搬入ノ日ヨリ六日以上十五日迄	一錢
	ハ 貨物搬入ノ日ヨリ十六日以後	二錢
〔給水料〕(一噸=付)	五百斤又ハ十立方尺迄毎	一日
岸壁給水	三五錢	沖運搬 一、〇七錢
〔代理店料〕	重量三千噸未滿	三〇圓
	五千噸未滿	四〇圓
〔船内人夫賃〕	穀物一噸=付キ	五錢
	重量品五割乃至十割増	荷繰費(同一船内) 雜貨 二五錢
	穀物	二五錢
	石炭	二〇錢
	ウインチマン	一日三圓
	沖荷役及夜間荷役	ハ二割増

鎮 南 浦 港

〔積卸荷役費〕(船賃)	雜貨 一才	一厘	個	取	一個	七厘
	木材	一噸	八〇厘	石	一噸	六五厘
	肥料	二百斤	三厘	外	米	一袋
						三厘
〔水先案内料〕(千噸十呎迄)	境 界 線	鎮南浦鋪地間				五五圓
		兼二浦鋪地間				八五圓
		保山鋪地間				一〇〇圓
		鎮南浦鋪地兼二浦鋪地間				四〇圓
		保山間				六〇圓
〔繫船料〕	登簿一噸=付	十二時間				一錢
綱 取	料	着離共一回				三圓
曳 船	料	一回				廿圓
クレーン使用料	一時間					八十錢
〔給水料〕(一噸=付)	直接給水	三七錢	運 搬			一圓二〇錢
〔代理店料〕	普通契約ニ依ルガ大體次ノ如シ(重量噸)					
	二千噸以下	三〇圓				七〇圓
	三千噸以下	五〇圓				一〇〇圓
	五千噸以下					
〔船賃〕(一噸=付)	港内前船	六〇錢	船滯船料	一日		一四錢

大 連 港

〔船内人夫賃〕	穀物雜貨積揚	一噸	三〇錢
〔タリマン人足賃〕	タリマン	二、五錢	人足(朝鮮人) 八〇錢
〔陸揚、船積賃〕	岸壁揚ノ場合	普通貨物 一噸=付	六〇錢
	寺兒溝棧橋揚積ノ場合	普通貨物 一噸=付	八五錢
	豆 粕		三三錢
	豆 油		四五錢
〔假置料〕	普通貨物	一日一噸=付	四錢
〔岸壁着離料〕	百噸迄	三圓	二百噸迄 五圓
	五百噸迄	一五圓	千噸迄 三〇圓
	千噸ヲ超ユルモノ	金三〇圓	超過噸數千噸又ハ其ノ未滿ヲ増ス毎ニ金二〇圓ヲ加ヘタル額
〔埠頭使用料〕	總噸數一噸	二四時間又ハ其ノ未滿=付	一錢
	イ 埠頭使用料ハ着埠ノ時ヨリ總噸數千噸迄ノ船船		
	ニ 對シテハ四八時間、總噸數二千噸ヲ超ユル船船		
	ニ 對シテハ四八時間ニ超過噸數千噸又ハ其ノ未滿		
	ヲ増ス毎ニ二四時間ヲ加ヘタル時間ハ之ヲ收受セ		
	ス		
	ロ 埠頭使用料ハ着埠ノトキヨリ離埠ノ時迄ヲ一繫		

【港 灣】

留期間ト看做シ之ヲ算ス但シ埠頭營業規定ニ定ムル休日、及繋留期間中船舶カ埠頭ヲ離レタル時間ハ繋留期間ニ之ヲ算入セス

〔給水料〕(一立方米ニ付) 給水栓カリ給水ノ場合 五四錢 給水船ヨリ給水ノ場合 七五錢

〔解荷役賃〕 普通貨物 一越ニ付三五錢 危險品一越ニ付四五錢 火藥類 五五錢

〔浮標繋留料〕 千噸迄一回ニ付一〇圓 五千噸迄一回ニ付一五圓 五千噸越以上 二〇圓

〔船内人夫賃〕(特殊貨物) イ 駱駝、牛、馬、騾(容器ニ入レサルモノ) 一頭ニ付 三〇錢

ロ レール(四〇越以上ノモノ)一越ニ付 四〇錢 ハ 驢、羊、山羊、豚(容器ニ入レサルモノ) 一頭ニ付 一〇錢

ニ 小船類(櫓權ヲ主トシテ運轉スルモノ) 一隻ニ付 六〇錢 一體ニ付 一〇圓

ホ 危險物、火藥類 一越ニ付 三〇錢 高價品、價格千圓又ハ其ノ未滿ニ付 二錢

イ レール(四〇越以上ノモノ)一越ニ付 八五錢

【港 灣】

駱駝、牛、馬、騾(容器ニ入レサルモノ) 一頭ニ付 一〇圓

ハ 羊、山羊、豚(容器ニ入レサルモノ) 一頭ニ付 三〇錢

ニ 小船類(櫓權ヲ主トシテ運轉スルモノ) 一隻ニ付 二〇圓 一體ニ付 二圓

ホ 危險物、岸壁揚積ノ場合、燃寸類 一越ニ付 六五錢 寺兒溝棧橋揚積ノ場合各種 一圓三〇錢

其 他 高價品、千圓又ハ其ノ未滿ニ付 一越ニ付 七五錢

〔起重機使用料〕 一越又ハ三越電氣起重機一基 一時間又ハ其ノ未滿ニ付 五圓 第二時間以後 五圓

五越起重機、五越起重機船一基 一時間又ハ其ノ未滿ニ付 一五圓 第二時間以後 六圓

三〇越又ハ四〇越起重機 一〇圓 五〇越起重機船 五〇圓 一二〇越起重機 五〇圓

〔タリマン及人夫賃〕 タリマン一時間五〇錢 半日又ハ二圓 一日三圓 常備華工 三〇錢 午前午後 七〇錢 一圓二〇錢 華工(苦力) 二〇錢 五〇錢 一圓

世界貨物運賃建

船舶に搭載すべき貨物運賃計算法は當事者間の隨意契約に基くものなるも各地個々の習慣ありて多くはこれを標準に運賃計算を行ふを常とす茲に普通運賃市場に現はるゝ主要貨物に對する所謂運賃建ての標準を略記せり

(一) 運賃建標準原則

噸 重量 英噸(重噸)三、三三三封度—二〇本—一、六六六斤 米噸(輕噸)三、三三三封度—二〇本—一、五〇〇斤 佛噸—一、〇〇〇封—一、六六六斤 容積 立方呎(才)一〇才—一才—一呎立方 石—六石

(二) 各地標準建

△日 本 (重量ハ輕噸三、〇〇〇封度—一、五〇〇斤容積ハ四〇才ヲ以テ一噸トス) 一、石 炭 {近海 100斤(10,000斤六噸) 遠洋 1噸(三、三三三封度—一、六六六斤)}

【港 灣】

一、砂 糖 {近海 100斤(五俵一噸) 遠洋 一擔(二六擔一噸)} 一、材 木 {内地 100石(一、〇〇〇才) 滿鮮 四〇才 六〇本} 一、枕 木 六〇本 一、生 糸 100封度 備考 北海雜穀ハ100石(六石一噸)ノ粕、筵包鱈魚、昆布砂糖等ハ100石(四、〇〇〇貫) 散據魚ハ100石(六、〇〇〇又ハ三、〇〇〇尾)ヲ以テ運賃率トス

△朝 鮮 (日本ト同ジ) 一、米 100石 △滿 洲 國 (營口、牛莊、大連) (重噸三、三三三封度—一、六六六斤及四〇才ヲ用フ) 一、大 豆 {日本 一擔 遠洋 一擔二六、八擔} 一、豆 粕 一擔又ハ二枚

△南 支 那 (海防、西貢、湄谷) (佛噸一、六六六斤、四〇才 蘭貢ハ重噸容積ハ四〇才ヲ用フ) 一、米 {日本 一擔(二六、八擔一噸) 佛國 一噸(一、六六六斤)} 備考 其他チーク材、黑檀紫檀等ハ四〇才單位ナリ

【港 灣】

- △比・島 (馬尼刺)
 - 一、麻 四〇才
 - 一、銑 鐵 一噸(二、〇〇〇封度)
- 備考 其他葉煙草等ハ四〇才ヲ以テス
- △漆 洲 (タウンズヴィル、プリズベーン、ニューキヤツスル、シドニー、メルボルン)
 - (重噸及四〇才用フ)
 - 一、小麥 一噸(二、二四〇封度)
 - 一、小麥粉 小麥ト同ジ
 - 一、羊毛 一〇〇封度又ハ二俵
 - 一、木材 (ジャラカリ)一ロード(五〇才)
- △印 度 (孟買、古倫母、甲谷陀)
 - 一、棉花 四〇才
 - 一、麻袋 一噸(二、二四〇封度)又ハ(四〇才)
- 備考 當地ハ種々ノ(スケール)噸存在シ頗ル繁雜ヲ極ム主ナルモノヲ掲ゲレバ落花生、棉實等ハ三本三―四才、胡麻等ハ二五本三才、小麥、茶種等ハ二六本三―四才、扁豆ハ二〇本三才、麻、羊毛等ハ四〇才ヲ以テ各一噸ト見做ス
- △瓜 哇 (スラバヤ、パタビヤ、サマラン)

- 一、砂 糖 [日本一擔(二六、七擔)]
- 一、護 謨 四〇才
- 備考 當地モ頗ル複雑ニテ瓜哇「スケール」噸ナルモノアリ茶、コブラ、珈琲及主トシテ、ロツテルダム輸出ノ葉煙草等アレド之ヲ省略ス
- △北 米 (晚香坡、沙府、紐育、其他) (重量ハ輕噸容積ハ四〇才用フ)
 - 一、鐵 材 一噸(二、〇〇〇封度)
 - 一、棉花 一〇〇封度又ハ二俵
 - 一、木材 一、〇〇〇FEET. FT. (約八三才)
 - 一、小麥 一噸(二、〇〇〇封度)
 - 一、石油及礦油 (樽入)一〇〇封度
- 同 (函入)一函
- △南 米 (重噸及四〇才用フ)
 - 一、穀 物 一噸(二、二四〇封度)
- 大略以上ノ如シト雖モ時ニ當事者間ノ契約ニ依リ又ハ其航路等ニ依リ種々變更スル場合アリ

造船

【港 灣】

- △比・島 (馬尼刺)
 - 一、麻 四〇才
 - 一、銑 鐵 一噸(二、〇〇〇封度)
- 備考 其他葉煙草等ハ四〇才ヲ以テス
- △濠・洲 (タウンスゲイル、ブリスベイン、ニューキヤウズル、シドニー、メルボルン)
 - (重噸及四〇才ヲ用フ)
 - 一、小 麥 一噸(二、二〇〇封度)
 - 一、小 麥 粉 小麥ト同ジ
 - 一、羊 毛 一〇〇封度又ハ二依
 - 一、木 材 (ジャラカリ)一ロッド(四〇才)
- △印・度 (孟買、古倫母、甲谷陀)
 - 一、棉 花 四〇才
 - 一、麻 袋 一噸(二、二〇〇封度)又ハ(四〇才)
- 備考 當地ハ種々ノ(スケール)噸存在シ頗ル繁雜ヲ極ム主ナルモノヲ掲グレバ落花生、棉實等ハ一三本四一四才、胡麻等ハ一五本四三才、小麥、菜種等ハ一六本四一四才、扁豆ハ一三本四三才、麻、羊毛等ハ四〇才ヲ以テ各一噸ト見做ス
- △瓜・哇 (スラバヤ、バタビヤ、サマラン)
 - 一、砂 糖 (日本一擔(一六、七擔) 歐大陸一擔(二六、七擔))
 - 一、護 謨 四〇才
- 備考 當地モ頗ル複雑ニテ瓜哇「スケール」噸ナルモノアリ茶、コブラ、珈琲及主トシテ、ロウテラダム輸出ノ葉煙草等アレド之ヲ省略ス
- △北・米 (晚香坡、沙府、紐育、其他) (重量ハ輕噸容積ハ四〇才ヲ用フ)
 - 一、鐵 材 一噸(二、〇〇〇封度)
 - 一、棉 花 一〇〇封度又ハ二依
 - 一、木 材 一、〇〇〇SEI. FT. (約八三才)
 - 一、小 麥 一噸(二、〇〇〇封度)
 - 一、石 油 及 礦 油 (樽入)一〇〇封度 (函入)一函
- △南・米 (重噸及四〇才ヲ用フ)
 - 一、穀 物 一噸(二、二〇〇封度)
- 備考 大略以上ノ如シト雖モ時ニ當事者間ノ契約ニ依リ又ハ其航路等ニ依リ種々變更スル場合アリ

造 船

索引

一 船舶資格 三三三
 一 總噸數 三三三
 一 登簿噸數 三三三
 一 世界造船機所數 三三三
 一 本邦造船所 三三三
 一 最近五箇年世界進水船趨勢 三三五
 一 世界進水船內容 三三六
 一 一九三六年各國別進水船內容 三三六
 一 世界進水船船型調 三三七

一 各國油槽船進水數 三三六
 一 世界建造中船舶 三三九
 一 本邦及世界進水船累年比較 三三九
 一 本邦主要造船所職工數 三三〇
 一 十一、十二年本邦造船狀況 三三〇
 一 本邦造船所別累年成績 三三一
 一 十一年度進水船內容 三三二
 一 船質別船舶經濟比較 三三三

造船

船舶資格

検査官吏左の標準に依り之を定む。其資格に従ひ航路
 定限に差等あること下表に示すが如し。

等級	船種	上甲板噸數	最速力	航路	定限
第一	汽船	五百噸以上	八節以上	遠洋航路、近海航路	
第二	汽船	五十噸以上	八節以上	沿海航路、平水航路	
第三	汽船	二十噸以上	八節以上	沿海航路、近海航路	
第四	汽船	無制限	六節以上	沿海航路、平水航路	
第五	汽船	無制限	無制限	平水航路	

進水後二十五年以上の船舶にして、外板其他要部の
 衰耗著しく、従来の資格を繼續し得ざる虞あるもの
 に於いては、検査官吏其衰耗の程度を精査し、通信
 大臣の指揮を受けて其資格を定む。

總噸數

甲板一層又は二層を備ふる船舶にありては、量噸甲板

【造船】

下の噸數に、量噸甲板上蔽圍したる場所の噸數を加へ
 たるもの、甲板三層以上を備ふる船舶にありては、量
 噸甲板下の噸數に量噸甲板上各甲板間の噸數及び上甲
 板上蔽圍したる場所の噸數を加へたるものを總噸數と
 す。甲板を備へざる船舶にありては舷端以下の噸數に
 舷端以上蔽圍したる場所の噸數を加へたるものを總噸
 數とす。

登簿噸數

總噸數より(一)船員常用室及び海圖室、(二)荷足水艙
 (三)機関室、(四)操舵器具、擊船機具、揚筒機具及び
 主唧筒と連絡したる副汽罐、副汽罐に使用せらるゝ場
 所、(五)水夫長倉庫、(六)帆船の帆庫、(七)主務大臣
 に於て船舶の安全、衛生又は利用上前各號に準すべき
 ものと認むる場所の噸數を控除したるものを登簿噸數
 とす。(右數)を以て積量を表示すべき船舶は、十立方
 尺を一石として度測す。

世界造船機所數

英國

造船所數

一六二

造船所數

一八四

索引

一 船舶資格 三三三
 一 總噸數 三三三
 一 登簿噸數 三三三
 一 世界造船造機所數 三三三
 一 本邦造船所 三三三
 一 最近五箇年世界進水船趨勢 三三三
 一 世界進水船內容 三三六
 一 一九三六年各國別進水船內容 三三六
 一 世界進水船船型調 三三七

一 各國油槽船進水數 三三六
 一 世界建造中船舶 三三九
 一 本邦及世界進水船累年比較 三三九
 一 本邦主要造船所職工數 三三〇
 一 十一、十二年本邦造船狀況 三三〇
 一 本邦造船所別累年成績 三三二
 一 十一年度進水船內容 三三三
 一 船質別船舶經濟比較 三三三

造船

船舶資格

検査官吏左の標準に依り之を定む。其資格に従ひ航路
 定限に差等あること下表に示すが如し。

等級	船種	上甲板噸數	最速力	航路	定限
第一級	汽船	五百噸以上	八節以上	遠洋航路、近海航路	—
第二級	汽船	五十噸以上	—	沿海航路、平水航路	—
第三級	汽船	二十噸以上	八節以上	沿海航路、近海航路	—
第四級	帆船	二十噸以上	—	平水航路	—
第五級	帆船	—	六節以上	沿海航路、平水航路	—
第六級	汽船	無制限	—	無制限	平水航路

進水後二十五年以上の船舶にして、外板其他要部の
 衰耗著しく、従來の資格を繼續し得ざる虞あるもの
 に於いては、検査官吏其衰耗の程度を精査し、逕信
 大臣の指揮を受けて其資格を定む。

總噸數

甲板一層又は二層を備ふる船舶にありては、量噸甲板

【造船】

下の噸數に、量噸甲板上蔽圍したる場所の噸數を加へ
 たるもの、甲板三層以上を備ふる船舶にありては、量
 噸甲板下の噸數に量噸甲板上各甲板間の噸數及び上甲
 板上蔽圍したる場所の噸數を加へたるものを總噸數と
 す。甲板を備へざる船舶にありては舷端以下の噸數に
 舷端以上蔽圍したる場所の噸數を加へたるものを總噸
 數とす。

登簿噸數

總噸數より(一)船員常用室及び海圖室、(二)荷足水艙
 (三)機關室、(四)操舵器具、繫船機具、揚錨機具及び
 主唧筒と連絡したる副汽罐、副汽罐に使用せらるゝ場
 所、(五)水夫長倉庫、(六)帆船の帆庫、(七)主務大臣
 に於て船舶の安全、衛生又は利用上前各號に準ずべき
 ものと認むる場所の噸數を控除したるものを登簿噸數
 とす。(石數)を以て積量を表示すべき船舶は、十立方
 尺を一石として度測す。

世界造船造機所數

英	造船所數	造機所數
國	一六二	一八四

【造船】

國別	一九三四年	一九三五年	一九三六年
英本國	10,690,066	8,500,735	20,148,777
獨逸	15,289	7,000	6,933
佛蘭西	11,000	11,000	11,000
日本	11,000	11,000	11,000
美國	11,000	11,000	11,000
其他諸國	11,000	11,000	11,000
合計	15,289	7,000	6,933

各國油槽船進水數(總噸以上)

國別	一九三四年	一九三五年	一九三六年
英本國	10,690,066	8,500,735	20,148,777
獨逸	15,289	7,000	6,933
佛蘭西	11,000	11,000	11,000
日本	11,000	11,000	11,000
美國	11,000	11,000	11,000
其他諸國	11,000	11,000	11,000
合計	15,289	7,000	6,933

世界建造中船舶(帆船ヲ除ク)

國別	汽船	モーター船
佛本國	11,000	11,000
日本	11,000	11,000
美國	11,000	11,000
其他諸國	11,000	11,000
合計	15,289	7,000

本邦及世界進水船累年比較(單位千噸)

年	日本	其他諸國	世界總額
一九三〇年	11,000	11,000	22,000
一九三一年	11,000	11,000	22,000
一九三二年	11,000	11,000	22,000
一九三三年	11,000	11,000	22,000
一九三四年	11,000	11,000	22,000

【造船】

一九三五年 一七七 一四五 四七二、一五五 六四九一、三〇三
 一九三六年 一〇八 二九四 八二九、八三三 九九九二、二一七

本邦主要造船所職工數 (昭和十二年三月現在)

造船所名	職工數	造船所名	職工數
三菱長崎造船	一三、二六一	函館船渠會社	九九一
三菱神戶造船	六、六三五	浪速船渠	八六三
三菱彦島造船	六八二	宇品造船	六五三
三菱橫濱	四、六八四	笠戶船渠	四八八
川崎造船	一三、七四六	倉田重工業	三九七
大鐵櫻島	四、三四七	若津鐵工所	三八八
同因島	二、七七五	大原造船	一六三
		林兼彦島鐵工	二五九
		大鐵築港	三七二
		同彦島	二〇七
		玉造造船所	四八三
		播磨造船	三、八八三
		石川島造船	三、〇九九
		浦賀船渠	三、〇三一
		同橫濱工場	一七三
		藤永田	二、四九五
		同船町	二八一
		鶴見製鐵	二、六八九
		川南工業	一、四〇八
		向島船渠	七七八
		名村造船所	二八三
		杓木造船所	二八〇
		木津川船渠	三三八
		幸崎船渠	三六
		大阪造船所	一六〇
		金指造船所	一九一
		佐野安船渠	一七四
		占部造船鐵工	一八三
		原田造船	一六五
		三原造船所	一〇四
		合計	七四、三二〇

十一、十二年本邦造船狀況 (總噸百噸以上)

造船所名	昭和十一年		昭和十二年		昭和十一年		昭和十二年	
	隻數	總噸數	隻數	總噸數	隻數	總噸數	隻數	總噸數
三菱長崎造船	七六	二九、三四	一四〇	二六六、四〇八	一九	二、四六四	九	一、三六三
三菱神戶造船	七九	一三七、八九	一四六	三〇五、三六九	三三	四、二九五	一三	二、〇七九
三菱彦島造船	九一	一七三、五五	一六〇	三二〇、八六八	一八	二、八八七	一六	五、七二一
三菱橫濱	一〇〇	一六五、三六	一五八	三三三、一八三	二二	三、三八四	一三	二〇、七四三
川崎造船	九三	一七七、八五	一六三	三三六、七二〇	一三	一四、一七一	二五	一四、三九四
大鐵櫻島					二六	三八、四五三	二	一四、三九四
同因島								
合計	五五	二、〇〇	六三	一、四〇	一〇	一、〇〇	一〇	一、〇〇

造船所名	昭和十一年	昭和十二年	昭和十一年	昭和十二年		
隻數	總噸數	隻數	總噸數	隻數	總噸數	
川崎	九三	一八三、一九〇	一四〇	三〇、七二〇	一九	三、四〇九
三菱	一〇三	一八五、八八九	一四六	六、一五七	一六	一、一九八
三菱	一〇八	二二二、二八四	一五七	四三、四二四	一六	一八、六四九
大阪	一一	二〇八、五八二	一三	一七、五四〇	二四	三八、三七〇
鶴見	一一	二二八、五四四	一三	四〇、五四三	一八	二一、〇三一
浦賀	一一	二三一、〇六	一三	四三、五六六	一九	二九、一〇七
播磨	一一	二六六、七二	一三	四八、六〇二	二四	三九、〇二〇
三井	一一		一三		一九	
笠戶	一一		一三		一九	
函館	一一		一三		一九	
川南	一一		一三		一九	
大阪	一一		一三		一九	
佐野	一一		一三		一九	
占部	一一		一三		一九	
合計	六三	一、四〇	一〇	一、〇〇	一〇	一、〇〇

本邦造船所別累年成績 (百噸以上汽船進水高)

造船所名	昭和七年	同八年	同九年	同十年	同十一年
川崎	三	六	三	六	九
三菱	三	四	三	二	三
大阪	一	一	一	一	一
鶴見	一	一	一	一	一
浦賀	一	一	一	一	一
播磨	一	一	一	一	一
三井	一	一	一	一	一
笠戶	一	一	一	一	一
函館	一	一	一	一	一
川南	一	一	一	一	一
大阪	一	一	一	一	一
佐野	一	一	一	一	一
占部	一	一	一	一	一
合計	六	六	六	六	六

【造船】

計	其	名	大	大	三
	他	村	原	田	原
一〇四、三、五〇〇					
一〇					
六八、六八五					
一九一、三、四二一					
七六					
一、八八四					
一、七七七					
一、五八〇					
一、三三〇					
二九〇					
三〇七、三六七					

十一年度進水船内容 (千噸以上)

型別	鋼汽船	噸數	隻數	噸數	隻數
千噸型	二四、五〇〇	二、七〇〇	一、四〇〇	二、七〇〇	一、四〇〇
二千噸型	一六、三〇〇	九、〇〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	一、四〇〇
三千噸型	三〇、八〇〇	二、九〇〇	二、九〇〇	二、九〇〇	一、四〇〇
四千噸型	三六、九〇〇	一、四〇〇	一、四〇〇	一、四〇〇	一、四〇〇
五千噸型	一六、五〇〇	二、九〇〇	二、九〇〇	二、九〇〇	一、四〇〇
六千噸型	三九、二〇〇	二、九〇〇	二、九〇〇	二、九〇〇	一、四〇〇
七千噸型	一四、七〇〇	二、九〇〇	二、九〇〇	二、九〇〇	一、四〇〇
八千噸型	一七、五〇〇	二、九〇〇	二、九〇〇	二、九〇〇	一、四〇〇
九千噸型	一八、二〇〇	二、九〇〇	二、九〇〇	二、九〇〇	一、四〇〇
合計	二五九、八〇〇	二六、〇〇〇	二六、〇〇〇	二六、〇〇〇	一、四〇〇

船質別船舶經濟比較

英國専門家の同一船體内容を有するギヤードタービン船AとBモーター船とAギヤードタービン船と同一積載能力あるモーター船Cとの効率比較調査に依れば

【造船】

船の長さ	幅	A	B	C
四二四呎	五四呎	四二四呎	五四呎	三六六呎
五四呎	五四呎	五四呎	五四呎	五四呎

左の如き數字を示す

春幸丸	四、一五〇	第五拾號船	四、九五〇
日豐丸	三、八五〇	未定	九〇〇
東邦丸	一〇、〇〇〇	未定	三、六〇〇
神川丸	七、二五〇	未定	三、四〇〇
日吉丸	四、一五〇	△名村造船	九、九〇〇
菊川丸	四、一五〇	△博鐵	三〇〇
△浦賀船渠	四、一〇〇	△笠戸船渠	一、四〇〇
北洋丸	三、四五〇	△函館船渠	一、九五〇
興安丸	三、四五〇	△大阪造船	一、四五〇
オホイトスカヤ	一、〇五〇	△大阪造船	一、四五〇
三星丸	二、四〇〇	△大阪造船	一、二八〇
カムチヤツ	七、二〇〇	△大阪造船	一、二八〇
カスカヤ	七、二〇〇	△大阪造船	一、二八〇
サハリンスカヤ	七、二〇〇	△大阪造船	一、二八〇
△播磨造船	七、二〇〇	△大阪造船	一、二八〇
香椎丸	六、八〇〇	△大阪造船	一、二八〇
未定丸	六、八〇〇	△大阪造船	一、二八〇
濱工丸	五、〇〇〇	△大阪造船	一、二八〇
勝泳丸	三、三〇〇	△大阪造船	一、二八〇
第一壹虎丸	四、〇〇〇	△大阪造船	一、二八〇
福山丸	三、三〇〇	△大阪造船	一、二八〇
一雲丸	一、九〇〇	△大阪造船	一、二八〇
△大阪鐵工(櫻島)	七、〇〇〇	△大阪造船	一、二八〇
第三凌海丸	二、五〇〇	△大阪造船	一、二八〇
第七昭和丸	二、五〇〇	△大阪造船	一、二八〇
第八昭和丸	二、五〇〇	△大阪造船	一、二八〇
第十昭和丸	二、五〇〇	△大阪造船	一、二八〇
いくしま丸	三、九〇〇	△大阪造船	一、二八〇
△大阪鐵工(因島)	三、六五〇	△大阪造船	一、二八〇
春日丸	四、七二〇	△大阪造船	一、二八〇
天龍丸	四、七二〇	△大阪造船	一、二八〇
△鶴見製鐵	一、六〇〇	△大阪造船	一、二八〇
相洋丸	一、八五〇	△大阪造船	一、二八〇
住吉丸	一、二八〇	△大阪造船	一、二八〇
日吉丸	一、二八〇	△大阪造船	一、二八〇
華山丸	一、八五〇	△大阪造船	一、二八〇
豊國丸	一、二八〇	△大阪造船	一、二八〇
△佐野安船渠	一、二八〇	△大阪造船	一、二八〇
△金指造船所	三〇〇	△大阪造船	一、二八〇
木下	三〇〇	△大阪造船	一、二八〇
△向島船渠	三〇〇	△大阪造船	一、二八〇
△石原工作所	三〇〇	△大阪造船	一、二八〇
△東海造船	三〇〇	△大阪造船	一、二八〇
△石川島造船	九〇〇	△大阪造船	一、二八〇
未定	四〇〇	△大阪造船	一、二八〇
未定	三〇〇	△大阪造船	一、二八〇
△原田造船	三〇〇	△大阪造船	一、二八〇
△カローリン	三〇〇	△大阪造船	一、二八〇
△朽木造船	三〇〇	△大阪造船	一、二八〇
△尼崎造船	三〇〇	△大阪造船	一、二八〇
△三原造船	六五〇	△大阪造船	一、二八〇
△三原造船	八五〇	△大阪造船	一、二八〇
第十福榮	八五〇	△大阪造船	一、二八〇

保 險

【造船】

船の深さ	三三呎五吋	三三呎五吋	三呎
船體重量	三、三七〇噸	三、四〇〇噸	二、七〇〇噸
機械重量	六五〇噸	九八〇噸	七八〇噸
排水噸數	二二、六〇〇噸	二二、六〇〇噸	一〇、一五〇噸
全船噸價	三六〇千磅	四七千磅	三八〇千磅
航海速度	一二節	一二節	一二節
航走軸馬力	三、一五〇	三、一五〇	二、EEOO
重量	五、八〇〇噸	七、二五〇噸	五、八〇〇噸
每軸馬力燃料消費高	一、五封度	〇、五封度	〇、五封度
一日燃料消費高	五〇噸	一八、五噸	一三、九噸
一年間燃料代石炭	一噸五磅五志トシ	七八七五〇磅	七、一五〇磅
(六)航海	六二、七七磅	三〇ガロン	一五ガロン
一日滑潤油消費高	八ガロン	一、五〇〇磅	一、二五〇磅
一年間滑潤油代	六〇〇磅	一、一〇三磅	二、一〇三磅
給料及食費	一四、七七磅	二、EEOO磅	一、八〇〇磅
一年間破損費	二、EEOO磅	二八、EEOO磅	三、八〇〇磅
一年間保險料(六分)	三、六〇〇磅	一、EEOO磅	一、二〇〇磅
一年間消耗費	一、EEOO磅	一〇七、七六九磅	八五、二七三磅
一年間航走費	一一九、五七磅	二五志三片半	二四志三片
貨物一噸當航走費	三志二〇片半	二五志三片半	二四志三片

(註) 右表中一年間(六航海)燃料代中、B Cに屬する燃料代中にはディーゼルエンジンに使用されるべき純燃料即重油代とエンジン以外にウインチ等

補助機を運動せしむべき動力發生用として用ひるボイラーに使用する一年間の燃料代を包含せり故に右B C燃料代を詳しく分類して記せば

(B) (C)

ディーゼルエンジン 一噸七磅十志として 五、六二磅 三九、六七五磅
 補助機用一年間 一噸十磅七志六片として 一〇、一五磅 七、EEOO磅
 ボイラー燃料代 片として 一〇、一五磅 七、EEOO磅
 即ちディーゼルエンジンの消費する燃料代は非常に小額にして右表A Bとの比較に於て明瞭なる如くモーター船はギヤードタービン船より船價高く船體及機械類の重量多き點に於て弱點なきにあらざるも燃料費及船員給料等遙に安價にて一ヶ年の運航費に於て貨物噸當りの航走費は餘程輕減され加之載貨積量増加されモーター船の經濟的效果の大なるは首肯し得べし(モーター船と云ふは從來輕油エンジンを有する發動機船を指稱したるも今日商船としてのモーター船は三百馬力以上のディーゼルエンジンを有する船舶を謂ふ也)

保 險

【造船】

船の深さ	三三呎五吋	三三呎五吋	三三呎
船體重量	三、二七〇噸	三、四〇〇噸	三、二七〇噸
機軸重量	六五〇噸	九〇〇噸	七八〇噸
排水噸數	一三、六〇〇噸	一三、六〇〇噸	一〇、一五〇噸
全船噸價	三、六〇千磅	四、七千磅	三、八〇千磅
航海速度	一二節	一二節	一二節
航走軸馬力	三、一五〇	三、一五〇	一、八〇〇
重量	五、八〇〇噸	七、二五〇噸	五、八〇〇噸
每軸馬力燃料消費高	一、五吋度	〇、五吋度	〇、四吋度
一日燃料消費高	五〇噸	一八五噸	一三、九噸
一年間燃料代石炭	一噸五磅五志トシ	七六、七五〇磅	七六、七五〇磅
(六) 航海	六、七三〇磅	三、一五〇磅	三、一五〇磅
一日滑潤油消費高	ハガロン	三ガロン	二五ガロン
一年間滑潤油代	六〇〇磅	一、二〇〇磅	一、二五〇磅
一年間船員	二四、七三〇磅	一、一〇〇磅	二、一〇〇磅
給料及食費	二、四〇〇磅	二、四〇〇磅	一、八〇〇磅
一年間破損費	二、四〇〇磅	二、四〇〇磅	三、八〇〇磅
一年間保險料(六分)	三、六〇〇磅	二、八〇〇磅	三、八〇〇磅
一年間消耗費	一、四〇〇磅	一、四〇〇磅	一、一〇〇磅
一年間航走費	一九、五七〇磅	二〇七、七九〇磅	八五、三三〇磅
貨物一噸當航走費	三志二〇片半	三志二片半	三志二片

(註) 右表中一年間(六航海)燃料代中、B、Cに屬する燃料代中にはディーゼルエンジンに使用されるべき純燃料即重油代とエンジン以外にウイナナ等

補助機を運動せしむべき動力發生用として用ひるボイラーに使用する一年間の燃料代を包含せり故に右B、C燃料代を詳しく分類して記せば

(B) (C)

ディーゼルエンジン 一噸五磅十志として 三、六三三磅 三九、六七五磅
 補助機用一年間 一噸五磅十志として 一〇、一五〇磅 七、四七〇磅
 ボイラー燃料代 片として 一〇、一五〇磅 七、四七〇磅
 即ちディーゼルエンジンの消費する燃料代は非常に小額にして右表A、Bとの比較に於て明瞭なる如くモーター船はギヤードタービン船より船價高く船體及機械類の重量多き點に於て弱點なきにあらざるも燃料費及船員給料等遙に安價にて一ヶ年の運航費に於て貨物噸當りの航走費は餘程軽減され加之載貨積量増加されモーター船の經濟的効果の大なるは首肯し得べし(モーター船と云ふは従來輕油エンジンを有する發動機船を指摘したるも今日商船としてのモーター船は三百馬力以上のディーゼルエンジンを有する船舶を謂ふ也)